

1720迄 (1598件)

- 1711年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<死去>ベンケル副総督(マドラス総督に従属)「アンソニー・Ettricke」
- 1711年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンケル副総督代理(マドラス総督に従属)「ジョン・Daniell」(~1712年)
- 1711年-08:00|フィリピン| |||<即位>マギンタナオ・スルタン「Jaafar Sadiq Manamir」(~1733. 3死去)
- 1711年-05:45|ネパール| |||<即位>マスタング王「ツェトパン・イン・グ・ラフ」(~1723年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>タルチャール国ラジャ「ラムチャンドラ・ビラハール・ハリチャンドラ」(~1729年没)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>ダラウール国ラジャ「ラムデウジ 2世」(~1758年没)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>ナルグント国統治者(ラオ)「ラムラオ・ハ・ベ」建国(~1740年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>ハラハ国支配者(ラウト)「ファキル・マンガラジ」(~1743年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>マウルニ国ラジャ「ウイラウイクラマデイテイ・パニ・デオ」(~1728年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>マラーター王国宰相「Parshuram Trimbak Kulkarni」(~1713年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>ムガル帝国ガミール総督「イヤット・ウー・カーン」(1回目~1713年)
- 1711年-05:30|インド| |||<就任>ルハダ国統治者(ラ)「ナル・シン」(~1735年没)
- 1711年-05:30|インド| |||<即位>コワ・スルタン「I Mappauraqngi Sultan Sirajuddin」
- 1711年-05:30|インド| |||コホ・ビハール国はムガル帝国の宗主権下(~1738年)
- 1711年-05:00|パキスタン| |||<死去>カーン統治者(ミール)「ラフマト・カーン」
- 1711年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>ブハラ・ハン国ジャーン朝ハン「ウハイド・ウッラー1世」
- 1711年-05:00|パキスタン| |||<就任>カーン統治者(ミール)「ハ・デーイル・カーン」(~1759年)
- 1711年-05:00|ウズベキスタン/イラン| |||イランのアフシャール朝がブハラのアストラハン朝を支配
- 1711年-04:00|ロシア/トルコ| |||この年ロシアがオスマン朝が講和、アゾフを返還
- 1711年-04:00|ロシア| |||ロシアが元老院設立
- 1711年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「キチュク・オスマン・ハ・シャ」(~同年)
- 1711年-03:00|エジプト| |||<即位>ソスニ・スルタン国スルタン「サリム」(~1741年没)
- 1711年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト・ベイルベグ「Veli Mehmed Pasha」(1期目~1712年)
- 1711年-02:00|レバノン| |||アイン・ダラの戦いでハイドル・シハブが勝利
- 1711年-02:00|エジプト| |||エジプトのカイロで衝突、カーシミーヤ派が勝利
- 1711年-01:00|スペイン| |||<就任>第10代アルカ公「フランシスコ・アルカレス・デ・トレド・イ・シルバ」(~1739年) 先代の叔父
- 1711年-01:00|トイット| |||<就任>イゼンブルク=ビュテインゲン=イン・ビルシュタイン伯「ウーオルフォンク・エルンスト1世」(⇒1744年イゼンブルク=ウント=ビュテインゲン=イン・ビルシュタイン侯~1754年)
- 1711年-01:00|トイット| |||<就任>プロシヤ王国首相「Heinrich Rudiger von Ilgen」(~1728年)
- 1711年-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「サリ・アフメト・ハ・シャ」(~1712年)
- 1711年-01:00|リビア| |||リビアのトリポリでカーマリ朝支配が確立
- 1711年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「大佐Benjamin Boucher」(~1713年)
- 1711年 00:00|セネガル| |||<就任>ジョージア帝国統治者(ブールバ・ジョージ)「バカタムガン」(~1721年頃)
- 1711年 00:00|イギリス| |||イギリスが郵便条例を制定
- 1711年 00:00|カナダ/イット/オランダ| |||オランダがドゥアラ砦を占領(~1712年4月)
- 1711年 00:00|カナダ/オランダ| |||オランダ東インド会社がアカン地方で奴隷狩りを開始
- 1711年 00:00|イギリス/ニカラガア| |||ジャマイカ総督、ミスケット族の王アハルと協定。「モスキティア」王国を公認し保護領とする
- 1711年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「Robert Lowther」(~1720年)
- 1711年 04:00|グレナダ/フランス| |||<就任>グレナダ総督「エストレンジ伯、モペウ・リポートン騎士団ギヨム・エマニュエル・テオドール・ド・モペウ」(~1716年1月)
- 1711年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ブルネス侯爵ル・アントニオ・デ・ラ・ロジャ・イ・カランサ」(3回目~6時間)⇒「ル・ウルタ・デ・アマガ」(~1718年)
- 1711年1月6日-01:00|トイット| |||<死去>トリア選帝侯「ヨハン8世」
- 1711年1月6日-01:00|トイット| |||<就任>トリア選帝侯「カール・ヨーゼフ」(~17151204死去)
- 1711年1月10日 00:00|イギリス| |||<死去>ストラット公・グランビー侯「ジョン・マナーズ」
- 1711年1月10日 00:00|イギリス| |||<就任>ストラット公「ジョン・マナーズ」先代の子(~17210222死去)
- 1711年1月15日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「リナレス公・バルデフエンテス侯フェルナンド・デ・アレンカストレ・ノニャ・イ・シルバ」(~17160816)
- 1711年1月20日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベグ「メフメト・ヒュセイン・チャウシュ」(~7. 4没)
- 1711年1月21日-02:00|ラトヴィア| |||<死去>ケルラント=ゼムガレン公「フリードリヒ・ウーイルヘルム・ケトラ」
- 1711年1月21日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント摂政「アンナ・イワノウ・ロマノウァ」(~1730年1月)
- 1711年1月21日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント=ゼムガレン公「フェルディナント・ケトラ」(~17370504、死去)
- 1711年1月24日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「トマス・スタンウイクス」(~17130807)
- 1711年1月26日-01:00|スペイン| |||<死去>アンブリアス伯「Luis Francisco de la Cerda」
- 1711年1月26日-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Nicolas Fernandez de Cordoba-Figueroa de la Cerda」(~1739年)
- 1711年1月31日-09:00|日本|石川県加賀市|宝永7年12月13日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利直」(39歳)⇒翌年1月29日、養子「前田利章」が継ぐ(⇒元文2(1737)年9月6日、死去)
- 1711年2月5日-09:00|日本|東京都中央区|宝永7年12月18日|火事により中村座、市村座焼失
- 1711年2月7日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミシゴ総督「ロラン・ド・ウァレル」(~5. 24没)
- 1711年2月17日-09:00|日本| ||宝永8年・正徳1年|この年江島其磧の浮世草子「傾城禁短気」刊行
- 1711年2月17日-09:00|日本|新潟県五泉市|宝永8年|<交替>越後村松藩3万石「堀直利」隠居⇒次男「堀直為」が継ぐ

1720迄 (1598件)

(⇒元文元 (1736) 年、隠居)

- 1711年2月17日-08:00|中国| ||清・康熙50年|<死去>ハミ郡ハン「コハ・ベグ」
- 1711年2月17日-08:00|中国| ||清・康熙50年|<即位>ハミ郡ハン「アミン」(~1739年、死去)
- 1711年2月18日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「ルイス・チャコン・イ・カステリオン」(2回目~5.26)
- 1711年2月24日-09:00|日本| ||宝永8年1月8日|<死去>北条団水(49歳) 俳人、浮世草子作者
- 1711年3月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| ||<即位>フハラハン国ジャーン朝ハン「アブル・ファイズ・ハン」スプ・ハン・クリーの次男(~1747年死去)
- 1711年3月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ウエリ・メフメト・パシャ」(1回目~1712年)
- 1711年3月1日 00:00|イギリス| ||ロンドンで、日刊紙の「スペクター」が発刊
- 1711年3月3日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン＝ヴァンフリート方伯「カール」
- 1711年3月3日-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝ヴァンフリート方伯「ヴィルヘルム1世」(~17310401死去)
- 1711年3月6日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア・エストニア総督「クニャース・アレクサンドル・ダニコウ・イチ・メンソフ」(~1719年5月)
- 1711年3月9日-09:00|日本| ||宝永8年1月21日|<死去>宇治加賀掾(77歳) 浄瑠璃太夫
- 1711年3月16日 00:00|カナ/オランダ| ||<死去>オランダ領インド＝インド総督「エイトリアン・ビュティー」
- 1711年3月16日 00:00|カナ/オランダ| ||<就任>オランダ領インド＝インド総督「シエロム・ヘリク」(大統領兼局長) (~17160512)
- 1711年3月19日-09:00|日本|福岡県大牟田市|宝永8年2月1日|<死去>立花種長(87歳) 前筑後三池藩主
- 1711年3月27日-09:00|日本| ||宝永8年2月9日|<死去>広瀬惟然(64歳) 俳人
- 1711年3月29日 00:00|イギリス| ||<就任>グレートブリテン連合王国国庫財務実行主席弁務官「オックスフォード＝モーター伯ロバート・ハーレー」(~17140730) Tor
- 1711年3月29日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|宝永8年2月11日|<移封>信濃飯山藩33000石「永井直敬」⇒武蔵岩槻藩33000石(⇒正徳元(1711)年6月3日、死去)
- 1711年3月29日-09:00|日本|静岡県掛川市|宝永8年2月11日|<移封>武蔵岩槻藩6万石「小笠原長熙」⇒遠江掛川藩6万石(⇒元文4(1739)年4月16日、隠居)
- 1711年3月29日-09:00|日本|長野県飯山市|宝永8年2月11日|<移封>摂津尼崎藩48000石「青山幸秀」⇒信濃飯山藩48000石(⇒享保2(1717)年2月11日、丹後宮津藩48000石に移封)
- 1711年3月29日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|宝永8年2月11日|<加増移封>遠江掛川藩4万石「松平忠喬」⇒摂津尼崎藩48000石(⇒寛延4(1751)年3月20日、隠居)
- 1711年3月31日-09:00|日本|東京都千代田区|宝永8年2月13日|<就任>大老「井伊直該」(~正徳4年2月23日)
- 1711年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ジューセ ッハ・ロ」 「ジ・ローモ・マルテリ」
- 1711年4月2日-09:00|日本|岡山県高梁市|宝永8年2月15日|<移封>山城淀藩6万石「石川総慶」⇒備中松山藩6万石(⇒延享元(1744)年3月、伊勢亀山藩6万石に移封)
- 1711年4月2日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|宝永8年2月15日|<移封>備中松山藩65000石「安藤信友」⇒美濃加納藩65000石(⇒享保17(1732)年7月25日、62歳で死去)
- 1711年4月2日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|宝永8年2月15日|<移封>美濃国加納藩6万石「松平光熙」⇒山城淀藩6万石(⇒享保2(1717)年9月4日、死去)
- 1711年4月5日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|宝永8年2月18日|<死去>伊予宇和島藩10万石「伊達宗賛」(47歳) ⇒三男「伊達村年」が継ぐ⇒享保20年5月28日(17350718) 死去)
- 1711年4月13日-09:00|日本|愛媛県上浮穴郡久万高原町|宝永8年2月26日|松山藩領浮穴郡久万町村大火、196軒を焼失
- 1711年4月15日-09:00|日本|愛媛県松山市|宝永8年2月28日|松山藩領温泉郡味酒村より出火、220軒余を焼失
- 1711年4月17日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/イタリア/クロアチア/ハンガリー/ポーランド| ||<死去>神聖ローマ皇帝・ドイツ王・ボヘミア王・ハンガリー王・クロアチア王・オーストリア＝シュタイア＝マルク大公・フェンシ公「ヨーゼフ1世」ウィーンで天然痘にかかり/32歳(誕生16780726)
- 1711年4月17日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/フランス| ||<就任>神聖ローマ帝国宮廷牧師「ライン川のパラティン伯爵ヨハン・ヴィルヘルム/ザクセン伯・ザクセン公フリードリヒ・アウグスト1世シュタルク」(~10.12)
- 1711年4月17日-01:00|ハンガリー/オーストリア/チェコ/ポーランド| ||<即位>ハンガリー王「カロリ3世」兼ボヘミア王「カレル2世」兼オーストリア＝シュタイア＝マルク大公「カール3世」(~17401020死去) 兼フェンシ公「カール6世」(~1722年)
- 1711年4月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝永8年3月5日|<初演>近松門左衛門「恋飛脚大和往来」竹本座
- 1711年4月23日-09:00|日本| ||宝永8年3月6日|<死去>京極宮文仁親王(32歳) 皇族
- 1711年4月25日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|宝永8年3月8日|<死去>常陸太田藩主「中山信敏」(33歳) 水戸藩家老⇒甥で養子となっていた信順が跡を継いだ
- 1711年4月28日 03:00|ブラジル| ||ハルトロフ・ファリアら、塩の専売制に抗議し、ジャカイで蜂起
- 1711年4月30日-01:00|オーストリア/ハンガリー| ||サマルの和約で、ハプスブルクとハンガリー貴族の妥協が成立
- 1711年5月15日-09:00|日本|東京都江東区|宝永8年3月28日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、千葉平六が11,517本(総矢数12,523本中)を記録
- 1711年5月18日-09:00|日本|愛媛県大洲市|宝永8年4月1日|大洲藩領大洲中村より出火、侍屋敷99軒、百姓家93軒を類焼
- 1711年5月19日-09:00|日本|東京都千代田区|宝永8年4月2日|<解任>老中「本多正永」
- 1711年5月23日 00:00|イギリス| ||<就任>初代オックスフォード伯＝モーター伯「ロバート・ハーレー」(~17240521死去)
- 1711年5月24日-05:30|インド| ||<就任>ティルガッタムコウ国ラジャ「アディティヤ・ヴァルマ」(2回目~1721年2月)
- 1711年5月24日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミンゴ 総督「サン・ソルナン卿ガブリエル・ジャン・ニコラスト・ガバレ」(~1

1720迄 (1598件)

7120829没)

- 1711年5月25日-01:00|ルクセンブルグ| |||<就任>ルクセンブルク公「マクシミリアン・マリー・エマニュエル」(ハ イェルンのマクシミリアン2世~17130508)
- 1711年5月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|宝永8年4月8日|大阪立売堀から出火、長堀まで類焼(卯月八日火事)
- 1711年5月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘットフォード公「ライオネル・ラッセル」
- 1711年5月26日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘットフォード公「ライオネル・ラッセル」先代の子(~17321023死去)
- 1711年5月26日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ピント・デ・ラジャ」(~17170523)
- 1711年5月28日-09:00|日本|東京都千代田区|宝永8年4月11日|<就任>老中「阿部正喬」(~享保2年9月19日)
- 1711年6月4日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐宗泰」(~17121025)
- 1711年6月6日-09:00|日本|福島県福島市|宝永8年4月20日|<死去>相馬叙胤(35歳)前陸奥相馬中村藩主
- 1711年6月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>ロイス=エーベルストル伯「Heinrich10世」
- 1711年6月10日-01:00|ドイツ| |||<就任>ロイス=エーベルストル伯「Heinrich29世」(~17470522死去)
- 1711年6月11日-09:00|日本| ||正徳1年4月25日|「正徳」に改元
- 1711年6月14日-09:00|日本|愛知県岡崎市|正徳1年4月28日|<移転>三河大給藩16000石「松平乗真」⇒三河奥殿藩16000石(⇒享保元(1716)年7月5日、死去)
- 1711年6月16日-09:00|日本/朝鮮| ||朝鮮・康熙50年5月|朝鮮が日本に通信使を派遣
- 1711年6月21日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバグラナダ 大統領・総督・総司令官「ウァト 侯爵デ イコ・デ・コルト・ハ・ラッテ・ラベガ」(2回目~17120204)
- 1711年6月21日 06:00|アメリカ/イギリス| ||ユリウス暦:1711/6/10|<アン女王戦争:ブラッテイクリークの戦い>アヘ 氏族が英国軍を待ち伏せ勝利
- 1711年6月22日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ロバート・Lowther」(1期目~17140424)
- 1711年6月23日-09:00|日本| ||正徳1年5月8日|<死去>林義端(九兵衛)(不明)浮世草子作者
- 1711年6月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ストラフォード 伯「トマス・ウェントワース」(~17391115死去)
- 1711年7月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「オモント 公ジェームズ・バトラー」(2回目~17131027)
- 1711年7月3日-09:00|日本| ||正徳1年5月18日|<死去>尊統法親王(16歳)有栖川宮幸仁親王の皇子
- 1711年7月4日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリホ リタニア・ヘイレルハ イリ「アフマド・マフムド・スルタン」(~29日)
- 1711年7月4日-09:00|日本|群馬県沼田市|正徳1年5月19日|<死去>上野沼田藩4万石「本多正永」(67歳)⇒7月5日、甥「本多正武」が継ぐ(⇒享保6(1721)年2月21日、57歳で死去)
- 1711年7月6日 00:00|イギリス| |||<死去>2代クイーンズベリー公「ジェームズ・ダグラス」
- 1711年7月6日 00:00|イギリス| |||<就任>3代クイーンズベリー侯「ジェームズ・ダグラス」(~17150124死去)
- 1711年7月6日 00:00|イギリス| |||<就任>3代クイーンズベリー公「チャールズ・ダグラス」(⇒17150124兼4代クイーンズベリー侯~17781022死去)
- 1711年7月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督「Fernando de Rojas y Mendoza」
- 1711年7月6日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Jose Francisco de Canas y Merino」(~17140922)
- 1711年7月8日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan de Rivera」(~17160212)
- 1711年7月10日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリビ 諸島総司令官・総督「ウォルター・ダグラス」(~17131204)
- 1711年7月11日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ 総督「アーチボルト・ハミルトン卿」(~17160725)
- 1711年7月11日-09:00|日本| ||正徳1年5月26日|疱瘡立願と称して、子供に行脚僧の格好で神仏に参詣させることや、町中で鬪鶏をすることを禁止
- 1711年7月13日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリダ総督「Juan Jeronimo Ungo de Velasco」(~1714年)
- 1711年7月14日-01:00|オランダ| |||<死去>オラニエ(オランジュ)公「ヨハン・ウィレム・フリーゾ」
- 1711年7月14日-01:00|オランダ| |||<就任>オラニエ(オランジュ)公「ウィレム4世」ヨハン・ウィレム・フリーゾの息子(~1713年オランジュ公国は正式にフランス王国に併合~17511022死去)
- 1711年7月15日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ニューカッスル=アホーンタイン公・4代クラア伯「ジョン・ホルズ」ニューカッスル=アホーンタイン公爵位消滅
- 1711年7月15日-09:00|日本|東京都|正徳1年5月30日|江戸町奉行、火事避難時の混乱防止のため車長持の製造販売禁止
- 1711年7月18日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|正徳1年6月3日|<死去>武蔵岩槻藩33000石「永井直敬」(48歳)⇒次男「永井尚平」が継ぐ(弟「永井直陳」に1500石、「永井尚方」に1000石分与⇒正徳4(1714)年8月29日、死去)
- 1711年7月19日-01:00|セルビア| |||オスマン帝国軍が、ピョートル1世のロシア軍をプルト河畔で包囲
- 1711年7月19日-09:00|日本|宮城県仙台市|正徳1年6月4日|<死去>伊達綱宗(72歳)前陸奥仙台藩主
- 1711年7月23日-09:00|日本|新潟県柏崎市|正徳1年6月8日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀直宥」(47歳)⇒長男「堀直央」が継ぐ(⇒享保5(1720)年、隠居)
- 1711年7月29日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリホ リタニア・ヘイレルハ イリ「アフマド1世ハシャ」(~17451102没)
- 1711年8月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「大公副官:ルポ・ガヴリル・コスタチ/マクサット/アンティオコス・ジョ」(~9.9)
- 1711年8月2日-09:00|日本|福岡県福岡市|正徳1年6月18日|<死去>筑前福岡藩473100石「黒田綱政」(53歳)⇒次男「黒田宣政」が継ぐ(⇒享保4(1719)年11月22日、隠居)
- 1711年8月11日-01:00|カオチア| |||<即位>ホルツァ大公「ハタル・バリチ」
- 1711年8月11日 00:00|イギリス| |||英国アン女王の命によりアスコット競馬場で初の競馬レース開催

1720迄 (1598件)

- 1711年8月13日-05:30|インド| |||<就任>ナガール国統治者(ジヤム・サハブ)「タマ子2世ライシジ」(~17430918没)
- 1711年8月17日 00:00|カナデンマーク| |||<就任>デンマーク領コールト=コスト長官「フランツ・ホィエ」(~17171125没)
- 1711年8月17日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|正徳1年7月4日<死去>池田綱清(65歳)前因幡鳥取藩主
- 1711年8月20日-09:00|日本| ||正徳1年7月7日|幕府が市中・市外で商家が禁裏、仙洞御用達の看板をかけることを禁じる
- 1711年8月25日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ジャージー=伯「エドワード・ウイリアムズ」
- 1711年8月25日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ジャージー=伯「ウィリアム・ウイリアムズ」(~17210713死去)
- 1711年9月 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総裁・総司令官「ペドロ・デ・ニエラ・イトレス」(~17140415)
- 1711年9月1日-01:00|オランダ| |||<就任>ネデルラント連邦共和国フリズラント州・フロニンゲン州総督オラニエ公ウィレム4世[オラニエ公ヨハン・ウィレム・フリーゾの子](~1747年)17511022死去
- 1711年9月1日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jean-Pierre de Charitte」(~1716年)
- 1711年9月3日 00:00|イギリス| |||<就任>初代フェーズ 伯「ロバート・シャーリー」(~17171225死去)
- 1711年9月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ダートマス伯「ウィリアム・レグ」(~17501215死去)
- 1711年9月10日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「大公副官:ケルゲ・アホストル」(~26日)
- 1711年9月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ブランドン公「ジェームズ・ハミルトン」4代ハミルトン公・4代クライブテール侯・3代ラナーク伯・4代アランケンブリッジ 伯(~17121115死去)
- 1711年9月13日-09:00|日本|長崎県長崎市|正徳1年8月|長崎東上町の「立山書院」が伊勢町の鑄銭所跡に移転、545坪の長崎聖堂(中島聖堂)が竣工
- 1711年9月14日-09:00|日本| ||正徳1年8月2日|幕府が粗悪な四宝銀を新たに鑄造
- 1711年9月19日-09:00|日本|長野県佐久市|正徳1年8月7日<死去>信濃岩村田藩主「内藤正友」(49歳)⇒次男の正敬が継いだ
- 1711年9月22日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フランセスコ・マリア・インペリアレ」(~17130922)
- 1711年9月22日 03:00|ブラジル| |||Duguay-Trouinの率いるフランス人船団がリオを攻撃、一時占領/ミナスのポルトガル軍との間で交渉が成立し、身代金と引き換えに撤退
- 1711年9月22日 06:00|アメリカ| |||ノースカロライナで、ツカロウ=インディアン戦争が勃発(~1713032)
- 1711年9月26日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「大公副官:イオン・アレクサンドル・マウロロダット」(~11.8)
- 1711年9月30日-09:00|日本| ||正徳1年8月18日<死去>青山尚貞(不目)画家
- 1711年10月-04:00|ジョージア| |||<復位>イメチエ王「マミア」(2回目~1712年6月)
- 1711年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「フェデリコ・ゴジ」 「ジュゼッペ・サンピエーニ」
- 1711年10月5日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ホリングブルック伯「ホーレット・シンジヨン」断絶
- 1711年10月8日-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「ウァフタンク6世」(1回目~1714年10月)
- 1711年10月12日-01:00|トイ/イタリア/オーストリア/チェコ/ハンガリー/オランダ/ベルギー/フランス/クロアチア/ポーランド| |||<即位>神聖ローマ皇帝「カール6世」兼ハンガリー王国国王「カール3世」兼クロアチア王「カール3世」兼ブラント公・エノー伯「シャルル4世」兼フランドル伯「シャルル5世」レオポルト1世の子(~17401020死去55歳)兼フェシ公「カール6世」(オーストリア=シュタイア=マルク大公~1722年)
- 1711年10月14日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモソモ朝) 皇帝「テウオロス・ヨハネス・サド・ウオルデ・アンハサ」
- 1711年10月14日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモソモ朝) 皇帝「ヨハネス・テルバ・イヤサ」(~17160219没)
- 1711年10月14日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ペドロ・デ・ウァスカンチエロス・エ・スザ」(~17140713)
- 1711年10月15日-04:00|オマーン| |||<即位>ヤア=リハ 王朝イマム「スルタン・イブン・サイフ2世」(~1718年没)
- 1711年10月16日-09:00|日本|長野県|正徳1年9月5日<拝領>信濃・丹波・摂津国内12000石「水野忠位」大坂定番に就任(⇒正徳3(1713)年7月19日、死去)
- 1711年10月18日-09:00|日本|長野県佐久市|正徳1年9月7日<死去>信濃岩村田藩16000石「内藤正友」⇒次男「内藤正敬」が継ぐ(弟「正直」に1000石分知し15000石⇒延享3(1746)年8月13日、死去) 胡無嗣
- 1711年10月19日 03:00|ブラジル| |||サルバドルのMotim do Manetaら、塩の専売制に抗議し反乱
- 1711年10月21日 13:00|日本|鳥取県|正徳1年9月10日<鳥取正徳元年の大火「真教寺火事」>亥の刻(22時ごろ)、城下の古刹・浄土宗真教寺から出火、河端一丁目から四丁目、新町、本魚町の一丁目から三丁目、二階町の一丁目から四丁目、茶町、職人町、本町一丁目から四丁目など城下の主要部分を焼いて翌朝8時頃ようやく鎮火/侍屋敷18軒、町家1027戸、町数にして18カ町(縦6町、幅4町ほど)、酒店28軒、土蔵139棟が焼失、火元の真教寺は本堂のほか庫裏(僧侶の住居)、毘沙門堂、鐘楼堂が全焼
- 1711年10月23日-09:00|日本|福井県福井市|正徳1年9月12日<死去>松平昌親(松平吉品)(72歳)前越前福井藩主
- 1711年11月8日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ニコラス・アレクサンダー・マウロロダット」(~1716年1月)
- 1711年11月16日-09:00|日本|愛媛県西条市|正徳1年10月7日<死去>伊予西条藩33000石「松平頼純」(71歳)⇒11月、五男「松平頼致」が継ぐ(⇒正徳6(1716)年4月30日、紀伊国紀州藩を相続)
- 1711年11月19日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ 総督「ホセ・ピニェロ」(~17150429)
- 1711年11月20日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ア・ユスフ・パシャ」(~17121111)
- 1711年12月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「サイード2世・イブン・サード」(第4回~1717年1月)
- 1711年12月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Kethuda Ismail Pasha」(~1712年)
- 1711年12月2日 03:00|ブラジル| |||Motim do Manetaら、二度目の反乱/総督Castelo Melhorにより三週間後に鎮圧される
- 1711年12月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「コンスタンティン・フィップス卿/リチャード・インゴルスビー」(17120129まで)/チャム大司教ジョン・ヒューズ(17120313~)「(17131027)

1720迄 (1598件)

- 1711年12月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラガンサ公・ブラジル女公・バルネロ女公・ウイラウイサ女侯・バルネロ女伯・ウイラウイサ女伯・アラウカ女伯・ネウア女伯「マリア・ハ・ラ」ジョ5世国王の長女(〜17121019〜17580827死去)
- 1711年12月5日-09:00|日本| ||正徳1年10月26日<死去>岡西惟中(73歳)俳人
- 1711年12月11日-09:00|日本|兵庫県姫路市|正徳1年11月2日|播磨姫路で大地震/山崩地裂あり/津波で人家多く流出
- 1711年12月16日-09:00|日本|千葉県館山市|正徳1年|安房の北条藩領内の農民600人が非道な年貢増徴に反対して立ち上がる
- 1711年12月27日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官代行(オランダ東インド会社)「ウイラム・ヘロ」(〜17140328)
- 1711年12月29日-09:00|日本|愛知県豊田市|正徳1年11月20日<死去>三河拳母藩1万石「本多忠次」(33歳)⇒12月、長男「本多忠央」が継ぐ(⇒寛延2(1749)年2月6日、遠江相良藩1万石に移封)
- 1712年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>ベンケル副総督代理(マダガス総督に從属)「ジョン・Hunter」(〜同年)⇒「ジョセフ・Collett -Governor」(〜1716年)
- 1712年-08:00|マレーシア| |||マヤのジョホル王朝で王位継承戦争が勃発
- 1712年-05:30|インド| |||<死去>タンジャール・マラーター王国国王「シャーフ・ジー」
- 1712年-05:30|インド| |||<就任>タンジュール国ジャ「サルホジ1世」(〜1729年没)
- 1712年-05:30|インド| |||<就任>トリプラーナ国ジャ「マハント・ラ・マニヤ」(〜1714年没)
- 1712年-05:30|インド| |||<就任>トルコ国統治者(タク・サーヒブ)「ケトウ・ジュ」(〜1715年)
- 1712年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ジャ「ナヤン・ダ・ス・マル・ラージ・ハリヤンダン」(〜6ヶ月)⇒「チャクラタル・マル・ラージ・ハリヤンダン」(〜1741年)
- 1712年-05:30|インド| |||<就任>マラルコト国支配者(ナワブ)「ケラム・フサイン・カン」(〜1717年)
- 1712年-05:30|インド| |||<即位>タンジャール・マラーター王国国王「サルホジ」前王の弟(〜1728年死去)
- 1712年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>タシュケント・ハン「Rustem Muhammad Khan」
- 1712年-05:00|ウズベキスタン| |||<就任>タシュケント・ハン「Abd Allah Khan」(〜1719年死去)
- 1712年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第23代ハン「ヤデーガル1世」アラブ・ムハンマドの兄弟の子孫(〜1713年)
- 1712年-04:00|ジョージア| |||<就任>カリア公「ギオルギ4世」(1回目)⇒「マミア3世」(2回目〜17140116)
- 1712年-04:00|ロシア| |||ロシアがモスクワからペテルブルクへ首都を移転
- 1712年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ウリス「ヘイザート・アリ・ハシヤ」⇒「イゲン・アリ・ハシヤ」(〜1714年)
- 1712年-02:00|エジプト/トルコ| |||<再任>オスマン帝国領エジプト・ベイルベク「Kara Mehmed Pasha」(2回目〜同年)⇒「Veli Mehmed Pasha」(2期目〜1714年)
- 1712年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレック・ウリス(総督)「Cerkes Mehmed Pasha」(〜1713年)
- 1712年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カラ・メフメド・ハシヤ」(2回目〜わずかな期間)⇒「ウエリ・メフメド・ハシヤ」(2回目〜1714年)
- 1712年-02:00|ルーマニア/トルコ| |||オスマン帝国はモルダヴィア領コティンを併合
- 1712年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国アヴロニヤのサンジャク「サリ・アフメド・ハシヤ」(〜1714年)
- 1712年-01:00|ポズナ・アルツェゴヒナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「アルノト・アリ・ハシヤ」(〜1713年)
- 1712年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「マルコ・バリッチ」(〜1716年)
- 1712年 00:00|キニアビサ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「マヌエル・フェレイラ・ダ・フォンセカ」(〜1714年)
- 1712年 00:00|セカール/フランス| |||<就任>ルアン社セカール局長「リュエール伯爵ヒール」(〜17130502)
- 1712年 00:00|イギリス| |||イギリスのニュー・コモンが大気圧蒸気機関を製作
- 1712年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>ブライト・ナトリア長官「Bras de Ornelas」
- 1712年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||アングラはポルトガル王が没収(〜1715年)
- 1712年 04:00|BES諸島/フランス| |||<就任>ポネール司令官「Hans Jurgen Cramer」(〜1714年)
- 1712年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ホセ・デ・カソラ・イ・コルトバ」(〜17130427没)
- 1712年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ヘンリー・ロングマン」(〜1715年)
- 1712年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ペドロ・フェルミン・エチェベルス・イ・スピサ」(〜1714年)
- 1712年 06:00|アメリカ| |||アメリカで捕鯨船団によるマッコウ鯨漁が始まる
- 1712年 06:00|グアテマラ| |||チアパスで征服以来最大規模のツェンガーレ族の反乱
- 1712年 07:00|メキシコ| |||チアパス州の山岳部でツェルタル・ツツァルにひきいられたマヤ族の反乱起る/カンクックをシタ・レアルと改称
- 1712年1月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウグリス「アリ・ハシヤ」(2度目〜1713年4月)
- 1712年1月3日-09:00|日本|福井県越前市|正徳1年11月25日<死去改易>越前高森藩2万石「松平(本庄)宗胡」(8歳)無嗣断絶
- 1712年1月6日-01:00|ドイツ| |||<昇格>ヴァルデック伯「フリートリヒ・アントン・ウルヒ」⇒ヴァルデック侯(⇒17280101死去)
- 1712年1月8日-09:00|日本|茨城県土浦市|正徳1年12月1日<加増>常陸土浦藩75000石「土屋政直」+1万石⇒85000石(⇒享保3(1718)年3月3日、1万石加増され95000石)
- 1712年1月8日-09:00|日本|山梨県都留市|正徳1年12月1日<加増>甲斐谷村藩5万石「秋元喬知」+1万石⇒6万石(⇒同月25日、武蔵川越藩へ移封)
- 1712年1月25日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド総督代行「ケオル・リヘ・ライベッカー」(⇒1712年7月総督〜17130828)
- 1712年1月28日 00:00|イギリス| |||<死去>コヴェントリー伯「トマス・コヴェントリー」

1720迄 (1598件)

- 1712年1月28日 00:00|イギリス| |||<就任>コグエンリー伯「ギルバート・コグエンリー」(~17191027死去)
- 1712年2月1日-09:00|日本|埼玉県川越市|正徳1年12月25日|<移封>甲斐谷村藩6万石「秋元喬知」⇒武蔵川越藩6万石(⇒正徳4(1714)年8月14日、死去)
- 1712年2月4日 05:00|ロシア| |||<就任>ヌバク・ラダ大統領・総督・総司令官「フランス・メクス・ブ・ラフ・テ・サレ・ア」(~17150915)
- 1712年2月7日-09:00|日本|沖縄県|正徳2年|<即位>琉球国王「尚敬」(~17510224死去)
- 1712年2月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳2年1月|<初演>近松門左衛門「廓文章」(夕霧阿波鳴門)竹本座
- 1712年2月8日-09:00|日本|栃木県下都賀郡|正徳2年1月2日|<死去>下野壬生藩25000石「加藤明英」(61歳)⇒甥「加藤嘉矩」が継ぐ(⇒2月26日、近江水口藩25000石に移封)
- 1712年2月18日-01:00|フランス| |||<死去>ブルジョア公「ルイ・ド・フランス」5歳/フランス王国王太子
- 1712年2月22日-01:00|リヒテンシュタイン| |||自由帝国郡とファドゥーツ領は、リヒテンシュタイン家が購入
- 1712年2月27日-05:30|イギリス| |||<死去>メーケル帝国皇帝「ハートウルク・シャー1世」68歳
- 1712年2月27日-05:30|イギリス| |||<即位>メーケル帝国皇帝「ジャン・バル・シャー」(~17130211、死去)
- 1712年2月27日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クマ、モノタパ 総司令官「ジョアン・フェルナン・ステ・アルメイダ」(2回目~17140820)
- 1712年2月27日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|正徳2年1月21日|<死去>常陸太田藩主「中山信順」(17歳)水戸藩家老⇒旗本・堀田家から信昌を信順の妹婿かつ養子に迎えて跡を継がせた
- 1712年3月7日-08:00|中国| ||清・康熙51年2月|清が丁税を定額化し以後の人口増加分に課税しないことを決定
- 1712年3月13日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|正徳2年2月7日|宇和島藩桜田監物屋敷裏長屋より出火、侍屋敷御目見以上153軒・足軽屋敷47軒、町家・百姓家を合わせて258軒焼失
- 1712年3月19日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サスカワッチ植民地総督「チャールズ・クレイヴン」(~17160423)
- 1712年3月19日-09:00|日本|兵庫県小野市|正徳2年2月13日|<死去>播磨小野藩1万石「一柳末禮」(64歳)⇒4月5日、弟「一柳末崑」が継ぐ(⇒元文2(1737)年8月12日、39歳で死去)
- 1712年3月21日-09:00|日本|愛知県名古屋市中津川市|正徳2年2月14日|名古屋城の金鯱の鱗が盗まれる
- 1712年3月22日-09:00|日本|岐阜県中津川市|正徳2年2月16日|<交替>美濃苗木藩10521石「遠山友春」隠居⇒次男「遠山友由」が継ぐ(⇒享保7年4月21日(17220604)死去)
- 1712年3月28日 03:00|ロシア| |||<就任>リオ・テ・ラ・フ・ラ総督代行「ファン・セル・テ・ムィロワ・イ・アントウエサ」(~17140519)
- 1712年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オノリオ・オノリ」(ジョヴァンニ・マルテッリ)
- 1712年4月1日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|正徳2年2月26日|<移封>下野壬生藩25000石「加藤嘉矩」⇒近江水口藩25000石(⇒享保9(1724)年9月9日、死去)
- 1712年4月1日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|正徳2年2月26日|<加増移封>近江水口藩2万石「鳥居忠英」⇒下野壬生藩3万石(⇒正徳6(1716)年3月21日、死去)
- 1712年4月6日 06:00|アメリカ| |||ニューヨークで黒人暴動発生。6人が「自殺」、21人が処刑される
- 1712年4月6日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・永盛8年3月|大越がキリスト教を禁止
- 1712年4月6日 13:00|日本|鳥取県鳥取市|正徳2年3月1日|<鳥取正徳2年の大火「麩屋火事」>夜の五つ半(21時頃)二階町の麩屋二郎兵衛から出火、同町三、四丁目から河端三、四丁目、茶町、本魚町二、三丁目、本町三、四丁目、片原町三丁目、豆腐町、鹿野町、下魚町、下横町、材木町と次々延焼/侍屋敷39か町、町家は町数10か町、縦10町、幅5町にわたり焼失/世帯数で969戸、土蔵34棟を焼失させ同夜七つ半(午前5時頃)鎮火/2人が死亡
- 1712年4月12日-09:00|日本| ||正徳2年3月7日|幕府が宿駅での人馬通行法規を定める
- 1712年4月30日-09:00|日本|福島県白河市|正徳2年3月25日|<立藩>陸奥白河新田藩1万石「松平知清」陸奥国白河藩から分与(⇒享保6(1721)年間7月10日、死去)
- 1712年5月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー公(ハイノーとナムール)「マクシミリアン・エマニュエル」(ハインリッヒ公マクシミリアン2世エマニュエル~17130508)
- 1712年5月10日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ストラモア＝キング・ホーン伯「ジョン・ライアン」
- 1712年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ストラモア＝キング・ホーン伯「ジョン・ライアン」先代の息子(~17151113戦死)
- 1712年5月19日-09:00|日本|京都府京都市|正徳2年4月14日|<死去>鷹司房子(新上西門院)(60歳)鷹司教平の娘、霊元天皇の中宮
- 1712年5月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク＝ハインリッヒ辺境伯「クリスティアン・エルスト」
- 1712年5月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク＝ハインリッヒ辺境伯「ゲオルク・ウイヘルム」(~17261218死去)
- 1712年6月-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリヤ王「ジョージ7世」(3回目~1713年11月)
- 1712年6月11日-01:00|フランス| |||<死去>エタン公「Louis Joseph, duc de Vendome」
- 1712年6月11日-01:00|フランス| |||<即位>エタン公「Marie Anne de Bourbon」(~1718年)
- 1712年6月16日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>リヒテンシュタイン公「ヨハン・アドム・アントレウス」
- 1712年6月16日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン公「ヨゼフ・フーエンツェル」先代の又従弟の息子(~17180312退任)
- 1712年6月16日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン摂政「ヴァルター・フェルスト・フォン・テートリヒシュタイン/マクシミリアン・ウルリッヒ・ゲラフ・フォン・カニッツ・ウント・リッペルク」(~1718年1月)
- 1712年6月18日-09:00|日本|静岡県藤枝市|正徳2年5月15日|<移封>越前野岡藩35000石「土岐頼殷」⇒駿河田中藩35000石(⇒正徳3(1713)年7月、隠居)
- 1712年6月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳2年5月15日|<就任>大坂城代「内藤弋信」(~享保3(1718)年8月2日)
- 1712年6月26日-09:00|日本|栃木県栃木市|正徳2年5月23日|<死去>下野皆川藩12000石「米倉昌照」(30歳)⇒養子「

1720迄 (1598件)

米倉忠仰が継ぐ(⇒享保7(1722)年7月27日、武蔵六浦藩12000石に転封、廃藩)

- 1712年6月26日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||清・康熙51年|朝鮮・康熙51年5月23日|朝鮮と清が国境線を定め、白頭山定塚碑をたてる
- 1712年7月-01:00|モンテネグロ/トルコ| ||オスマン帝国がツェティニェを短期間占領
- 1712年7月6日 00:00|モリタニア/ドイツ| ||<就任>プロイセン領アルギン総督「ヤン・デ・ホー・ニコラス」(1回目~1717年1月)
- 1712年7月8日-09:00|日本|千葉県野田市|正徳2年6月5日|<死去>牧野成貞(79歳)前下総関宿藩主
- 1712年7月20日 04:00|モントセラト/イギリス/フランス| ||イギリス植民地モントセラト(7日~)フランス侵略軍を撃退
- 1712年7月24日-01:00|オーストリア/フランス/オランダ/スペイン/イギリス| ||トナンクの戦い/フランスのヴァイラル元帥が、サウア公オケン率いる同盟軍を破る/スペイン継承戦争の最大の戦いが終結
- 1712年7月26日 00:00|イギリス| ||<死去>初代リス公「トマス・オズボーン」
- 1712年7月26日 00:00|イギリス| ||<就任>2代リス公「ヘンリー・オズボーン」初代公の次男(~17290625死去)
- 1712年8月2日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳2年7月1日|幕府が新井白石の建議により勘定吟味役を再置
- 1712年8月5日-02:00|リトアニア| ||<就任>リトアニア大元帥(首相)代行「ユザス・ヴァンダリナス・ムニカス」(~17130410)
- 1712年8月6日-09:00|日本|愛知県豊田市|正徳2年7月5日|<死去>本多忠周(71歳)元三河足助藩主
- 1712年8月12日-09:00|日本|熊本県熊本市|正徳2年7月11日|<交替>肥後熊本藩54万石「細川綱利」隠居⇒養子「細川宣紀」が継ぐ(⇒享保17年6月26日(17320816)死去)
- 1712年8月13日-09:00|日本|愛知県刈谷市|正徳2年7月12日|<移封>日向延岡藩23000石「三浦明敬」⇒三河刈谷藩23000石(⇒享保9(1724)年2月15日、隠居)
- 1712年8月13日-09:00|日本|愛知県豊橋市|正徳2年7月12日|<移封>下総古河藩7万石「松平信祝」⇒三河吉田藩7万石(⇒享保14(1729)年2月2日、遠江浜松藩7万石に移封)
- 1712年8月13日-09:00|日本|茨城県古河市|正徳2年7月12日|<移封>三河刈谷藩5万石「本多忠良」⇒下総古河藩5万石(⇒宝暦元年6月1日(17510623)、死去)
- 1712年8月13日-09:00|日本|宮崎県延岡市|正徳2年7月12日|<移封>三河吉田藩8万石「牧野成央」⇒日向延岡藩8万石(⇒享保4年5月16日(17190703)、死去)
- 1712年8月16日 00:00|イギリス| ||<死去>4代ウインチルシー伯「チャールズ・フィンチ」
- 1712年8月16日 00:00|イギリス| ||<就任>5代ウインチルシー伯「ヘンリッジ・フィンチ」(~17260930死去)
- 1712年8月16日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳2年7月15日|<初演>近松門左衛門「姫山姥」竹本座
- 1712年8月16日-09:00|日本|沖縄県|正徳2年7月15日|<死去>琉球国王「尚益」
- 1712年8月21日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|正徳2年7月20日|<死去>安房勝山藩12000石「酒井忠胤」(34歳)⇒長男「酒井忠篤」が継ぐ(⇒元文2(1737)年5月13日、35歳で死去)
- 1712年8月23日-09:00|日本|千葉県館山市|正徳2年7月22日|<改易>安房北条藩1万石「屋代忠位」失政⇒旗本3000石
- 1712年8月25日-09:00|日本|栃木県足利市|正徳2年7月24日|<死去>戸田忠時(76歳)前下野足利藩主
- 1712年8月29日 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのサント・ミンゴ総督「ダルクアン伯爵ポール・フランソワ・ド・ラ・グランジ」(~1713年)
- 1712年9月11日-01:00|イタリア| ||<死去>イタリア・フランスの天文学者ジョヴァンニ・カッシーニ/87歳(誕生16250604)土星の輪の間隙を発見した
- 1712年9月21日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「ヴァスコ・フェルナンデス・セザール・デ・メネズ」(~17170113)
- 1712年9月28日-09:00|日本|京都府京都市|正徳2年8月28日|<就任>摂政「九条輔実」
- 1712年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・ジャコモ・アンジェリ」(「バルトロメオ・ベッティ」)
- 1712年10月1日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス総督「Pedro Alvares da Cunha」(~17150627)
- 1712年10月5日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan Ignacio Flores Mogollon」(~17151005)
- 1712年10月6日-09:00|日本|東京都|正徳2年9月5日|幕府が評定所・三奉行に評定所規則の順守、裁判の公正、目目の任用禁止などを命じる
- 1712年10月7日-09:00|日本|新潟県上越市|正徳2年9月7日|<交替>越後高田藩113000石「松平定重」隠居⇒五男「松平定達」が継ぐ(⇒享保3(1718)年9月10日、42歳で死去)
- 1712年10月16日-04:30|アフガニスタン/イラン| ||<就任>ペルシャ・アフガニスタン総督「シャーザダ・アサド・ウッラー・ハン・アブダリ」(~17201004没)
- 1712年10月16日-09:00|日本|熊本県人吉市|正徳2年9月16日|<交替>肥後人吉藩22165石「相良頼福」隠居⇒21日、長男「相良長興」が継ぐ(⇒享保6(1721)年7月11日、隠居)
- 1712年10月19日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ブラガンサ公・ブラジル公・バルセロナ公・ヴァイヴァイ侯・バルセロナ伯・カラム伯・アラオス伯・ネイヴァ伯「ペドロ・ジョアン5世国王の長男」(~17141029死去)
- 1712年10月24日-09:00|日本| ||正徳2年9月23日|幕府が新銀(四宝銀)の改鑄を中止し、古銀・元字銀・宝字銀の混用を禁じる
- 1712年10月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李濡」(~17130824)
- 1712年10月25日-09:00|日本|神奈川県小田原市|正徳2年9月25日|<死去>大久保忠朝(81歳)前相模小田原藩主、元老中
- 1712年11月5日-09:00|日本|石川県小松市|正徳2年10月7日|加賀大聖寺藩領、那谷寺一揆起こる
- 1712年11月6日-09:00|日本|広島県大竹市|正徳2年10月8日|佐伯郡玖波村大火270軒焼失
- 1712年11月10日-09:00|日本|兵庫県姫路市|正徳2年10月12日|<再興>播磨安志藩1万石「小笠原長興」(⇒享保15(1

1720迄 (1598件)

730) 年12月11日、隠居)

- 1712年11月11日 00:00|イギリス| |||<死去>2代オモンド伯・初代フォーファー伯「アーチボルト・ダグラス」
- 1712年11月11日 00:00|イギリス| |||<就任>3代オモンド伯・2代フォーファー伯「アーチボルト・ダグラス」(~17151208死去)
- 1712年11月12日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ニサンチュ・スレイマン・パシャ」(~17130406)
- 1712年11月12日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳2年10月14日|<死去>江戸幕府第6代将軍「徳川家宣」50歳(誕生:寛文3(1663)0425)
- 1712年11月12日-09:00|日本|長崎県大村市|正徳2年10月14日|<死去>肥前大村藩24973石「大村純尹」(49歳)⇒弟「大村純庸」が継ぐ(⇒享保12(1727)年間1月9日隠居)
- 1712年11月15日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ブランドン公・4代ハミルトン公・4代クライヴ伯爵・3代ラーケ伯・4代アランケンブリッジ伯「ジェームズ・ハミルトン」
- 1712年11月15日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ハミルトン公・2代ブランドン公「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(~17430302死去)
- 1712年11月15日 04:00|ガイアナ/フランス| |||ベルビースがムアン男爵の指揮するフランス軍に短期間占領される
- 1712年11月21日-09:00|日本|山口県下関市|正徳2年10月23日|<交替>長門長府藩5万石「毛利元朝」宗家長州藩嗣子となる⇒叔父「毛利元矩」が継ぐ(⇒享保3(1718)年3月20日、15歳で死去無嗣断絶)
- 1712年11月29日-09:00|日本| ||正徳2年11月|<刊行>北下村(吉岡村)の馬場重久「蚕養育手鑑」
- 1712年12月22日-09:00|日本| ||正徳2年11月24日|<死去>初代竹島幸左衛門(不明)歌舞伎役者
- 1712年12月24日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「クラウス・ヘリック・フォーレック」(~17130714没)
- 1713年-07:00|ラオス| |||<死去>ルアンパーン王国国王「キン・キッサート」
- 1713年-07:00|ラオス| |||<即位>チャンパサク王「ナカサット(シーサムット女王)」建国(~1738年没)
- 1713年-07:00|ラオス| |||<即位>ルアンパーン王国国王「ホン・カム」(~1723年)
- 1713年-07:00|ラオス| |||ヒエンチャン王国からチャンパサク王国が分立し三国分立時代へ
- 1713年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「ヒョクラナムギャル」(~1730年)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>ケルワイ国支配者(ナワブ)「モハマト・テイラー・カーン」建国(~17221012没)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>ゴハト国支配者(ナ)「ジャヤワント・シン」(~1717年没)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>サントール国統治者(ヒンドゥー・ラオ、マリカット・マダール)「シトージ・ラオ1世」建国(~1731年没)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>シルム国ラジャ「ヒンジェイ・プラカシュ」(~1749年没)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>パムラ国ラジャ「ワラット・テブ」(~1745年)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>パンスワラ国統治者(マハラル)「ヒンジャン・シン」(~1737年没)
- 1713年-05:30|インド| |||<就任>ムガル帝国カミール総督「サト・カーン」(~1717年)
- 1713年-05:30|インド| |||<即位>オクザイ朝(ケルワイ, バツダ、モハマト・ガル)ナワブ「Mohammad Diler Khan」(~17221012死去)
- 1713年-05:30|インド| |||ベンガル地方がムガル朝から実質的に独立
- 1713年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァハン国第24代ハ「アルン(アラング)2世」(~1714年)
- 1713年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バクタフシャン・ハン「ユスフ・アリ」(~1718年)
- 1713年-03:00|ケニア| |||<即位>パテ・スルタン国スルタン「Bwana Tamu, Mfalume」(~1779年)
- 1713年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Topal Yusuf Pasha」(~1714年)
- 1713年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Jarkas Muhammad Pasha」(~1714年)
- 1713年-02:00|南アフリカ| |||南アフリカのオランダ族に天然痘流行
- 1713年-01:00|スペイン| |||<死去>11代メティネ・シトニア公「ファン・クラロス・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・フェルナンデス・デ・コルトバ」
- 1713年-01:00|スペイン| |||<就任>12代メティネ・シトニア公「マヌエル・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・ピメンテル」(~1721年死去)先代の子
- 1713年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「コフル・ヌマン・パシャ」(1回目~1715年)
- 1713年-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴニユ公・アルトワ伯「シャルル4世」神聖ローマ皇帝カール6世(~17401020死去)
- 1713年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||シュレースヴィヒ公フレデリク4世はシュレースヴィヒ全域を自領に統合
- 1713年-01:00|フランス/アメリカ| |||フランスがルイジアナのナチスに砦を建設
- 1713年-01:00|ドイツ| |||プロシエンの発展フリードリヒ1世は崩御しフリードリヒ・ヴィルヘルム1世が即位(兵隊王)(-1740)
- 1713年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「大佐Isaac Pike」(~1718年)
- 1713年 04:00|モントセト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセト副総督「John Marshall」(~1714年)
- 1713年 04:00|サン・バルテルミ/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミ島司令官「Alexandre Vaultier de Moyencourt」(~1719年)
- 1713年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||ヴァージン諸島はイギリス直轄植民地
- 1713年 04:00|アンティグア・バブーダ/フランス| |||フランスがバブーダを奪う
- 1713年 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミゴ総督「ジャン・ジョセフ・ド・パティ」(フティゴウにて)⇒「ブレナック伯爵ルイ・ド・カルボン」(~1714年1月)
- 1713年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「アントワーヌ・ド・ラ・モト・カティラク」(~1716年)
- 1713年1月6日-09:00|日本|福島県いわき市|正徳2年12月10日|<死去>陸奥磐城平藩6万石「内藤義孝」病死(44歳)⇒次男「内藤義稠」が継ぐ(⇒享保3年5月29日(17180627)、死去)
- 1713年1月8日-09:00|日本|群馬県館林市|正徳2年12月12日|<加増>上野国館林藩34000石「松平清武」+2万石⇒54000石(⇒享保9(1724)年9月16日、死去)
- 1713年1月11日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「ファウルシヤル」(~17190228廃位)
- 1713年1月11日-05:30|インド| |||<退位>ムガル帝国皇帝「ジャハーンダール・シヤ」
- 1713年1月21日-09:00|日本|茨城県下妻市|正徳2年12月25日|<拝領>常陸下妻藩1万石「井上正長」(⇒享保5(1720)

1720迄 (1598件)

年12月4日、死去)

- 1713年1月23日-09:00|日本|島根県安来市|正徳2年12月27日|<死去>出雲母里藩1万石「松平直丘」(48歳)⇒翌年2月29日、養子「松平直員」が継ぐ(⇒明和2(1765)年11月18日、隠居)
- 1713年1月24日 04:00|BES諸島/フランス| ||<就任>セント・ユスティウス島フランス司令官「Jean Jacques Cassard」(~27日)
- 1713年1月24日 04:00|BES諸島/フランス| ||セント・ユスティウス島をフランスの民間人占領(~27日)
- 1713年1月26日-09:00|日本| ||正徳3年|<刊行>新井白石「采覧異言」
- 1713年1月26日-09:00|日本| ||正徳3年1月|<刊行>貝原益軒「養生訓」
- 1713年1月27日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>セント・ユスティウス島司令官「Jan Simonsen Doncker」(4期目~17170821)
- 1713年1月27日-09:00|日本|東京都中央区|正徳3年1月2日|伊達騒動を舞台とした初の歌舞伎「太平女今川」上演
- 1713年2月3日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|正徳3年1月9日|<鹿児島正徳3年の連続火災>鹿児島において土屋(侍屋敷)34軒、町屋1872軒が焼亡
- 1713年2月14日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|正徳3年1月20日|<鹿児島正徳3年の連続火災>鹿児島城下南の海岸寄りにある下町から出火、土屋敷35か所、門前屋敷(寺社関係の屋敷)92か所、町屋410余か所、職人屋敷2か所が焼亡
- 1713年2月16日 00:00|イギリス| ||<死去>3代ジャック・リ伯「アントニー・アシュリー＝カーパー」
- 1713年2月16日 00:00|イギリス| ||<就任>4代ジャック・リ伯「アントニー・アシュリー＝カーパー」(~17710521死去)
- 1713年2月18日 04:00|キューバ/フランス| ||キューバをフランスの海賊が占領(~27日)
- 1713年2月20日-02:00|ラトビア/ポーランド| ||<就任>ポーランド・リウオニア総督「ピョートル・イェーゼーブル・ベントフスキ」(~17221121)
- 1713年2月20日-09:00|日本|佐賀県小城市|正徳3年1月26日|<交替>肥前小城藩73000石「鍋島元武」隠居⇒次男「鍋島元延」が継ぐ(⇒正徳4(1714)年5月30日、死去)
- 1713年2月21日-09:00|日本|東京都|正徳3年1月27日|<死去>狩野常信(78歳、1636年3月13日生)狩野派の絵師(絵師・尚信の子)
- 1713年2月22日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「シヨアン・マヌエル・デ・ノロニャ」(~17170615)
- 1713年2月24日-09:00|日本|京都府綾部市|正徳3年1月30日|<交替>丹波綾部藩19500石「九鬼隆直」隠居⇒養子「九鬼隆寛」が継ぐ(⇒明和3(1766)年3月8日、隠居)
- 1713年2月25日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<死去>プロシエン王・マルク伯「フリードリッヒ1世」兼ブランデンブルク選帝侯・ラウエンシュタット伯「フリードリッヒ3世」55歳(誕生16570711)
- 1713年2月25日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<即位>プロシエン王・ブランデンブルク選帝侯・マルク伯・ラウエンシュタット伯「フリードリッヒ・ヴィルヘルム1世」フリードリッヒ3世の息子(~17400531死去)
- 1713年2月26日-08:00|中国| ||清・康熙52年2月2日|中国・雲南省、尋甸地震(M6.8)死者数千
- 1713年3月1日-09:00|日本|愛媛県松山市|正徳3年2月5日|松山城下代官町より出火、333軒焼失
- 1713年3月2日-09:00|日本| ||正徳3年2月6日|幕府が朝鮮人参の購入に金銀の使用を自由とする
- 1713年3月3日 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Ventura de Landaeta y Horna」(~1718年)
- 1713年3月5日-09:00|日本| ||正徳3年2月9日|幕府が新銭鑄造・大銭改鑄を停止
- 1713年3月6日-09:00|日本|岡山県岡山市|正徳3年2月10日|<死去>備中庭瀬藩2万石「板倉重高」(48歳)⇒次男「板倉昌信」が継ぐ(⇒寛永15(1730)年4月27日、31歳で死去)
- 1713年3月7日-09:00|日本|長崎県平戸市|正徳3年2月11日|<交替>肥前平戸藩61700石「松浦棟」隠居⇒弟「松浦篤信」が継ぐ(⇒享保12(1727)年間1月2日、隠居)
- 1713年3月13日 06:00|アメリカ| ||ノースカロライナのツカローン・イン戦争が終結
- 1713年3月13日-09:00|日本|京都府南丹市|正徳3年2月17日|<死去>小出英利(55歳)前丹波園部藩主
- 1713年3月26日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パライン代行「ミクス・パルフィ・エルディ伯爵」(⇒17141015、パライン~17320320没)
- 1713年3月26日-09:00|日本| ||正徳3年3月|新井白石がイタリア人シッフに審問して得た外国知識をまとめて「采覧異言」を著す
- 1713年3月31日-09:00|日本|東京都江東区|正徳3年3月6日|<創始>臨濟宗妙心寺派瑞甕山臨川寺
- 1713年4月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「カラン1世キレイ」(2期目~1716.12)
- 1713年4月-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ヴァリス「ハルム・パシヤ」(~1714年12月)
- 1713年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「シヨヴァンニ・アントニオ・ベルツツィ」(シヨヴァンニ・アントニオ・ファットーリ)
- 1713年4月6日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「カ・イブラヒム・パシヤ」(~27日)
- 1713年4月10日-02:00|ロシア| ||<就任>ロシア大元帥(首相)「アレクサンドル・ポウラス・サヒガ」(2回目~17340104)
- 1713年4月11日-01:00|ルクセンブルク| ||<即位>ルクセンブルク公「シャルル5世」(~17401020死去)
- 1713年4月11日-01:00|スペイン/イギリス/オランダ| ||ユトレヒト条約/オランダはスペイン領となる
- 1713年4月11日-01:00|フランス/ドイツ/オランダ/スペイン/イギリス| ||ユトレヒト条約が結ばれ、イギリスはフランスと講和条約を締結/スペイン継承戦争がほぼ終結
- 1713年4月11日-01:00|フランス/イギリス/カナダ| ||ユトレヒト条約で仏領アカディア植民地が英国に割譲
- 1713年4月11日-01:00|イタリア| ||ユトレヒト条約で、シチリア島はサヴォイア公グイットーリオ・アマテオ2世の手に渡る⇒<即位>シチリア王「グイットーリオ・アマテオ2世」(~1720年シチリア王をサルデーニャ王と交換)
- 1713年4月11日-01:00|フランス/イギリス/セントクリストファー・ネイビス| ||ユトレヒト条約でサン・キット島を英国に割譲
- 1713年4月11日-01:00|フランス/イギリス/アメリカ| ||ユトレヒト条約でニューファウンドランド、ハバスコシア、ハドソン湾を英国に割譲

1720迄 (1598件)

- 1713年4月11日 00:00|イギリス/スペイン| |||アセント条約で、イギリスはスペイン植民地への黒人奴隷輸出を独占
- 1713年4月11日 00:00|ポルトガル/スペイン/アメリカ| |||ユトレヒト条約/ポルトガルはサラメントをスペインに譲渡
- 1713年4月11日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/イギリス| |||イブブン・サウザンズ 諸島を英国が支配(バスコニア州の一部としてサンピエール島・ミクロン島と改名) (~17630210)
- 1713年4月14日 06:00|日本|京都府京都市|正徳3年3月20日|<京都正徳3年の大火>昼八つ半どき時(15時ごろ)、榎木町油小路東へ入ル、町の南側5軒目、茶碗屋五郎吉の借家に住む魚屋五郎兵衛宅より出火/強風にあおられて四、五町づつの間隔で飛び火が散り、堅町から延びた炎は油小路通り、小川通りから西の洞院、釜座通り、新町通りから室町通り、烏丸通りへと次々延焼/横町から延びた炎は榎木町通りから下立売通り、出水通りへと燃え、下、中、上の長者町から一条通り、武者小路、今出川から二本松までおよそ73町を灰にした/町家1179軒、公家屋敷19か所、武家屋敷4か所、ほかに消火で壊した町家7軒
- 1713年4月16日-09:00|日本| ||正徳3年3月22日|幕府が2挺立て・3挺立て船を禁止し、屋形船を100艘、また町駕籠を300挺に限定
- 1713年4月16日-09:00|日本|島根県浜田市|正徳3年3月22日|<死去>松平康員(35歳)前石見浜田藩主
- 1713年4月19日-01:00|オーストリア| |||カール6世がハプスブルク家の「家憲」を定め、女子相続権も規定
- 1713年4月20日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ワイットデーブル侯「ジョン・ヘイ」
- 1713年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ワイットデーブル侯「チャールズ・ヘイ」 (~17151217死去)
- 1713年4月26日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳3年4月2日|<就任>江戸幕府第7代征夷大将軍「徳川家継」 (~享保1年4月30日)
- 1713年4月27日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「シタール・ダマート・アリー・パシャ」 (~17160805)
- 1713年4月27日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「フランシスコ・ロペス・コネ」 (~5. 11)
- 1713年4月29日-09:00|日本|東京都中央区|正徳3年4月5日|<初演>2代目市川団十郎「花館阿愛護桜」作・津内半兵衛/山村座(助六劇の初め)
- 1713年5月8日-01:00|ベルギー- | |||<就任>ベルギー公(ハイノーとナミュール)「シャルル」(オーストリア王カール3世~17401020没)
- 1713年5月8日-01:00|オランダ/ルクセンブルク/オーストリア| |||スペイン継承戦争の結果としてスペイン領ネーデルラントはオーストリア大公が継承/ルクセンブルクはオーストリア領ネーデルラントの一部となる
- 1713年5月11日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ルネ・アントニオ・ラヨ・デ・ブリアネ・イ・パラシオ」 (~1717年)
- 1713年5月15日-09:00|日本|東京都江東区|正徳3年4月21日|高瀬金吾(10歳)、深川三十三間堂「半堂大矢数」で矢数13,000本中11,578本を通し、禄二百石賜る
- 1713年5月17日-09:00|日本| ||正徳3年4月23日|幕府が幕府領の大庄屋・割元惣代を廃止
- 1713年5月20日 06:00|日本|鹿児島県鹿児島市|正徳3年4月26日|<鹿児島正徳3年の連続火災>鹿児島城下町町の今度は下納屋町あたりから出火し、歴々の屋敷多数焼亡、千石馬場筋下手川原までを全焼、天神馬場も全焼、加治屋町、甲突川対岸の2か所に延焼し、全てで690余か所が全焼
- 1713年5月29日-09:00|日本| ||正徳3年5月6日|<死去>5代大橋宗桂(78歳)将棋棋士/四世名人
- 1713年6月5日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ファン・グレゴリオ・バサン・デ・ベト・ラツァ・テヘダ」 (~17170123)
- 1713年6月15日-01:00|イタリア| |||ベネチア共和国、ユトレヒト条約に加わる
- 1713年6月20日-09:00|日本|長野県松本市|正徳3年5月28日|<死去>信濃松本藩7万石「水野忠直」(62歳)⇒長男「水野忠周」が継ぐ(⇒享保3(1718)年10月28日、死去)
- 1713年6月26日-01:00|ルクセンブルク/ドイツ| |||<就任>ヘッセン領ルクセンブルク総督「ホントッシュ男爵ラインハルト・ヴァインゼント」 (~1714年)
- 1713年6月26日-01:00|ルクセンブルク/ドイツ| |||ルクセンブルクはヘッセン政権下 (~17150107)
- 1713年7月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ジグモンド・グロフ・コルニス・ゴツツルシュカイ」 (~17311215没)
- 1713年7月3日-09:00|日本|東京都|正徳3年閏5月11日|<死去>剣術家・伊庭是水軒(65)心形刀流開祖
- 1713年7月12日-09:00|日本|福島県伊達市|正徳3年閏5月20日|<死去>陸奥梁川藩3万石「松平義昌」(63歳)⇒7月6日、五男「松平義方」が継ぐ(⇒享保6(1721)年3月16日、死去)
- 1713年7月13日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル総督「トマス・スタンウィクス陸軍准将」 (~8. 7)
- 1713年7月13日-01:00|ジブラルタル/イギリス/スペイン| |||ユトレヒト条約により、スペインがイギリスにジブラルタルを割譲
- 1713年7月14日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督代行「カスパー・ヘルマン・フォン・ハウスマン」 (~17140515)
- 1713年7月14日-09:00|日本|大阪府豊中市|正徳3年閏5月22日|<交替>摂津麻田藩1万石「青木重矩」隠居⇒長男「青木一典」が継ぐ(⇒享保21(1736)年正月27日、死去)
- 1713年7月17日-09:00|日本|佐賀県唐津市|正徳3年閏5月25日|<死去>肥前唐津藩7万石「土井利益」(64歳)⇒長男「土井利実」が継ぐ(⇒元文元(1736)年11月26日、死去)
- 1713年7月18日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Charles Zedenno Stanley」 (~1718年)
- 1713年7月23日-09:00|日本|新潟県長岡市|正徳3年6月2日|新発田藩領中之島村名主与茂七ほか4人、組中徒党し庄屋へ非義を申しかけたとの罪科により、獄門・死刑に処せられる
- 1713年7月31日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「フリードリヒ・ヴィルヘルム1世」
- 1713年7月31日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェリーン公「カール・レオポルト」フリードリヒ・ヴィルヘルム1世の弟 (~1728年弟のクリスティアン・ルートヴィヒ2世に譲位)
- 1713年8月7日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「デヴィッド・コリアー」 (~17300102死去)
- 1713年8月21日-09:00|日本|静岡県藤枝市|正徳3年7月|<交替>駿河田中藩35000石「土岐頼殷」隠居⇒長男「土岐頼稔」が継ぐ(⇒寛保2(1742)年8月、上野沼田藩35000石に移封)
- 1713年8月28日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド司令官「ケラフ・フォード・ル・マトゥーエ・エヒツ・アツラクシ」 (~171

1720迄 (1598件)

7年)

- 1713年8月28日-02:00|フィンランド/ロシア| |||フィンランドをロシアが占領(~17210830)
- 1713年9月 04:00|ハムブルグ/イギリス| |||秋<就任>イギリス直轄植民地ハムブルグ総督代理「ヘンリー・フリン」(~17150420死去)
- 1713年9月8日-05:30|インド| |||<就任>コト国支配者(マハラ)「ヒム・シン1世」(~17200619没)
- 1713年9月8日-09:00|日本|長野県|正徳3年7月19日|<死去>信濃・丹波・摂津国内12000石「水野忠位」(59歳)⇒9月16日、婿養子「水野忠定」が信濃・丹波国内12000石で継ぐ(⇒享保10(1725)年10月18日、安房国北条藩12000石に移封)
- 1713年9月12日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|正徳3年7月23日|<交替>遠江横須賀藩25000石「西尾忠成」隠居⇒四男「西尾忠尚」が継ぐ(⇒延享2(1745)年9月1日、5000石加増され3万石)
- 1713年9月14日-09:00|日本| |||正徳3年7月25日|<死去>堀内正春(73歳)剣術家/直心影流に堀内流という一派を立てて江戸の小石川牛天神下に道場を持った
- 1713年9月14日-09:00|日本|神奈川県小田原市|正徳3年7月25日|<死去>相模小田原藩主「大久保忠増」(58歳)老中⇒六男「忠方」が継ぐ
- 1713年9月15日-09:00|日本|愛知県名古屋市|正徳3年7月26日|<死去>尾張名古屋藩61万9500石「徳川吉通」(25歳)⇒長男「徳川五郎太」が継ぐ(⇒10月18日、死去)
- 1713年9月22日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・アントニオ・ギウステリアーニ」(~17150922)
- 1713年9月22日-09:00|日本| |||正徳3年8月3日|<就任>老中「久世重之」(~享保5年6月27日)
- 1713年9月22日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|正徳3年8月3日|<加増立藩>下総多古藩12000石「松平(久松)勝以」(⇒享保13(1728)年2月14日、死去)
- 1713年9月24日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ピエール・デュヴァリエ」(2回目~17150718)
- 1713年10月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<死去>フランス領アンティル総督「Raymond Balthazar de Phelipeaux du Verger」
- 1713年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツツィ」「トマソ・チェッリ」
- 1713年10月9日-09:00|日本|佐賀県小城市|正徳3年8月20日|<死去>鍋島元武。顔と胸の腫瘍のため(52歳)前肥前小城市藩主
- 1713年10月11日-09:00|日本|長崎県平戸市|正徳3年8月22日|<死去>松浦棟(68歳)前肥前平戸藩主
- 1713年10月19日-09:00|日本|京都府京都市|正徳3年9月|<初演>「江戸櫻都の帰咲」芳澤あやめ、京都亀屋、榊山四郎太郎座
- 1713年10月27日-01:00|ベルギー- | |||就任>ベルギー-行政官(リンブルク+リエージュ総督)「シツェント・ルフとタンハウゼン伯爵フィリップ・ルトヴァ・イ・ヴェンツェル・グラーフ」(2度目~12.14)
- 1713年10月27日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「シュルズ・ヘリー公爵チャールズ・タルボット」(~17140921)
- 1713年11月6日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル暫定総督「Georges Robert Cloche de Mont-Saint-Remy de La Malmaison」(~1714年)
- 1713年11月12日-09:00|日本|神奈川県小田原市|正徳3年9月25日|<死去>相模小田原藩11万3000石「大久保忠増」⇒六男「大久保忠方」が継ぐ(⇒享保17(1732)年10月3日、病死)
- 1713年11月16日-05:30|インド| |||<就任>マラーター王国の宰相となり、以後世襲
- 1713年11月17日-08:00|インド 北ア/オランダ| |||<死去>オランダ 領東インド総督「フランク・ファン・リエベック」
- 1713年11月17日-08:00|インド 北ア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド総督「Christoffel van Swoll」(~17181112死去)
- 1713年11月17日-05:30|インド| |||<就任>マラーター王国宰相「バラージ・ウ・イシュヴァハート」(~17200402死去)
- 1713年11月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|正徳3年10月13日|<死去>西尾忠成(61歳)前遠江横須賀藩主
- 1713年12月3日-09:00|日本|滋賀県長浜市|正徳3年10月16日|<死去>近江小室藩12460石「小堀政房」(29歳)⇒12月9日、弟「小堀政峯」(⇒宝暦10年(1760)12月16日死去)
- 1713年12月4日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブ-諸島総司令官・総督代行「ダニエル・スミス」(~17150630)
- 1713年12月5日-09:00|日本|愛知県名古屋市|正徳3年10月18日|<死去>尾張名古屋藩61万9500石「徳川五郎太」(3歳)⇒11月11日、叔父「徳川継友」が継ぐ(⇒享保15年11月27日(17310105)、死去)
- 1713年12月9日-09:00|日本|大分県中津市|正徳3年10月22日|<死去>豊前中津藩4万石「小笠原長円」(38歳)⇒長男「小笠原長外」が継ぐ(⇒享保元(1716)年9月6日、死去無嗣断絶)
- 1713年12月12日-09:00|日本|東京都中央区|正徳3年10月25日|<死去>初代中村伝九郎(52歳)歌舞伎役者、座元(中村七之助→二代目中村明石→初代中村勘太郎→四代目中村勘三郎→現名)
- 1713年12月14日-01:00|ベルギー- | |||<就任>リンブルク総督「ゲオルク・フライヘル・タンダ-フェルト」(~1714年)
- 1713年12月29日-09:00|日本|栃木県さくら市|正徳3年11月12日|<死去>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川昭氏」(72歳)⇒翌年1月19日、婿養子「喜連川氏春」が継ぐ(⇒享保6(1721)年6月25日、死去)
- 1714年-08:00|インド 北ア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「マヌエル・フェレイラ・デ・アルメイダ」(~1715年)
- 1714年-08:00|インド 北ア| |||<即位>テルナタ・スルタン「Amir Iskandar Zulkarnain Saifuddin」(~1751年)、「Kaicili Raja Laut」(~1751年)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「スタンファ・シヴァ・シン」(~1744年没)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「ウヘントラ・ナラヤナ」(~1763年没)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>コンダル国統治者(タル・サーヒブ)「ハロジ・サケラムジ」(~1753年没)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>トリパラ国ラジャ「タルマ・マニヤ2世」(1回目~1728年)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>ファルカバート国支配者(ナワブ)「モハマト・カン・ガンザンファー・ジャン」建国(~1743年没)
- 1714年-05:30|インド| |||<就任>ラクタル国統治者(タル・サーヒブ)「カランジジ1世ゴパルジジ」(~1741年)

1720迄 (1598件)

- 1714年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<死去>ヒヴァン国第24代ハン「Yadigar Khan1世」
- 1714年-05:00|パキスタン| |||<就任>カラット国カン「アフマド2世・カン」(~1716年)
- 1714年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒヴァン国第25代ハン「ハージ・ムハンマド2世」(~同年)
- 1714年-04:00|ロシア| |||ロシア暦1月28日|<即位>カラムイクハン国ハン「チャクトル・シヤブ」共同統治(~1720302没)
- 1714年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ウスマーン・パシャ」(1回目~1715年3月)
- 1714年-03:00|マヨット| |||<就任>マロ・スルタン国摂政「モウ・オ・ビント・ムウニエ・ファニ」(~1720年頃)
- 1714年-02:00|エジプト/トルコ| |||<再任>オスマン帝国領エジプト・ベイレルバエイ「Abdi Pasha」(1期目~1716年)
- 1714年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Asci Ibrahim Pasha」(~12月)
- 1714年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Topal Yusuf Pasha」(~1716年)
- 1714年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモタパ 総司令官「フランシスコ・テ・マスカレニャス」(~1716年)
- 1714年-01:00|オランダ/フランス/ベルギー| |||<就任>エノー伯「シャルル4世」兼フランドル伯「シャルル5世」(~17401020死去)
- 1714年-01:00|フランス| |||<就任>フランドル伯「シャルル5世」(~17401020死去)
- 1714年-01:00|ドイツ| |||<就任>プーラウンシュェアイク・ウ・オルフェンビュッテル侯「アウグスト・ウ・イルヘルム」アントン・ウルリヒの息子(~17310323死去)
- 1714年-01:00|イタリヤ| |||<即位>シチリア王「ウイットーリオ・アメデオ2世」(~1720年)
- 1714年-01:00|フランス| |||<即位>ジヨユース公「Louis de Melun」(~17240731死去)
- 1714年-01:00|イタリヤ| |||イタリヤで陶器職人の「職業病」の認定と概念が成立
- 1714年-01:00|ドイツ| |||ドイツの物理学者ファレンハイトが水銀温度計を考案
- 1714年 00:00|チャンドル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ギンズー島管理人「Jean de Sausmarez」(~1728年)
- 1714年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー暫定司令官「ジョン・サ・パプティスト」(~1716年)
- 1714年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト副総督「George Hey」(~1715年)
- 1714年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ボネール司令官「Pieter Born」(2期目~1719年)
- 1714年 05:00|エカトリス/スペイン| |||<就任>スペイン領キタ暫定総督・総司令官・大審問院長「シモン・テ・リベラ」(~17150728)
- 1714年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「ジョン・ハート」(~1715年)
- 1714年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「ファン・バルデス」(~1716年)
- 1714年 06:00|アメリカ| |||この年、紅茶が初めてアメリカ植民地にもたらされる
- 1714年1月-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「Ralph Congreve」(~17161007)
- 1714年1月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「William Sharpe」(~1715年)
- 1714年1月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミング 総督「フレナック伯ルイ・ド・ケルボン」(~17170111)
- 1714年1月1日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Abraham de Belleprat」(~1717年)
- 1714年1月4日 00:00|イギリス| |||<死去>19代クロフォード伯・3代リッジー伯「ジョン・リッジー」
- 1714年1月4日 00:00|イギリス| |||<就任>20代クロフォード伯・4代リッジー伯「ジョン・リッジー」(~17491225死去)
- 1714年1月10日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「chevalier de Bethune」(~1715年)
- 1714年1月12日-09:00|日本|岡山県倉敷市|正徳3年11月26日|<死去>岡山新田藩15000石「池田輝録」(65歳)⇒翌年2月19日、養子「池田政晴」が継ぐ(⇒寛延元(1748)年9月11日、45歳で死去)
- 1714年1月16日-04:00|ジョージア| |||<就任>ケリア公「ギオルギ4世」(2回目~1716年)
- 1714年2月6日 07:00|日本|東京都|正徳3年12月22日|<江戸下谷正徳三年屏風坂下の大火>申の中刻(16時ごろ)、下谷屏風坂下、榊原式部大輔屋敷、門前町稲荷の近所から出火、池の端の仁王門から湯島天神前へ延焼、下谷小路、柳原を全焼させ、藤堂和泉守、立花飛騨守、宗対馬守屋敷をなめ尽くして浅草へと延焼/大川(隅田川)を超えて本所へ飛び火、回向院前にある材木蔵へと延焼、そこから深川六間堀へと魔手を伸ばし、霊巖寺、法禅寺を焼け落とし付近の町家から永代橋まで延焼し焼け落とした/そこから日本橋へと延焼、松枝町、馬喰町、小伝馬町、大伝馬町、堺町、大坂町、浜町、小舟町、小網町などすべてを灰として子の中刻(午前0時ごろ)鎮火/被害は250町ほど、大、小名および武家屋敷1363軒、橋12か所焼失/218人死亡
- 1714年2月15日-09:00|日本| ||正徳4年|<刊行>香西成資「南海治乱記」全17巻
- 1714年2月15日-09:00|日本| ||正徳4年1月|貝原益軒の教義・道徳・教育等の意見を著した「慎思録」完成
- 1714年2月18日-05:30|インド| |||<死去>マイソール国ハラジャ「ナラジャヤ2世ウットヤール」
- 1714年2月18日-05:30|インド| |||<即位>マイソール国ハラジャ「クリシュナラジャ1世ウオデヤール」(~17320305没)
- 1714年2月20日-01:00|オランダ| |||<就任>ベルゲン・オブ・ズーム総督「ウイレム男爵ファン・ワッセナー」(~17941104)
- 1714年2月24日 00:00|チャンドル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領バルバドス島知事「Edmund Andros卿」
- 1714年2月24日 00:00|チャンドル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領バルバドス島知事「George Andros」(~10.20死去)
- 1714年2月26日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳4年1月12日|大奥年寄絵島らの醜聞事件が発生(絵島生島事件)
- 1714年3月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>ヒヴァン国第26代ハン「シール・ガーズィー」イルバルス1世の子孫(~1727.12死去)
- 1714年3月1日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|正徳4年1月15日|小栗栖檀林所化寮及び本経寺焼失
- 1714年3月6日-01:00|ドイツ| |||<再任>ハイルン選帝侯「マクシミリアン2世エマヌエル」ハートン条約で地位を回復(~17260226)
- 1714年3月6日-01:00|イタリヤ/オーストリア| |||<即位>(オーストリアの直接統治)ハプスブルグ王「カール6世」(~1734年)兼サルデーニャ国王「カール6世」レオポルト1世とエリザベト・マリア・マリア・フォン・バウチン・ツェルツの息子(~1720年~17401020死去55歳)
- 1714年3月6日-01:00|オーストリア/フランス| |||フランスとオーストリアの間のスペイン継承戦争が、ラシュタット条約が締結されて終了
- 1714年3月6日-01:00|イタリヤ/オーストリア| |||ミラノ、ノヴァーラ、マンツァ、サルデーニャ、ラシュタット条約によりオーストリアに帰属
- 1714年3月7日-01:00|ドイツ| |||ラシュタットの和約でドイツ諸邦がユトレヒト条約を追認
- 1714年3月17日-01:00|ベルギー| |||<就任>リンブルク総督「トウルヌとウアルサッシーナ伯爵フランツ・ジギスムント」(~17160131)

1720迄 (1598件)

- 1714年3月25日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキ7総督・領主「ステファン・コンスタンティン・カンタゴ」(~17160109没)
- 1714年3月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>プーランシュウ・アイクウ・ホルフェンビュッテル侯「アントン・ウルヒ」
- 1714年3月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>プーランシュウ・アイクウ・ホルフェンビュッテル侯「アウグスト・ヴィルヘルム」アントン・ウルヒの息子(~17310323死去)
- 1714年3月28日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ケープ植民地司令官(オランダ東インド会社)「モーリッツ・ハスケルト・シャウオンヌ」(~17240908)
- 1714年3月28日-09:00|日本|滋賀県彦根市|正徳4年2月13日|<拝領>近江彦根新田藩1万石「井伊直定」宗家彦根藩より(~享保19(1734)年10月8日、宗藩彦根藩の養嗣子となる)
- 1714年3月28日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳4年2月13日|<解任>大老「井伊直該(直興改め)」
- 1714年3月28日-09:00|日本|奈良県桜井市|正徳4年2月13日|<交替>大和戒重藩1万石「織田長清」隠居⇒三男「織田長弘」が継ぐ(⇒同年7月19日、死去)
- 1714年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジューゼッペ・オノフリ」
「ロレンツォ・ジヤンギ」
- 1714年4月4日-09:00|日本|千葉県館山市|正徳4年2月20日|<死去>屋代忠位(68歳)元安房北条藩主
- 1714年4月7日-09:00|日本|京都府福知山市|正徳4年2月23日|<死去>朽木植昌(72歳)前丹波福知山藩主
- 1714年4月7日-09:00|日本|滋賀県彦根市|正徳4年2月23日|<交替>近江彦根藩30万石「井伊直興(直該)」隠居⇒13男「井伊直惟」が継ぐ(⇒享保20(1735)年5月9日、隠居)
- 1714年4月10日-09:00|日本|岐阜県中津川市|正徳4年2月26日|<死去>遠山友春(54歳)前美濃苗木藩主
- 1714年4月15日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国総合官房秘書官「Manuel de Vadillo y Velasco」(~17141130)
- 1714年4月15日 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「フランシスコ・デ・ラ・ロチャ・イ・ラ・ルイス」(~1715年)
- 1714年4月17日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ゲインズバラ伯「ハテリスト・ノエル」
- 1714年4月17日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ゲインズバラ伯「ハテリスト・ノエル」(~17510321死去)
- 1714年4月17日-09:00|日本|滋賀県大津市|正徳4年3月4日|<交替>近江膳所藩6万石「本多康慶」隠居⇒長男「本多康命」が継ぐ(⇒享保4年11月30日(17200109)死去)
- 1714年4月20日 00:00|セザール/フランス| |||<就任>ルアン社セザール局長「アントレ・フリュエ」(~17181215)
- 1714年4月24日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「ウィリアム・Sharpe」(2期目~17150512)
- 1714年4月24日-09:00|日本|福井県吉田郡永平寺町|正徳4年3月11日|永平寺庫裏から出火、寺中残らず焼失
- 1714年4月25日-09:00|日本|長野県伊那市|正徳4年3月12日|絵島、月光院の嘆願により罪を減ぜられて信州高遠送りとされる
- 1714年4月28日-09:00|日本|長野県|正徳4年3月15日|信州で大地震/松本が特に激震/潰家33、死者57人/上州堺津で津波あり
- 1714年4月29日-09:00|日本| ||正徳4年3月16日|寺社境内での猿楽、説教、雑劇、偶人戯など、華美にながれる故に一切禁止
- 1714年5月-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「ジョージ7世」(4回目~1720年3月)
- 1714年5月5日-01:00|フランス| |||<死去>ペリー公「シャルル」
- 1714年5月15日-01:00|ルウェー/デンマーク| |||<就任>ルウェー総督「フリート・リヒ・フリハレ・クラッグ・ティル・ステンバレガード」(副総督~1722年)
- 1714年5月19日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アロンソ・デ・アルセ・イ・ソリア」(~10.2)
- 1714年5月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ホーフォート公「ハンリー・サマセット」
- 1714年5月24日 00:00|イギリス| |||<就任>ホーフォート公「ハンリー・サマセット=スキューターモア」先代の子(~17450224死去)
- 1714年5月29日-09:00|日本|長野県伊那市|正徳4年4月16日|<死去>信濃高遠藩33000石「内藤清枚」(70歳)⇒長男「内藤頼卿」が継ぐ(⇒享保20(1735)年2月27日、死去)
- 1714年6月1日-01:00|ルクセンブルグ/ドイツ| |||<就任>ハッセン領ルクセンブルグ 総督「ケッペル男爵ヨハン・ボ」(~1715年)
- 1714年6月7日 00:00|イギリス| |||<死去>3代トロタ伯「ハンリー・ハミルトン=ムーア」
- 1714年6月7日 00:00|イギリス| |||<就任>4代トロタ伯「ハンリー・ムーア」(~17270529死去)
- 1714年6月8日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1714/5/28|<死去>イギリス王ジョージ1世の母ソフィア/83歳(誕生16301014)
- 1714年6月11日-01:00|ドイツ| |||<初演>J. S. バッハ《カンタータ第21番「わが心には憂い多かりき」》
- 1714年6月11日-09:00|日本|宮崎県日南市|正徳4年4月29日|<交替>日向飢肥藩51000石「伊東祐実」隠居⇒甥「伊東祐永」が継ぐ(⇒元文4(1739)年正月14日、51歳で死去)
- 1714年6月13日-09:00|日本| ||正徳4年5月2日|<死去>怡溪宗悦(71歳)臨濟宗の僧、茶人
- 1714年6月24日-09:00|日本| ||正徳4年5月13日|幕府が荻原重秀と結託して不正利益を得ていた銀座年寄深江庄左衛門、中村内蔵助ら10名を遠流・追放とする
- 1714年6月24日-09:00|日本| ||正徳4年5月13日|幕府が、新金貨の鑄造を停止
- 1714年6月26日-09:00|日本| ||正徳4年5月15日|幕府が金銀を慶長金銀と同質同量に改鑄し、新旧金銀の交換レートを決める(正徳の改銀)
- 1714年6月28日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督代理「マシュー・ハセット」(~7.8)
- 1714年7月8日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「アイザック・パイク」(1期目~17190614)
- 1714年7月11日-09:00|日本|佐賀県小城市|正徳4年5月30日|<死去>肥前小城藩73000石「鍋島元延」(20歳)⇒養子「鍋島直英」が継ぐ(⇒延享元(1744)年9月12日、死去)
- 1714年7月12日-09:00|日本| ||正徳4年6月|貝原益軒の朱子学批判書「大疑録」完成

1720迄 (1598件)

- 1714年7月13日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ウイラウエルデ伯爵、アンゲハ侯爵ペドロ・アントニオ・デ・ノローア・アルカキエ・エ・スザ」(~17180821)
- 1714年7月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳4年6月3日|<死去>初代米沢彦八(不明)落語家
- 1714年7月24日-09:00|日本|東京都|正徳4年6月13日|<死去>奈良屋勝豊(53歳)江戸の材木商、4代目奈良屋茂左衛門
- 1714年7月28日-09:00|日本|福井県勝山市|正徳4年6月17日|<死去>小笠原貞信(84歳)前越前勝山藩主
- 1714年7月30日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン連合王国高等財務卿「シュルズベリ公チャールズ・タレルット」(~10.11)Whg
- 1714年8月1日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシー公(スコットランド王位の法定推定相続人)・コンウォール公・22代キャリック伯「ジョージ・オーガスタス」初代ケブリッジ公(~17270622ジョージ2世として即位)
- 1714年8月2日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シャンペーシ2世」(~17601220没)
- 1714年8月3日-09:00|日本|滋賀県高島市|正徳4年6月23日|<交替>近江大溝藩2万石「分部信政」(隠居)⇒三男「分部光忠」が継ぐ(⇒享保16(1731)年3月14日、死去)
- 1714年8月7日-02:00|バルト海/スウェーデン/ロシア| |||<ハンガの海戦>バルト海でロシア・ツァーリ国海軍がスウェーデン海軍を破る。大北方戦争終結へ
- 1714年8月7日-01:00|ドイツ/デンマーク| |||ヘルゴランドはデンマークの一部(シュレースヴィヒ公国の王室の一部)
- 1714年8月8日-02:00|フィンランド/ロシア| |||オランダ諸島を(フィンランド全土とともに)ロシアが占領(~17210910)
- 1714年8月12日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦8月1日|<死去>イギリス女王「アン」49歳(誕生16650206)
- 1714年8月12日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦8月1日|<即位>グレートブリテン連合王国国王「ジョージ1世」(~17270622死去)
- 1714年8月17日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クマールティ伯「ジョン・マッケンジー」
- 1714年8月17日 00:00|イギリス| |||<就任>2代クマールティ伯「ジョン・マッケンジー」(~17310210死去)
- 1714年8月17日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|正徳4年7月8日|<死去>上野小幡藩2万石「織田信久」(72歳)⇒8月23日、三男「織田信就」が継ぐ(⇒享保16(1731)年6月10日死去)
- 1714年8月22日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ王「サイ・ミン」
- 1714年8月22日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「タンゴンウエイ・ミン」(~17331114没)
- 1714年8月23日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>マリ・ガランテ知事「Charles de Brunier」(~1723年)
- 1714年8月27日-09:00|日本|和歌山県新宮市|正徳4年7月18日|<交替>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野重期」(隠居)⇒養子「水野忠昭」が継ぐ(⇒寛延2(1749)年10月25日死去)
- 1714年8月28日-09:00|日本|奈良県桜井市|正徳4年7月19日|<死去>大和戒重藩1万石「織田長弘」(19歳)⇒9月23日、弟「織田長亮」が継ぐ(⇒享保18(1733)年6月7日、死去)
- 1714年9月1日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「アフディ・ハシヤ」(1回目~1716年)
- 1714年9月7日-01:00|ドイツ| |||ハノーファーの和約で神聖ローマ帝国がユトレヒト条約を承認
- 1714年9月7日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|正徳4年7月29日|<交替>但馬豊岡藩33000石「京極高住」(隠居)⇒長男「京極高栄」が継ぐ(⇒享保6(1721)年6月13日、死去)
- 1714年9月11日-01:00|スペイン| |||フェリペ5世の軍隊がバルセロナを占領
- 1714年9月17日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルハル司教シオド・ギンタ・イ・アベッテギ」(~17370827)
- 1714年9月19日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メウラ総督「Patricio Gomez de la Hoz」(~17150401死去)
- 1714年9月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ダブリン大司教ウィリアム・キング/チャム大司教ジョン・ウエー/キルア伯爵ロバート・フィッツジェラルド」(~17151101)
- 1714年9月22日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Antonio Marcelino Ascanio y Tovar + Juan Luis Arias Altamirano y Quijano」(~17150101)
- 1714年9月22日-09:00|日本|埼玉県川越市|正徳4年8月14日|<死去>武蔵川越6万石(老中)「秋元喬知」(66歳)⇒9月29日、次男「秋元喬房」が継ぐ(⇒元文3(1738)年9月5日、死去)
- 1714年10月-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「イェ」(1回目~1716年6月)
- 1714年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ロリ」(ピエトロ・フランチェニ)
- 1714年10月2日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「パブロ・コンサレス・デ・ラ・カドラ」(~12.14)
- 1714年10月4日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「サンタ・ランド伯爵チャールズ・スペンサー」(アイルランドには行かなかった~17170213)
- 1714年10月5日-09:00|日本|福岡県福岡市|正徳4年8月27日|<死去>貝原益軒(85歳、寛永7(1630)1114生)本草学者、儒学者
- 1714年10月7日-09:00|日本| ||正徳4年8月29日|幕府が吉原通いの高速船猪牙船を禁じる
- 1714年10月7日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|正徳4年8月29日|<死去>武蔵岩槻藩33000石「永井尚平」(18歳)⇒弟「永井直陳」が継ぐ(⇒宝暦6(1756)年5月21日、美濃加納藩に移封)
- 1714年10月9日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ロッキンガム伯「ルイス・ワトソン」(~17240319死去)
- 1714年10月11日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン連合王国国庫財務実行主席弁務官「ハリファックス男爵チャールズ・モンタギュー」(2期目~17150519)Whg
- 1714年10月14日-09:00|日本|京都府京都市|正徳4年9月6日|<就任>京都所司代「水野忠之」(⇒1717(享保2年9月27日))
- 1714年10月14日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳4年9月6日|<就任>老中「戸田忠真」(~享保14年10月29日)、「松平信庸」(~享保1年3月5日)
- 1714年10月15日-09:00|日本|東京都台東区|正徳4年9月7日|浅草に鑄銭場を置く
- 1714年10月18日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳4年9月10日|<死去>竹本義太夫(64歳)浄瑠璃太夫、義太夫節創始

1720迄 (1598件)

者

- 1714年10月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カーナーヴァン伯「ジェームズ・ブリッジス」(⇒17190429初代シャントス公・初代カーナーヴァン侯~17440809死去)
- 1714年10月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クレア伯「トマス・ヘラム=ホルズ」ジョン・ホルズの甥(⇒17150811兼初代ニューカッスル=アポーン=タイン公・初代クレア侯⇒17561117兼初代ニューカッスル=アポーン=タイン公~17681117死去ニューカッスル=アポーン=タイン公爵位消滅)
- 1714年10月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代タンカーヴァイル伯「チャールズ・ヘネット」(~17220521死去)
- 1714年10月20日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領オランダ=島知事「George Andros」
- 1714年10月20日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領オランダ=島知事「Anne Andros」(~1721年死去)、「John Le Mesurier1世」(~1722年死去)
- 1714年10月25日-09:00|日本|徳島県徳島市|正徳4年9月17日|<死去>阿波富田藩5万石「蜂須賀隆長」(41歳)⇒11月16日、養子「蜂須賀正員」が継ぐ(享保10(1725)年7月4日、宗家徳島藩の世子となり、所領は徳島藩に返上)
- 1714年10月29日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ブラガンサ公・ブラジル公・パルティダ公・ウイラウイザ侯・パルティダ伯・オウム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「ペドロ」
- 1714年10月29日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラガンサ公・ブラジル公・パルティダ公・ウイラウイザ侯・パルティダ伯・オウム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「Jose」ジョン5世国王の次男(~17500731ポルトガル・アルカルーエ王~17770224死去)
- 1714年11月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「徐宗泰」(~17161010)
- 1714年11月17日-09:00|日本| ||正徳4年10月11日|<死去>野本道玄(60歳)茶人
- 1714年11月30日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国総合官房秘書官Jose de Grimaldo y Gutierrez de Solorzano(~17240114)
- 1714年12月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア=ウァリス「タマト・ヌマン・パシャ」(2度目~1715年5月)
- 1714年12月4日-09:00|日本| ||正徳4年10月28日|幕府が公家衆法度4か条を出す
- 1714年12月5日-09:00|日本|岡山県岡山市|正徳4年10月29日|<死去>備前岡山藩31万5千石「池田綱政」(77歳)⇒四男「池田継政」が継ぐ(⇒宝暦2(1752)年12月6日、隠居)
- 1714年12月8日-09:00|日本|山梨県甲府市|正徳4年11月2日|<死去>柳沢吉保(57歳)前甲斐甲府藩主、元老中格・大老格
- 1714年12月9日-01:00|イタリア/トルコ| |||トルコがウエネツィアに宣戦布告
- 1714年12月14日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ=デ=ラ=プラタ暫定総督「ホセ・ベルムデステ=カストロ」(~17150523)
- 1714年12月18日-09:00|日本|熊本県|正徳4年11月12日|<死去>細川綱利(72歳)前肥後熊本藩主
- 1714年12月26日-01:00|フランス| |||フランス「サン=ジェルマン市場」(6区)の「劇場」に劇団「オペラ=コミック座」ができる
- 1715年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール暫定知事「トミンゴ=ダ=コスタ」(~1718年)
- 1715年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Jacob Bontendorp」(~1720年)
- 1715年-08:00|インドネシア| |||<即位>ハカン=スルタン「Kie Nasiruddin」(~1732年)
- 1715年-05:45|ネパール| |||<即位>トリタ=ラ=王「ジャヤ=プラシマ=マラ」(~1716年6月没)
- 1715年-05:30|インド| |||<就任>カッチ国統治者(マハラ)「ゴ=ダ=ジ=1世」(~1719年没)
- 1715年-05:30|インド| |||<就任>チョタ=ナグ=プール国支配者(ラジャ)「ヤト=サト=シャー」(~1724年)
- 1715年-05:30|インド| |||<就任>トルコ国統治者(タル=サーヒブ)「カジ=2世=ジュン」(~1716年没)
- 1715年-05:30|インド| |||<就任>ラジ=ピ=ラ=国統治者(ラジャ=マハラ)「ジ=ツインジ」(~不明)⇒「ゴ=マルシジ=ジ=ツインジ」(~1754年没)
- 1715年-05:00|カザフスタン| |||<死去>カザフ汗国ハ「タケ」
- 1715年-05:00|カザフスタン| |||<就任>中ジウス=ハン「カイフ=カーン」(~1718年没)
- 1715年-04:00|ジョージア| |||<就任>ミンク=リア公「ヘ=ザン」(~1728年没)
- 1715年-04:00|モリシヤス/フランス| |||フランス東インド=会社がモリシヤスを領有し、交易拠点を建設
- 1715年-03:00|スーダン| |||<即位>ダフル=スルタン国スルタン「アフマド=ハカル=イブン=ム=サ」(~1728年頃)
- 1715年-02:00|シリア=アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ=ワリス(総督)「Divrikli Abdullah Pasha」(~同年)⇒「Koca Mustafa Pasha」(~1716年)
- 1715年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||マニのオスマン帝国支配が復活
- 1715年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco Fernandez de Ribadeo」(1期目~1719年)
- 1715年-01:00|ポズニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「サリ=ムスタファ=パ=シャ」(~17160113)
- 1715年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン王室廷吏「ヨセフ=グレンツィンク=フォン=シュトラ=ベルク」(~1719年)
- 1715年-01:00|カメルーン| |||<即位>マンダ=ラ=スルタン国スルタン「ファカル=アジ」建国(~1737年)
- 1715年 00:00|セカール| |||<就任>ブントウ支配者(エリマン)「トウマ=ネ=フ=マ=マリク=シ」(~?)
- 1715年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ブライア=ト=ナリア長官「Luis Antonio de Basto Baharem」(~1749年)
- 1715年 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ暫定知事「Pierre de Morthon」(~17160907)
- 1715年 04:00|アンティグア=バ=ブ=ダ=イ/イギリス| |||<就任>アンティグア副総督「エドワード=ハイルム」(~17411204没)
- 1715年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファー=ズ=総督「ウィリアム=マシュー=ズ=ジュニア」(~1733年)
- 1715年 04:00|モントセロ/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセロ副総督「トマス=Talmash」(~1722年)
- 1715年 05:00|キューバ| |||史上最大の財宝船団、ハバナを出港した後暴風雨に遭遇、2千5百人の団員のうち千名が死亡
- 1715年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マリ=ランド=植民地総督「ジョン=ハート」(~1720年)
- 1715年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケ=ア=県総督「ホセ=ロテ=ス=ノ」(~1717年)

1720迄 (1598件)

- 1715年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州市長兼副司令官「ペドロ・デ・ヤナル」 (~1716年没)
- 1715年1月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケラングイル女伯「グレイス・カートレット」 (~17441018死去)
- 1715年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Francisco Felipe Mijares de Solorzano y Tovar + Juan Julian de Ibarra y Herrera」 (~1.13)
- 1715年1月4日-09:00|日本| ||正徳4年11月29日|幕府が参勤交代で東海道を通るべき諸大名の中山道通行を禁止、中山道通行の大名は金沢・高田など30藩とする
- 1715年1月5日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルク 総督「ハートム・アントン・フライヘル・フォン・ワッハテンドック」 (~17161204)
- 1715年1月7日-01:00|ルクセンブルク| |||<就任>ルクセンブルク公「カール4世」(オーストリア王カール3世~17401020没)
- 1715年1月8日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「シツェント・ルフとタンハゼン伯爵フリッポ・ルートヴィヒ」 (~17420208没)
- 1715年1月13日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア暫定総督「Alberto de Bertodano y Navarra」 (~17160704)
- 1715年1月23日-09:00|日本|滋賀県高島市|正徳4年12月18日|<死去>分部信政 (63歳) 前近江大溝藩主
- 1715年1月24日 00:00|イギリス| |||<死去>3代クインズベリー侯「ジェームズ・ダグラス」
- 1715年1月24日 00:00|イギリス| |||<就任>4代クインズベリー侯「チャールズ・ダグラス」3代クインズベリー公 (~17781022死去)
- 1715年1月27日-09:00|日本|千葉県富津市|正徳4年12月22日|<死去>上総飯野藩2万石「保科正賢」 (50歳) =>翌年2月16日、長男「保科正殷」が継ぐ(=>享保3(1718)年11月22日、隠居)
- 1715年2月4日-09:00|日本| ||正徳5年|<刊行>江島其磧の浮世草子「世間子息気質」(気質物の初め)
- 1715年2月4日-09:00|日本| ||正徳5年|<完成>新井白石「西洋紀聞」
- 1715年2月4日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「マルティン・デ・ウルス」
- 1715年2月4日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Jose de Torralba Rios」 (~17170809)
- 1715年2月4日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マチュセッツ湾直轄植民地総督代理「総督評議会」 (~3.21)
- 1715年2月10日 00:00|イギリス| |||イギリスで潜水服が特許を取得「アン・リュウ・ベッカー」が取得し、エム川で披露した
- 1715年2月14日-09:00|日本| ||正徳5年1月11日|海船互市新例公布/金銀の流出防止と輸出入のバランスを計る
- 1715年2月20日-09:00|日本|大阪府高槻市|正徳5年1月17日|<死去>摂津高槻藩36000石「永井直英」 (21歳) =>従弟「永井直期」が継ぐ(=>延享5(1748)年1月16日、隠居)
- 1715年2月27日-09:00|日本|広島県竹原市|正徳5年1月24日|賀茂郡下市村新町・榎町火事(焼家数115軒、竈数95軒)
- 1715年3月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ハサン・パシャ」=>「ラジヤフ・パシャ」 (~1716年)
- 1715年3月1日-09:00|日本|兵庫県姫路市|正徳5年1月26日|<死去>播磨林田藩1万石「建部政宇」6(69歳) =>次男「建部政周」が継ぐ(=>享保17(1732)年9月23日、隠居)
- 1715年3月2日-09:00|日本|広島県福山市|正徳5年1月27日|<死去>備後福山藩10万石「阿部正邦」 (58歳) =>3月12日、四男「阿部正福」が継ぐ(=>寛延元(1748)年11月19日、隠居)
- 1715年3月5日-09:00|日本| ||正徳5年1月30日|幕府が三笠付を賭博行為として禁止(9月19日諸国に禁止を通達)
- 1715年3月16日-09:00|日本| ||正徳5年2月中旬|新井白石が「西洋紀聞」を著す
- 1715年3月21日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マチュセッツ湾直轄植民地総督「ジョセフ・ダトリー」 (~11.9)
- 1715年4月1日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メラ総督「Patricio Gomez de la Hoz」
- 1715年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・パオロ・ガロニ」 「ジュゼッペ・サンピエーニ」
- 1715年4月12日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ウォートン侯・第2代マムズベリー侯・第2代キャザール侯・第2代ラスファナム伯「ウィリアム・ウォートン」 (~17290403剥奪)
- 1715年4月12日-09:00|日本| ||正徳5年3月9日|<死去>森田久右衛門 (75歳) 陶工
- 1715年4月15日 06:00|アメリカ| |||カロライナ辺境で、ヤムシー・インディアンの戦争が勃発
- 1715年4月20日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<死去>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ヘンリー・プリン」
- 1715年4月29日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ 総督「マヌエル・ペレイラ カリエロス・エ・アラウジョ」 (~6.20)
- 1715年5月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ガリス「アフメト・パシャ・デ・イズター」 (~1716年7月)
- 1715年5月 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「サンチャゴ」の騎士フェルナント・コンスタンツ・イ・ラミス (~17240716没)
- 1715年5月12日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督「ロバート・Lowther」 (2期目~17200713)
- 1715年5月14日-09:00|日本|静岡県牧之原市|正徳5年4月12日|<死去>遠江国相良藩15000石「本多忠晴」 (75歳) =>嫡孫「本多忠通」が継ぐ(=>享保6(1721)年7月2日、17歳で死去)
- 1715年5月15日-09:00|日本|山口県下松市|正徳5年4月13日|<改易>周防徳山藩45000石「毛利元次」宗家領民と争乱/宗家に吸収
- 1715年5月19日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハリファックス伯「チャールズ・モンタギュー」
- 1715年5月23日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定総督「バルサザール・ガルシア・ロス」 (~17170617)
- 1715年5月23日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン連合王国国庫財務実行主席弁務官「カラル伯チャールズ・ハワード」 W hg (2期目~10.10)
- 1715年5月25日 00:00|イギリス| |||<初演>ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル 《歌劇「ゴールのアマテイス」》
- 1715年6月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳5年5月|<初演>近松門左衛門「生玉心中」>嘉平次おさか>大阪竹本座

1720迄 (1598件)

1715年6月5日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||トルコ軍、モータレに上陸。ベラルド・バルビ戦わずして降伏
1715年6月8日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||ティノスがオスマン帝国に占領される
1715年6月13日-09:00|日本| ||正徳5年5月12日|<死去>5代杵屋喜三郎(67歳)長唄三味線方
1715年6月14日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハリファックス伯「ジョージ・モンタギュー」(~17390509死去)
1715年6月20日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||トルコ軍、モリアに入る
1715年6月20日 01:00|カーホ・ベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーホ・ベルテ 総督「商工会議所上院」(~17160406)
1715年6月24日 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Bartolomeu da Costa Ponte」(~1716年)
1715年6月24日 00:00|イギリス| |||ロンドンの4つのロッジが居酒屋に集り、フリーメイソンのグランド・ロッジを結成する(近代フリーメイソンの始り)
1715年6月27日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウ総督「Joao de Saldanha da Gama」(~17181005)
1715年6月30日 04:00|アンティガ・ア・パルマ/イギリス| |||<就任>リワード・カビニ 諸島総司令官・総督代行「ウィリアム・マシュー・ジュニア」(1回目~17160207)
1715年7月3日-09:00|日本|熊本県熊本市|正徳5年6月3日|<死去>熊本新田藩35000石「細川利昌」(44歳)⇒次男「細川利恭」が継ぐ(⇒寛保2(1742)年3月7日、隠居)
1715年7月9日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||ナポリの包囲。9日間抗戦
1715年7月11日-09:00|日本| ||正徳5年6月11日|<死去>鳥山芝軒(61歳)漢詩人
1715年7月14日-09:00|日本| ||正徳5年6月14日|<死去>生田検校(邦楽)(60歳、1656年生)生田流箏曲の祖
1715年7月14日-09:00|日本|三重県津市|正徳5年6月14日|<死去>伊勢久居藩53000石「藤堂高堅」(66歳)⇒長男「藤堂高陳」が継ぐ(⇒享保8(1723)年9月13日、隠居)
1715年7月18日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||ナポリがオスマン帝国に降伏
1715年7月19日-09:00|日本|山口県岩国市|正徳5年6月19日|<死去>周防岩国藩6万石「吉川広達」⇒7月23日、長男「吉川経永」が継ぐ(⇒明和元(1764)年10月13日、死去)
1715年7月24日 00:00|フェロ諸島/デンマーク| |||<就任>フェロ諸島領土執行使(トスハウ)「Didrik Marcussen」(~1723年死去)
1715年7月26日 00:00|イギリス| |||<就任>アンカスター=ケステイゲン公「ロバート・バートン」初代リンツ=候(~17230726死去)
1715年7月28日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督代行「フランソワ・アンソニート・レインガール」(2回目~17160122)
1715年7月28日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領オランダ総督・総司令官・大審問院長「サンティアゴ・デ・ライン・イ・ビケニャ」(1回目~17181103)
1715年7月29日-09:00|日本|滋賀県長浜市|正徳5年6月29日|<交替>近江宮川藩1万石「堀田正休」隠居⇒三男「堀田正朝」が継ぐ(⇒享保4(1719)年8月20日、死去)
1715年8月-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ギヨーム・アントン・レ・テベール」(2度目~1718年8月)
1715年8月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Henry de Martel de Chausson」(~1717.6)
1715年8月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||フランスがサン・マルタン一部再開(グアドループに從属)20070709)
1715年8月3日-09:00|日本| ||正徳5年7月5日|幕府が御用達商人の賄賂・請託禁止を諸国に通達
1715年8月4日-09:00|日本|京都府京都市|正徳5年7月6日|<死去>稻生若水(61歳)医学者、本草学者、儒学者
1715年8月7日-09:00|日本|愛媛県大洲市|正徳5年7月9日|<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰恒」痲病のため(59歳)⇒次男「加藤泰統」が継ぐ(⇒享保12(1727)年6月24日、死去)
1715年8月11日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ニューカッスル=アホーン=タイン公・初代クリア侯「トマス・ヘラム=ホーレス」(⇒17561117兼初代ニューカッスル=アホーン=ライン公~17681117死去ニューカッスル=アホーン=タイン公爵位消滅)
1715年8月12日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||カラマツ湾の戦いでトルコ軍逃走
1715年8月13日-09:00|日本|静岡県掛川市|正徳5年7月15日|<死去>井伊直朝(36歳)元遠江掛川藩主
1715年8月16日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||モリア城がオスマン帝国により陥落
1715年8月16日-01:00|オーストリア/ロシア/トルコ| |||ベルグラートの戦い/オイゲン公率いるオーストリア軍が、ベルグラート(ベオグラード)で再びオスマン軍を破り同地を奪取
1715年8月16日-01:00|イタリヤ/トルコ| |||モトノ、突然の陥落
1715年8月17日-09:00|日本|秋田県秋田市|正徳5年7月19日|<死去>出羽久保田藩205800石「佐竹義格」(22歳)⇒9月12日、養子「佐竹義峯」が継ぐ(⇒寛延2(1749)年8月10日、60歳で死去)
1715年8月22日-01:00|イタリヤ/スペイン| |||スペイン宰相アルベロニが、サルデーニャを占領
1715年8月22日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦:1715/8/11|ロンドンのテムズ川で、ハンデルの「水上の音楽」組曲第1番が演奏される
1715年8月25日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|正徳5年7月27日|<交替>播磨三日月藩15000石「森長俊」隠居⇒長男「森長記」が継ぐ(⇒元文4(1739)年6月26日、隠居)
1715年8月31日-09:00|日本|岐阜県海津市|正徳5年8月3日|<死去>美濃高須藩3万石「松平義行」(60歳)⇒甥「松平義孝」が継ぐ(⇒享保17年5月21日(17320613)、死去)
1715年9月1日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王「ルイ14世」76歳(誕生16380905)
1715年9月1日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「フランス王ルイ15世」(~1774年)
1715年9月1日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王「ルイ15世最愛王」ルイ14世の曾孫(~17740510)「チュイルリ=宮」(1区)を使用(約7年間)
1715年9月6日 00:00|イギリス| |||イギリスでジャコバイトの反乱がおこる
1715年9月7日-02:00|ギリシャ/トルコ| |||マルワシアがオスマン帝国に降伏

1720迄 (1598件)

- 1715年9月7日-09:00|日本| ||正徳5年8月10日|<死去>初代古満休伯(不明)蒔絵師
1715年9月7日-09:00|日本|大分県杵築市|正徳5年8月10日|<死去>豊後杵築藩32000石「松平重休」(25歳)⇒甥「松平親純」が継ぐ(⇒元文4(1739)年2月16日、37歳で死去)
1715年9月12日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国首席大臣「カーテ・イタル・ジ・ロム・ド・ホーイス」(~17230810死去)
1715年9月14日-02:00|ギリシャ/トルコ/イタリヤ| ||ウエネツィアの要塞スタが陥落、オスマン帝国に降伏
1715年9月15日-01:00|フランス| ||「パレ・ロイヤル」(1区)に住む「オルアン公」フィリップ2世(故ルイ14世の甥)を「摂政」とする
1715年9月15日 05:00|コロンビア/スペイン| ||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「サントフェ大審問院」(~17170423)
1715年9月23日-09:00|日本| ||正徳5年8月26日|<死去>森川許六(60歳)俳人
1715年9月26日-01:00|イタリヤ| ||<就任>シエナ共和国トージェ「ロルツォ・セントウリオネ」(~17170926)
1715年9月27日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ベンジヤミン・ベネット大佐」(2期目~1722年)
1715年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ベルナルディーノ・レオナルド・マリノ・エネア・ホネリ」
1715年10月4日-02:00|ギリシャ/トルコ/イタリヤ| ||ウエネツィアの要塞スピノナが陥落、オスマン帝国に降伏
1715年10月10日 00:00|イギリス| ||<就任>グレートブリテン連合王国国庫財務実行主席弁務官「ロバート・ウォルポール」(1期目~17170609)Whg
1715年10月17日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン=ヒルトブルクハウゼン公「エルンスト」
1715年10月17日-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン=ヒルトブルクハウゼン公「エルンスト・フリートリヒ1世」(~17240309死去)
1715年10月20日-01:00|ドイツ| ||<死去>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Meinrad2世」
1715年10月20日-01:00|ドイツ| ||<就任>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Joseph Friedrich Ernst」(~17691208死去)
1715年10月30日 00:00|イギリス| ||<死去>初代セックス伯「ヘンリー・レンナード」
1715年11月-04:30|アファニスタン| ||<死去>ホータキ朝アミール「ミールワイス・ホータク」
1715年11月-04:30|アファニスタン| ||<即位>ホータキ朝アミール「アブ・ダール・アジズ・ホータク」(~1717年殺害される)
1715年11月1日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メウラ総督代理「Pedro Sanson」(~1716年)
1715年11月1日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行判事「クラフトン公爵チャールズ・フィッツロイ・ゴールウェイ伯爵アリト・ド・マス」(~17170320)
1715年11月1日-09:00|日本|東京都|正徳5年10月6日|<死去>渋川春海(77歳、1639年生)天文方、囲碁棋士、神道家/貞享暦の作成
1715年11月9日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督代理「ウィリアム・テラー」(~17161005)
1715年11月13日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ストラスマア=キング・ホーン伯「ジョン・ライオン」戦死
1715年11月13日 00:00|イギリス| ||<就任>6代ストラスマア=キング・ホーン伯「チャールズ・ライオン」先代の弟(~17280511死去)
1715年11月26日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|正徳5年11月|<創業>芦之湯・きのくにや旅館
1715年11月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|正徳5年11月1日|<初演>近松門左衛門「国性爺合戦」竹本座
1715年11月26日-09:00|日本|東京都|正徳5年11月1日|<死去>初代片岡仁左衛門(60歳)歌舞伎役者
1715年11月29日-09:00|日本|福岡県朝倉市|正徳5年11月4日|<死去>筑前秋月藩5万石「黒田長軌」(30歳)⇒12月15日、養子「黒田長貞」が継ぐ(⇒宝暦4(1754)年9月10日、死去)
1715年12月1日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督代理「Felix Martinez de Torrelaguna」(~1716年)
1715年12月4日-04:00|ルネオン/フランス| ||<就任>ブルボン島司令官「Henri de Justamond」(~17180214)
1715年12月4日-01:00|ドイツ| ||<死去>トリア選帝侯「カール・ヨーゼフ」
1715年12月7日 00:00|イギリス| ||<死去>11代モントン伯「ジェイムズ・ダグラス」
1715年12月7日 00:00|イギリス| ||<就任>12代モントン伯「ロバート・ダグラス」(~17300122死去)
1715年12月8日 00:00|イギリス| ||<死去>3代オモンド伯・2代フォーファー伯「アーチボルト・ダグラス」
1715年12月17日 00:00|イギリス| ||<死去>3代ツイード・デール侯「チャールズ・ヘイ」
1715年12月17日 00:00|イギリス| ||<就任>4代ツイード・デール侯「ジョン・ヘイ」(~17621209死去)
1715年12月23日-09:00|日本|長野県飯田市|正徳5年11月28日|<死去>信濃飯田藩2万石「堀親賢」中風のため(32歳)⇒長男「堀親庸」が継ぐ(⇒享保13年7月12日(17280817)、死去)
1715年12月26日-09:00|日本| ||正徳5年12月|幕府が武家地に地借・店借を置くことを禁じる
1716年-08:00|マレーシア| ||<死去>バンダ・ハラ・セリ・マハラジャ「トゥン・アブドラー・ビン・トゥン・ハビブ・アブドゥル・マジド」
1716年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ベンクーレン副総督(マダラス総督に従属)「Theophilus Shyllinge」(~1717年)
1716年-08:00|マレーシア| ||<即位>バンダ・ハラ・セリ・マハラジャ「トゥン・アブドゥル・ジャマル・ビン・トゥン・ハビブ・アブドゥル・マジド」(~1721年没)
1716年-08:00|マレーシア| ||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・ブンダン・パダン」(~1720年)
1716年-05:45|ネパール| ||<死去>ゴルカ・ラジャ「フリトウ・イパティ・シャー」
1716年-05:45|ネパール| ||<即位>ゴルカ・ラジャ「ナラ・フ・パル・シャー」(~17430403没)
1716年-05:30|インド/オランダ| ||<就任>オランダ領インド総督「アドリアント・ウイッシャー」(~1719年)
1716年-05:30|インド| ||<就任>ガルワル国ラジャ「タリフ・シャー」(~1717年没)
1716年-05:30|インド| ||<就任>トール国統治者(タクル・サーヒブ)「ウァージ・ジュノジ」(~1760年)
1716年-05:30|インド| ||<就任>パンスタ国統治者(ラジャ・サーヒブ)「ラルハムジ」(~1739年没)
1716年-05:30|インド| ||バンダ率いるシ教との反乱が鎮圧され、バンダは虐殺される
1716年-05:00|パキスタン| ||<就任>カラット国カン「アブドラー・カーン」(~1734年)

1720迄 (1598件)

- 1716年-04:30|アフガニスタン/イラン| |||ヘラートのアフガン族がイランから独立
 1716年-04:00|ジョージア| |||<就任>ゲリア公「カイトロ3世」⇒「ギオルギ4世」(3回~1726年)
 1716年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「アフマド・パシャ」(1回目~1720年6月)
 1716年-02:00|エジプト/トルコ| |||<再任>オスマン帝国領エジプト・ベイルベグ「Dellak Ali Pasha」(2期目~1720年)
 1716年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Maktulzade Ali Pasha」(~同年)
 1716年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Nevsehirlı Damad Ibrahim Pasha」(~同年)⇒「Kapudan Ibrahim Pasha」(~1717年)
 1716年-01:00|ベナン| |||<死去>アゴホム王国国王「アカバ・ウイバガ」
 1716年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>レンバ・ムラ王国国王「ヨハネ2世」
 1716年-01:00|オランダ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ネーデルラント総督「オイクン・フォン・ザウヴェン」(~1724年)
 1716年-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「フランツ・ルートヴィヒ」(~1729年)
 1716年-01:00|クワチア| |||<即位>ホルツァ大公「イウン・シノフツチ」(~1717年)
 1716年 00:00|イギリス| |||<死去>ヨーク・ホルバニ公「アーネスト・オーガスタス」
 1716年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「イサオ・ロペス・フェレイラ」(~1717年)
 1716年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Chamber Senate」(~1717. 10)
 1716年 00:00|カナダ/ドイツ| |||<就任>フロレンス・ゴールド=コスト司令官「アントン・ギューンター・ファン・デル・メンデン」(~1717年)
 1716年 00:00|イギリス| |||<就任>ヨーク・ホルバニ公「アーネスト・オーガスタス」(~17280814死去)
 1716年 00:00|イギリス| |||ハレーが王立教会の講演で69年の金星の太陽面通過を予測
 1716年 00:00|イギリス/バルバドス| |||バルバドスで黒人奴隷の反乱
 1716年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Abraham de Bellebat de Duquesne-Guitton」(~17170107)
 1716年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州暫定市長兼副司令官「エステバン・デ・ラ・ラメンティ」(~1718年)
 1716年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領テキサス植民地総督「マルティン・デ・アラルコン」(~1719年)
 1716年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督代理「Antonio Valverde y Cosío」(~同年)⇒「Juan Paez Hurtado」(~1717年)
 1716年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ペドロ・ロペ・オリベラ・イ・フナ」(~同年)⇒代理「ファン・デ・アヤラ・イ・エスコバル」(~1718年)
 1716年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「ジャン・バティスト・ル・モワヌ・ド・ビエンガイユ」(~1717年)
 1716年 06:00|アメリカ| |||ヴァージニア総督スプットウツガシエント-溪谷まで探検
 1716年 06:00|アメリカ| |||リビングストーンがウィリアムズバーグに植民地初の劇場を建設
 1716年1月-01:00|スペイン| |||カタルニャに新国家基本令がだされ、法的一元化を図る
 1716年1月 04:00|グレナダ/フランス| |||<就任>グレナダ総督「フェルディナント・ド・マザンクール」(~1717年)
 1716年1月1日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クマ、モモバ総司令官「フランシス・デ・ソットマヨール」(~1719年)
 1716年1月1日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|正徳5年12月7日|<交替>陸奥三春藩5万石「秋田輝季」隠居⇒養子「秋田頼季」が継ぐ(⇒寛保3年6月1日(17430721)、死去)
 1716年1月5日-02:00|ルーマニア| |||<復位>モルダヴィア王「ミハイ3世ラウイタ」(3期目~1726. 10)
 1716年1月13日-01:00|ポズナニ/オーストリア| |||<就任>ポズナニ総督「ユースト・パシャ」(~7. 19)
 1716年1月22日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督「ヨハント・マホー」(~17171004)
 1716年1月24日-08:00|中国| ||清・康熙55年|「康熙字典」が完成、清・康熙帝の学問サロン「南書房」の俊英らが編纂
 1716年1月25日-09:00|日本| ||正徳6年|<刊行>井上通女「帰家日記」
 1716年1月25日-09:00|日本| ||正徳6年|<刊行>女子の修養書「女大学宝箱」
 1716年1月25日-09:00|日本| ||正徳6年|<刊行>新井白石「古史通」
 1716年1月25日-07:00|日本|東京都千代田区|正徳6年1月1日|<江戸正徳6年の連続火災>真夜中の丑の刻(午前2時ごろ)、城内呉服橋門内にある大名小路の本多中務大輔の上屋敷から出火、炎は鍛冶橋周辺の大名屋敷をなめ、城外に出て京橋から木挽町、芝口門外まで焼失
 1716年1月30日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「ニコラス・アレクサンダー・マウロルダット」(1回目~11. 14)
 1716年1月31日-01:00|ベルギー| |||<就任>リンブルク総督代行「ヨゼフ・ロタールト・ミニク・グラーフ・フォン・ケーニヒゲ=ローテンフェルス」(~11月)
 1716年2月-05:30|インド| |||<就任>マドラス国ジャムナプット・シン」(~同年没)⇒「マン・シン」(~1743年没)
 1716年2月3日-01:00|アルジェリア| |||アルジェリアで地震、死者2万
 1716年2月4日 10:00|日本|東京都文京区|正徳6年1月11日|<江戸正徳6年の連続火災>西の下刻(19時ごろ)、湯島無縁坂から出火、神田、下谷あたりから伝馬町、茅場町、八丁堀から霊巖島まで焼いた/中村座、市村座焼失
 1716年2月6日 05:00|ベルギー| |||ベルギー地震(マグニチュード9. 0)死者2000人
 1716年2月7日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>リワード・カリブ諸島総司令官・総督「ウALTER・ハミルトン」(2回目~17211219)
 1716年2月8日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモソ朝)対立皇帝「ダウイット3世」(⇒19日、皇帝~17210518没)
 1716年2月11日-07:00|日本|東京都|正徳6年1月18日|<江戸正徳6年の連続火災>真夜中の丑の刻(午前2時ごろ)、鉄砲州の松平右京大夫の屋敷から出火、それとは別に浅草諏訪町からも出火し、炎は飛んで本所、深川あたりを焼いた

1720迄 (1598件)

- 1716年2月12日-02:00|ル-マニア| |||<就任>モルダウイ総督「ミハイ・イアン・ラコウ・イツ」(3回目~1726年10月)
- 1716年2月12日 04:00|プ-エルトリコ/スペイン| |||<就任>プ-エルトリコ知事兼提督代理「Jose Francisco Carreno」(~8.30)
- 1716年2月17日 00:00|イギリス| |||<私権剥奪>6代マ-伯「ジョン・ア-スン」
- 1716年2月19日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「ヨストス・テ-ルハ・イヤサ」
- 1716年2月22日 03:00|日本|東京都|正徳6年1月29日|<江戸正徳6年の連続火災>子の刻(12時ごろ) 神田柳原土手下の豊島町から出火、南は橋本町から横山町まで、西は岩井町、小伝馬町から大川端(隅田川岸)まで焼き、新大橋が残らず焼けた
- 1716年2月29日-06:00|日本|東京都文京区|正徳6年2月7日|<江戸正徳6年の連続火災>丑の下刻(午前3時ごろ)、本多中務大輔の今度は本郷六丁目にある下屋敷から出火、寅の中刻(午前4時ごろ)本郷五丁目あたりまで焼いて鎮火
- 1716年3月2日 05:00|ペ-ル/スペイン| |||<就任>ペ-ル副王「大審問院長マテオ・デ・マタ・ボンセ・デ・レオン」(~8.15)
- 1716年3月7日 01:00|日本|東京都中央区|正徳6年2月14日|<江戸正徳6年の連続火災>巳の刻(午前10時ごろ)、日本橋通二丁目から出火、平松町、左内町の西側など24、5町ほどを残らず焼いて八丁堀の松平越中守屋敷で焼け止まる
- 1716年3月15日 08:00|日本|東京都中央区|正徳6年2月22日|<江戸正徳6年の連続火災>申の下刻(17時ごろ) 京橋の南鍛冶町新道から出火、酉上刻(18時ごろ) 銀座一丁目あたりで鎮火
- 1716年3月25日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Pedro Borra」(~1719年)
- 1716年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャン・ジャコモ・アンジ-エリ」「ジョヴァンニ・マルテッリ」
- 1716年4月6日 01:00|カ-ホ-ベルデ/ポルトガル| |||<就任>カ-ホ-ベルデ 総督「セラフィム・テイシェイラ・カルメント・デ・サ」(~1720年)
- 1716年4月10日 08:00|日本|愛媛県松山市|正徳6年閏2月18日|<安東火事>松山城下杉谷より出火し、武家・町家189軒を焼失
- 1716年4月13日-03:00|ス-ダン| |||<即位>フツ-スルタン国スルタン「ウサ3世イブン・ハ-デ-イ2世」(~17200708)
- 1716年4月13日-01:00|オ-ストリア/トルコ| |||オ-ストリア・オスマン戦争が勃発
- 1716年4月18日-09:00|日本|宮崎県|正徳6年閏2月26日|<死去>秋月種政(59歳) 前日向高鍋藩主
- 1716年4月22日-09:00|日本|千葉県成田市|正徳6年3月1日|<死去>下総高岡藩1万石「井上政蔽」(56歳) =>長男「井上政鄰」が継ぐ(=>享保16(1731)年8月7日、隠居)
- 1716年4月25日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ロバ-ト・ダ-ニエル」(~1717年)
- 1716年4月27日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳6年3月5日|<解任>老中「松平信庸」
- 1716年5月2日-01:00|フランス/イギリス| |||スコットランドのエンジニア出身の銀行家(貴金属商)ジョン・ロー、パリの「カンホ-ワ通り」65番地(3区)に「総合銀行」(個人銀行)を設立
- 1716年5月4日-09:00|日本| |||正徳6年3月13日|新井白石の歴史書「古史通」がなる
- 1716年5月6日-09:00|日本|愛媛県西条市|正徳6年3月15日|<死去>一柳直治(75歳) 前伊予小松藩主
- 1716年5月10日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー州植民地総督「サミュエル・シュート」(~17230101)
- 1716年5月11日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハ-ス公(ジャコバ-イト)「ジェイムズ・ト-ラモンド」非ジャコバ-イト爵位剥奪
- 1716年5月11日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハ-ス公(ジャコバ-イト)「ジェイムズ・ト-ラモンド」先代の長男(~17200417死去)
- 1716年5月12日 00:00|カナ-オランダ| |||<就任>オランダ領ゴ-ールド=コースト総裁「ロバ-ト・エイブ-ラハム・エンゲルグ-ラフ」(~17180311)
- 1716年5月12日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|正徳6年3月21日|<死去>下野壬生藩3万石「鳥居忠英」(52歳) =>養子「鳥居忠瞭」が継ぐ(=>享保20(1735)年4月27日、死去)
- 1716年5月18日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1716/5/7|イギリスで7年議会法が制定
- 1716年5月21日-09:00|日本|新潟県岩船郡粟島浦村|正徳6年4月|賀茂郡下市村米屋の22端帆船, 出羽栗島沖で遭難, 乗組員14名全員死亡
- 1716年5月27日-09:00|日本| |||正徳6年4月7日|幕府が市中の車・荷付き馬・渡船による事故の処罰を定める
- 1716年6月-05:45|ハ-ル| |||<死去>リリアウ王「ジャリテ-イラマラ」
- 1716年6月-04:00|ジョージア| |||<即位>カルトリ王「ヴァフタング 6世」(2回目~1717年)
- 1716年6月2日-09:00|日本|山口県下松市|正徳6年4月13日|<廃藩>周防徳山藩45000石「毛利元次」宗家領民と争乱, 宗家に吸収
- 1716年6月3日-01:00|オランダ| |||<就任>ゲ-ルト司令官「ハ-トラムントン男爵ヴァン-ヴァ-アッハント-ンク-トット-ゲルメンベ-ル」(~17200302没)
- 1716年6月4日-09:00|日本| |||正徳6年4月15日|幕府が五街道などの呼称を改定して, 統一/日光・奥州・甲州の3街道は「道中」が正式名称となる
- 1716年6月5日-09:00|日本|大分県佐伯市|正徳6年4月16日|<死去>毛利高久(50歳) 豊後佐伯藩主
- 1716年6月6日-09:00|日本| |||正徳6年4月17日|<死去>公弁法親王(48歳) 後西天皇の皇子、天台座主
- 1716年6月8日-01:00|ド-イツ/オランダ| |||<死去>ユ-リヒ=クレ-フェ-ベルク連合公・フ-ファルツ=ノイ-ブルク公・フ-ファルツ選帝侯「ヨハン-ガイ-ルヘルム2世」
- 1716年6月8日-01:00|ド-イツ/オランダ| |||<即位>ユ-リヒ=クレ-フェ-ベルク連合公・フ-ファルツ=ノイ-ブルク公・フ-ファルツ選帝侯「カ-ル3世フィリップ」(~17421231死去) 兼メ-ケン伯(~17280906)
- 1716年6月11日-09:00|日本| |||正徳6年4月22日|<死去>初代中島勘左衛門(55歳) 歌舞伎役者
- 1716年6月17日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ-デ-ラ-プラタ総督代行「マニエル・デル・ハラコ-イ-ザ-ビ-アイン」(~7.11)
- 1716年6月19日-09:00|日本|愛媛県西条市|正徳6年4月30日|<交替>伊予西条藩33000石「松平頼致」紀伊国紀州藩を相続=>弟「松平頼渡」が継ぐ(=>元文3(1738)年3月16日、33歳で死去)
- 1716年6月19日-09:00|日本|東京都千代田区|正徳6年4月30日|<死去>江戸幕府第7代将軍・徳川家継、病死(8歳、宝

1720迄 (1598件)

永6 (1709) 0703生)

- 1716年6月19日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|正徳6年4月30日|<交替>紀伊和歌山藩55万5千石「徳川吉宗」將軍
後見職となり辞任⇒養子「徳川宗直」が継ぐ(⇒宝暦7 (1757) 年7月2日、死去)
- 1716年6月28日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ノザンランド公「ジョージ・フィッツロイ」嗣子なく廃絶
- 1716年6月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アルスター伯「初代ヨーク=オールバニ公アーネスト・オーガスタス王子」(~17280814死去)
- 1716年7月-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ファト=アリ=カーン=ダゲスタニ」(~17201208)
- 1716年7月-01:00|アルバニア/トルコ| |||ブトリントをオスマン帝国が短期間占領(~9. 2)
- 1716年7月4日 04:30|ペルー/スペイン| |||<就任>スペイン領ペルー総督「Marcos Francisco de Betancourt y Castro」(~17201107)
- 1716年7月5日-01:00|イタリア/トルコ| |||トルコ艦隊コルフに侵入。アントニオ・ロランとフォン・シュレンベルグ果敢な防衛。出撃して重要拠点を救う
- 1716年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク=オールバニ公「アーネスト・オーガスタス」(~17280814死去)
- 1716年7月6日 00:00|イギリス| |||<昇格>2代ポートランド伯「ヘンリー・ヘンティンク」⇒初代ポートランド公(~17260704死去)
- 1716年7月14日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチフィールド伯「Sir エドワード・ヘンリー・リー」
- 1716年7月14日 00:00|イギリス| |||<就任>2代リッチフィールド伯「Sir ジョージ・ヘンリー・リー」(~17430215死去)
- 1716年7月16日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「Baltasar de Zuniga Guzman Sotomayor y Mendoza, 1st Duke of Arion and Marquess of Valero」(~17221015)
- 1716年7月19日-01:00|ポズナニ/プロシヤ/ポーランド| |||<就任>ポズナニ総督「イブラヒム・パシャ」(~8. 28)
- 1716年7月20日-09:00|日本|京都府京都市|正徳6年6月2日|<死去>尾形光琳 (59歳、万治1 (1658) 生) 画家、工芸家
- 1716年7月25日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ総督「ピーター・ヘイウッド」(~17180426)
- 1716年7月26日-09:00|日本|愛知県刈谷市|正徳6年6月8日|<死去>阿部正春 (80歳) 前三河刈谷藩主
- 1716年8月5日-01:00|セルビア/トルコ/オーストリア| |||<ヘーターウアルダインの戦い>セルビアの都市でオーストリア大公国がオスマン帝国を破った
- 1716年8月8日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<死去>セントトマス島・セントジョン島総督「Michel Knudsen Crone」
- 1716年8月8日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Erik Bredal」(~17240501)
- 1716年8月9日-09:00|日本| ||享保1年6月22日|「享保」に改元
- 1716年8月15日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー暫定副王「デ・イエゴ・モルシージュール・オ・デ・アウゴン」(1回目~10. 5)
- 1716年8月16日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「ウァロ侯爵・アリオン公バルタサル・デ・スニガ」(~17221014)
- 1716年8月17日-09:00|日本| ||享保1年7月|赤痢による死者が8万を超え、棺桶・火葬が間に合わず築地・品川沖に水葬される
- 1716年8月17日-09:00|日本|東京都|享保1年7月|享保元年江戸で謎の疫病大流行、8万人が死亡
- 1716年8月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保1年7月4日|<大坂享保元年の大火「堂島焼」>子刻(午前0時ごろ)、大坂天満新地老松町より出火、曾根崎新地一丁目より桜橋まで残らず焼失、新地は残り、また堂島新地二丁目より西江まで焼き抜け、民野橋より一町西にて堂島の火は留まる/また上福島へ飛び火、西へ三町ほど焼ける/被害は、町数で17町、家数は258軒、かまど数にして2435軒が焼失/類焼した福島村の被害は、家数で190軒ほど、かまど数にして1200軒ほどで、つごう合計してかまど数3635軒焼失/諸大名の大坂屋敷13か所が類焼、大名蔵8か所の8万2585石(約1万2400ト)、米商人の蔵4か所、2202石(約300ト)が類焼
- 1716年8月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハチ・ハルパシャ」(~17170826)
- 1716年8月21日-09:00|日本|愛知県岡崎市|享保1年7月5日|<死去>三河奥殿藩16000石「松平乗真」(31歳)⇒9月5日、長男「松平盈乗」が継ぐ(⇒寛保2 (1742) 年5月21日、死去)
- 1716年8月22日-01:00|イタリア/トルコ| |||トルコ軍42日の包囲の後、包囲を解く
- 1716年8月26日-09:00|日本|新潟県五泉市|享保1年7月10日|<死去>堀直利 (59歳) 前越後村松藩主
- 1716年8月28日-01:00|ポズナニ/プロシヤ/ポーランド| |||<就任>ポズナニ総督「カラ・ムスタファ・パシャ」(~17170610)
- 1716年8月30日 04:00|プロシヤ/フランス| |||<就任>プロシヤ知事兼提督「Alfonso Bertodano」(~17200407)
- 1716年9月7日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Claude Guillouet」(1期目~1720. 12)
- 1716年9月23日-09:00|日本| ||享保1年8月8日|幕府が人身売買・永年奉公人の抱え置き・人別帳に漏れた者の居住・田畑永代売買・田畑の質入れなどを禁じる
- 1716年9月28日-09:00|日本|東京都江東区|享保1年8月13日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂千射」で、松井楠太郎(9歳)が985本(総矢数1000本)を記録
- 1716年9月28日-09:00|日本|東京都千代田区|享保1年8月13日|江戸城で徳川吉宗に第8代の征夷大將軍宣下/紀伊和歌山→直轄江戸800万石(-延享2年)
- 1716年9月30日-09:00|日本| ||享保1年8月15日|<死去>山口素堂 (75歳) 俳人
- 1716年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベルツィ」「バルトロメオ・ベッティ」
- 1716年10月5日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「サント・オノ公カミナス・ニコラス・カラッチョーロ」(~17200126)
- 1716年10月5日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾直轄植民地総督「サミュエル・シュート」(~17230101)
- 1716年10月7日-01:00|シブアルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領シブアルタル知事代理「Stanhope Cotton」(~17201019)
- 1716年10月8日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「フランス・ド・リゲス・デ・リバス」(~17241201)
- 1716年10月8日-09:00|日本| ||享保1年8月23日|幕府が紀伊藩の武士を諸藩の動静を見張るお庭番として採用
- 1716年10月9日-09:00|日本|青森県八戸市|享保1年8月24日|<死去>陸奥八戸藩2万石「南部通信」(44歳)⇒長男「南

1720迄 (1598件)

- 部広信」が継ぐ(⇒寛保元(1741)年5月2日、33歳で死去)
1716年10月10日-09:00|日本| ||享保1年8月25日|<死去>山本荷兮(69歳)俳人
1716年10月15日-09:00|日本|京都府京都市|享保1年9月|<初演>「国性爺合戦」歌舞伎、京都万太夫、榊山四郎太郎座
1716年10月17日-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||ハナトをオーストリアが占領(~11.2)
1716年10月20日-05:30|インド/デンマーク| ||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランバル)司令官「クリステン・ブルンホルム」(17200121)
1716年10月20日-09:00|日本|大分県中津市|享保1年9月6日|<死去改易>豊前中津4万石「小笠原長さと」(6歳)無嗣
1716年10月22日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|享保1年9月8日|<死去>木下俊長(69歳)前豊後日出藩主
1716年10月25日 03:00|ウグアイホルトガル| ||<就任>サクラメント新植民地ホルトガル総督「Manuel Gomes Barbosa」(~1720314)
1716年10月25日 03:00|ウグアイホルトガル| ||サクラメントの新植民地をホルトガルが支配(~17771122)
1716年10月25日-09:00|日本|東京都|享保1年9月11日|幕府が鳥見役を再置し、鷹場を復活
1716年11月-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ヴァリス「チェビ・ムスタファ・パシャ」(~17170822)
1716年11月-01:00|ベルギー- | ||<就任>リンブルク総督代行「プリエ侯爵エルコル・ジュゼッペ・ルジ・トリネッティ」(~1717年)
1716年11月2日-02:00|ルーマニア/オーストリア| ||ハナトはオーストリアの民政下(~17790423)
1716年11月2日-01:00|セルビア/ルーマニア| ||ウグアイホルトガルはオーストリアの一部(~1779年)
1716年11月4日-01:00|ドイツ| ||独の哲学者・数学者ライプニッツ死去/微分・積分を創始
1716年11月6日-09:00|日本|東京都江東区|享保1年9月23日|江戸三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、古郡熊次郎(11歳)が11,593本(総矢数13,600中)を記録
1716年11月7日-09:00|日本| ||享保1年9月24日|<死去>有栖川宮正仁親王(23歳)皇族
1716年11月9日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|享保1年9月26日|<霧島山「享保の噴火」第3期噴火で最大の被害>大噴火あり、同未の刻(14時ごろ)より益々激しくなり、戌時(20時ごろ)に又々燃えだし、東御在所(当神社本殿)にかかり、噴火する毎に焼礫(火山弾)飛来して、人家馬屋皆焼く、葎川の人家焼く、神徳院、錫杖院皆焼失/焼失家屋総数604軒、牛馬焼死405匹/5人死亡
1716年11月14日-09:00|日本| ||享保1年10月|<刊行>松岡恕庵「救荒本車」
1716年11月16日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保1年10月3日|<死去>小西来山(63歳)俳人
1716年11月22日-09:00|日本|千葉県佐倉市|享保1年10月9日|<死去>稲葉正往(77歳)前下総佐倉藩主、元寺社奉行・京都所司代・老中
1716年11月25日-09:00|日本|愛媛県大洲市|享保1年10月12日|<交替>伊予新谷藩1万石「加藤泰舩」隠居⇒長男「加藤泰貴」が継ぐ(⇒享保12(1727)年6月3日、隠居)
1716年11月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|享保1年10月12日|<再興>播磨安志藩1万石「小笠原長興」(⇒享保15(1730)年12月11日、隠居)
1716年12月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Asci Ibrahim Pasha」(~1717.3)
1716年12月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワラキア総督・領主「シモン・アレクサンダー・マウロコラツ」(~17190212没)
1716年12月-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「テヴレト3世ギレイ」(~1717年死去)
1716年12月4日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| ||<就任>オーストリア領ルクセンブルグ総督「ブロンホルスト＝グロンスフェルト伯爵ヨハン・フランツ」(~17190417没)
1716年12月5日-05:30|スリランカ/オランダ| ||<就任>オランダ領セイロン総督「アイザック・アウグスティン・ルンボフ」(~17230611死去)
1716年12月7日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ゴートン公・4代ハントリー侯・ハントリー＝インジュー伯「ジョージ・ゴートン」
1716年12月7日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ゴートン公・5代ハントリー侯「アレクサンダー・ゴートン」(~17281128死去)
1716年12月14日-09:00|日本|京都府京都市|享保1年11月1日|<就任>関白「九条輔実」(~享保7年正月13日)
1716年12月23日 04:00|ロシア| ||<就任>リトヴァ総督代行「セヴェンティン・コンチヤ・イサバ・テイレ」(~17171216)
1717年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>ベンクル副総督(マドラス総督に從属)「Richard Farmer」(~1718年)
1717年-08:00|インドネシア| ||ジャワのマタラム王国で第2次ジャワ王位継承戦争
1717年-05:45|ネパール| ||<即位>ラタプラ王「シヤハ・スカラマ」(~1722年6月没)
1717年-05:30|インド| ||<死去>シッキム王「チャグドル・ナムギヤル」
1717年-05:30|インド| ||<就任>ガウル王国ラジャ「ウヘントラ・シヤ」(~9か月)⇒「フレッド・シヤ」(~1772年12月没)
1717年-05:30|インド| ||<就任>ゴハト国支配者(ラナ)「ヒム・シン」(~1756年没)
1717年-05:30|インド| ||<就任>チャンデリ王国ラジャ「トウラジ・シン」(~1733年)
1717年-05:30|インド| ||<就任>ハルナガル国統治者(マハラット)「サンガラム・シン」(~1718年没)
1717年-05:30|インド| ||<就任>マラルコト国支配者(ナワブ)「ジャマル・カーン」(~1762年没)
1717年-05:30|インド| ||<就任>ムガル帝国カミール総督「イヤット・ウー・カーン」(2回目~1720年)
1717年-05:30|インド| ||<即位>シッキム王「キユメット・ナムギヤル」(~1733年、死去)
1717年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル太守「ムルシド・クリー・ハーン」(~17270630死去)
1717年-05:00|パキスタン| ||<即位>カトゥール朝国王「Shah Faramurd」
1717年-04:30|アフガニスタン| ||<死去>ホータキ朝アミール「アフタル・アジズ・ホータク」殺害される
1717年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>ホータキ朝アミール「マフムド・ホータク」(~17250422死去)
1717年-04:00|ジョージア| ||<即位>カトリ王「ハカリ3世(=シヤハ・ナワズ・ハーン4世)」(1回目~1719年8月)
1717年-04:00|ロシア| ||ロシア暦1月28日|列はロシアの宗主権下(1720年に確認)
1717年-03:00|パレール/オマーン| ||パレールをマスカットとオマーンが占領(~1722年)
1717年-02:00|ウクライナ| ||<死去>クリミア・ハン国ハン「テヴレト3世ギレイ」

1720迄 (1598件)

- 1717年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマス・ワリス(総督)「Koprulu Abdullah Pasha」(~1718年)
- 1717年-02:00|ラトビア/エストニア| |||<就任>リガ大司教・ラウラント公「ヨハン・フォン・ベンケントルフ」(~1719年)
- 1717年-02:00|フィンランド/ロシア| |||ロシア暦1月28日|<就任>ロシア領フィンランド総督「ダゲラス伯爵グスタフ・オットー」(~17210930)
- 1717年-01:00|ベルギー| |||<就任>リンブルグ総督「サウワソフソフ公フランソワ・ウジューヌ」(~1724年12月)
- 1717年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヴィツァ大公「イワン・バリッチ」(~1721年)
- 1717年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「アントニオ・デ・ハロス・ベセラ・ジュニア」(1回目~1719年)
- 1717年 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>プロキシオン・ゴールド・コースト司令官「ヤン・コニー」オランダの支配に反対してグロス・フリードリッヒスブルグを占領(~1724年)
- 1717年 00:00|カナダ| |||アシャンティ国がアキムを併合
- 1717年 00:00|アイルランド/アメリカ| |||スコットランド系アイルランド人のアメリカ移民が開始
- 1717年 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島司令官「Hermanus Koolman」(~1719年)
- 1717年 04:00|グレナダ/フランス| |||<就任>グレナダ総督「ジャン=ミシェル・レスピネー・ド・ラ・ロング・ヴィル」(~17210103)
- 1717年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル暫定総督「Antoine」⇒総督「Francois de Pas de Mazencourt」(~1727年)
- 1717年 04:00|パラグアイ| |||アスンシオン市議会(コメネロ)を中心とするクオ・ツェヨ、ペル副王の植民地政策に対抗し、ホセ・アントニエラを指導者として反乱を開始(コメネロの反乱)
- 1717年 05:00|キューバ| |||タバコ栽培業者五百人が専売法に反対して蜂起/まもなく本国からの部隊により鎮圧される
- 1717年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サウスカロライナ植民地総督「ロバート・ジョンソン」(~17191221)
- 1717年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ペンシルベニア植民地総督「ウィリアム・キース」(~1726年)
- 1717年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ペドロ・ルイス・デ・ブスタマンテ」(~1718年)
- 1717年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカグア県総督「デ・イエゴ・グティエレス・デ・アルゲレス」(~1727年)
- 1717年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「ジャン=ミシェル・ド・レピネー」(~1718年)
- 1717年 06:00|グアテマラ| |||グアテマラ全土を地震が襲う。都市のほとんどが壊滅
- 1717年1月-03:00|サジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アブドゥラー・セ・イブン・サイード」(第1治世~1718年4月)
- 1717年1月 00:00|モリタニア/ドイツ| |||<就任>プロキシオン領アルギン総督「ヤン・ウィネン・ハステリアス」(~17210307)
- 1717年1月4日-01:00|フランス/オランダ/スペイン/イギリス| |||ハーグで、スペイン宰相フリオ・アルボロニの領土拡張策に対抗してフランス、イギリス、オランダの対スペイン3国同盟が結ばれる
- 1717年1月7日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Antoine d'Arcy de la Varenne」(~5.23)
- 1717年1月10日-09:00|日本|東京都千代田区|享保1年11月28日|幕府が、大奥法度19条を定める
- 1717年1月11日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミンゴ総督「ジャック=モラン侯爵ジョセフ・シャルル・ジュベール・ド・ラ・ハスティード」(~17190710)
- 1717年1月13日-05:30|イント/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領イント総督「ゴア首長大司教パシチャン・デ・アントラー・デ・ベッサニャ」(~10.16)
- 1717年1月19日-09:00|日本| |||享保1年12月7日|幕府が新銭を呉服会所で売り出す
- 1717年1月23日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「アントニオ・カルティス・デ・カホ」(~2.5)
- 1717年2月5日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「デ・イエゴ・デ・ロス・レイエス・イ・バルメダ」(1回目~17210914)
- 1717年2月6日-09:00|日本|岐阜県恵那市|享保1年12月25日|<死去>美濃国岩村藩2万石「松平乗紀」(43歳)⇒長男「松平乗賢」が継ぐ(⇒延享3(1746)年5月8日、死去)
- 1717年2月7日-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「サーゲイ4世ギレイ」(~17241016)
- 1717年2月11日-09:00|日本| |||享保2年|<刊行>伊藤仁齋「古学先生詩文集」
- 1717年2月11日-09:00|日本|J. フロントリイキング|享保2年|下村彦右衛門正啓、京都伏見に呉服店「大文字屋」を開業(大丸創業)
- 1717年2月11日-08:00|中国| |||清・康熙56年|<就任>チャット摂政「タクツェ・シャブドルン」(~17200924)
- 1717年2月11日-08:00|中国| |||清・康熙56年1月|清が、南洋において商船が貿易を行うことを禁じる
- 1717年2月13日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「タウンゼント子爵チャールズ・タウンゼント」(アイルランドに行かなかった~8.7)
- 1717年2月13日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|享保2年1月3日|霧島山噴火/134戸が倒壊し、死傷31人
- 1717年2月14日-09:00|日本|奈良県奈良市|享保2年1月4日|奈良興福寺焼失
- 1717年2月17日-09:00|日本|東京都中央区|享保2年1月7日|火事により森田座焼失
- 1717年2月28日-09:00|日本|東京都|享保2年1月18日|<死去>山下京右衛門(元、半左衛門)66才
- 1717年3月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Cerkes Mehmed Pasha」(~同年)
- 1717年3月2日 00:00|イギリス| |||世界初のパレがロンドンで公開された
- 1717年3月4日 06:00|日本|東京都|享保2年1月22日|<江戸享保2年の大火「小石川馬場の火事」>未の下刻(15時ごろ)、小石川馬場近くの井出三郎右衛門宅より出火/本郷丸山から御弓町、白山春日町の水戸家上屋敷を焼き、水道橋から駿河台一帯、小川町、猿楽町と炎は延びて飯田町から一橋外の護持院までも灰にした
- 1717年3月5日-09:00|日本|東京都|享保2年1月23日|<江戸享保2年の大火「小石川馬場の火事」>夜子の刻(午前0時ごろ)、神田三河町の残り火がふたたび燃え上がり西の強風に乗って、白銀町、鎌倉河岸通、神田橋御門から常盤橋の内など舐めまわし、評定所も焼け落とした後、龍の口から呉服橋内、鍛冶橋御門を経て大名小路へ侵入、昌平橋から須田町、本町、石町を抜けて日本橋まで焼き尽くし、卯の中刻(午前2時ごろ)深川八丁堀あたりでようやく炎は鎮まった/大名屋敷は水戸家をはじめ1万石以上の屋敷72軒、1万石以下小身の旗本、御家人屋敷など34

1720迄 (1598件)

- 9軒、町家は町数にして200町余が焼失、橋11か所が焼け落ち、117人死亡
- 1717年3月12日-03:30|イラン| |||イラン、タブリーズで地震(M5.9)死者700人
- 1717年3月18日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴィッド・ベズモンド伯爵「バシル・フィールド・イング」
- 1717年3月18日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴィッド・ベズモンド伯爵「ウィリアム・フィールド・イング」(~17550802死去)
- 1717年3月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ブロードリック男爵アラン・ブロードリック・ミルトン/ウィリアム・コリー/ダブリン大司教ウィリアム・キング (2回目)」(~8.7)
- 1717年3月21日-09:00|日本|東京都千代田区|享保2年2月9日|江戸護持院焼失
- 1717年3月23日-09:00|日本|大分県中津市|享保2年2月11日|<加増移封>丹後宮津藩9万石「奥平昌成」⇒豊前中津藩10万石(⇒延享3(1746)年11月14日、死去)
- 1717年3月23日-09:00|日本|京都府宮津市|享保2年2月11日|<移封>信濃飯山藩48000石「青山幸秀」⇒丹後宮津藩48000石(⇒延享元(1744)年9月8日、死去)
- 1717年3月23日-09:00|日本|群馬県高崎市|享保2年2月11日|<移封>越後村上藩72000石「松平輝貞」⇒上野高崎藩72000石(⇒延享2(1745)年12月11日、隠居)
- 1717年3月23日-09:00|日本|長野県飯山市|享保2年2月11日|<加増移封>越後糸魚川藩1万石「本多助芳」⇒信濃飯山藩2万石(⇒享保9(1724)年、35000石に加増)
- 1717年3月23日-09:00|日本|新潟県村上市|享保2年2月11日|<移封>上野国高崎藩5万石「間部詮房」⇒越後村上藩5万石(⇒享保5(1720)年7月16日、死去)
- 1717年3月28日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|享保2年2月16日|<拝領>越後糸魚川藩1万石「松平直之」(⇒翌年10月6日、死去)
- 1717年3月29日-09:00|日本|東京都中央区|享保2年2月17日|中村座開場、二代目市川團十郎ほか/市村座開場、大谷廣次ほか
- 1717年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フェデリコ・ゴジ」 「ジローモ・マルテリ」
- 1717年4月4日-09:00|日本|東京都中央区|享保2年2月23日|森田座開場、松本幸四郎ほか
- 1717年4月10日-01:00|フランス| |||フランス銀行家ジョン・ロー「銀行券」(兌換紙幣)での納税を可能とする/紙幣の使用がフランス中に広まる
- 1717年4月22日-09:00|日本| |||享保2年3月11日|幕府が武家諸法度を天和の制に戻す
- 1717年4月23日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラタ 暫定大統領・総督・総司令官「サン・フェ・デ・ボゴタ大司教フランシスコ・デル・リンコン」(~17180613)
- 1717年4月25日-09:00|日本|東京都千代田区|享保2年3月14日|江戸護国寺を護持院と改称、観音堂を護国寺とし護持院に属させる
- 1717年4月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>プファルツツァー・アプ・リュッケン=ビルクンフェルト公「クリスティアン2世」79歳
- 1717年4月26日-01:00|ドイツ| |||<即位>プファルツツァー・アプ・リュッケン=ビルクンフェルト公「クリスティアン3世」(~17350203死去60歳)
- 1717年5月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス島司令官代理「Gerard de Mepsche」(~10.14)
- 1717年5月1日 04:00|グアートルーフ/フランス| |||<死去>グアートルーフ 知事「Georges Robert Cloche de Mont-Saint-Remy de La Malmaison」
- 1717年5月1日 04:00|グアートルーフ/フランス| |||<就任>グアートルーフ 暫定知事「Savinien Michel Lagarrigue de Savigny」(~1719.3)
- 1717年5月11日-09:00|日本|東京都江東区|享保2年4月|深川の地蔵坊正元が銅造地蔵菩薩坐像(霊巖寺)建立
- 1717年5月19日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|享保2年4月9日|<交替>肥前蓮池藩52625石「鍋島直称」隠居⇒次男「鍋島直恒」が継ぐ(⇒寛延2(1749)年10月16日、死去)
- 1717年5月22日-08:00|中国| |||清・康熙56年4月12日|清朝がキリスト教禁止令、カトリック布教の禁止を強化
- 1717年5月23日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 暫定総督・総司令官「ゴマス・マウエル・ホンセ・デ・レオン」(~17180623)
- 1717年5月25日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Dubuc」(~7.5)
- 1717年5月26日-09:00|日本|兵庫県三田市|享保2年4月16日|<交替>摂津三田藩36000石「九鬼隆久」隠居⇒養子「九鬼隆抵」が継ぐ(⇒享保18(1733)年11月9日、44歳で死去)
- 1717年5月26日-09:00|日本|福井県福井市|享保2年4月16日|福井城下寺町から出火、町家110軒を焼失
- 1717年5月27日 05:00|コロンビア/エクアドル/ペルー/スペイン| |||<創設>ヌエバ・グラタ [コロンビア、エクアドル、ペルー]パルから分離(~17240511)
- 1717年5月29日-09:00|日本|東京都江東区|享保2年4月19日|江戸深川三十三間堂通矢「五十間千射」で、柴田要人(12歳)が782本(総矢数1000本)を記録
- 1717年5月30日-09:00|日本|滋賀県彦根市|享保2年4月20日|<死去>井伊直興(62歳)前近江彦根藩主、元大老
- 1717年6月 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン副王「Francois de Laureol」(~1731年)
- 1717年6月7日-09:00|日本| |||享保2年4月28日|<死去>岩田涼菟(59歳)俳人
- 1717年6月10日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「コフル・ヌマン・パシャ」(2回目~17180818)
- 1717年6月10日-09:00|日本| |||享保2年5月2日|<死去>初代市川團四郎(67歳)歌舞伎役者
- 1717年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>グレートブリテン連合王国国庫財務実行主席弁務官「マホンのスタンホープ 子爵(⇒1780414,スタンホープ伯爵)ジェームズ・スタンホープ」Whg(~17210321死去)
- 1717年6月15日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「エンリケ・デ・フィゲイロ・エ・アラカン」(~1722032)
- 1717年6月16日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|享保2年5月8日|<死去>大和国郡山藩12万石「本多忠直」(48歳)⇒次男「本多忠村」が継ぐ(⇒享保7(1722)年9月晦日、死去)

1720迄 (1598件)

- 1717年6月18日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|享保2年5月10日|<死去>丹波篠山藩5万石「松平信庸」(52歳)⇒長男「松平信岑」が継ぐ(⇒寛延元(1748)年8月3日、丹波亀山藩5万石へ移封)
- 1717年6月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金昌集」(~17220125)
- 1717年6月24日 00:00|イギリス| |||ロンドンの4つのロッジが居酒屋に集り、フリーメイソンのグランド・ロッジを結成する(近代フリーメイソンの始まり)
- 1717年7月1日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「テラック・アリ・パシヤ」(2回目~17200909)
- 1717年7月5日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Elie Pain」(~10.5)
- 1717年7月8日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国秘密評議会議長「クリスティアン・ゼ・ヘステット・ティル・ラウホルト」(~17210620)
- 1717年7月11日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ブルーノ・マウリシオ・デ・サハラ」(~17340322)
- 1717年7月14日-09:00|日本|兵庫県朝来市|享保2年6月6日|<死去>但馬出石藩58000石「仙石政明」(59歳)⇒養子「仙石政房」が継ぐ(⇒享保20(1735)年4月24日、死去)
- 1717年7月17日-09:00|日本|福島県いわき市|享保2年6月9日|<死去>陸奥泉藩15000石「板倉重同」(39歳)⇒長男「板倉勝清」が継ぐ(⇒延享3(1746)年9月25日、遠江相良藩15000石に移封)
- 1717年8月-01:00|フランス| |||フランス銀行家ジョン・ロー、ルジニアの開発独占権を持つ「西方会社」を設立し、他の「特権貿易会社」をこれに吸収させる(「ミシシッピ会社」)
- 1717年8月5日-01:00|アルジェリア| |||アルジェリアで地震、死者2万
- 1717年8月7日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ホルトン公爵チャールズ・ホーレット」(2回目~17210828)
- 1717年8月9日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「フェルナンド・マヌエル・デ・バステリヨ・バスタマンテ」(~17191011死去)
- 1717年8月13日-09:00|日本| |||享保2年7月7日|<死去>大西閑斎(73歳)茶人
- 1717年8月16日-01:00|オーストリア/セルビア/トルコ| |||ベルグラードの戦い/オイゲン公率いるオーストリア軍が、ベルグラード(ベオグラード)で再びオスマン軍を破り同地を奪取
- 1717年8月18日-09:00|日本| |||享保2年7月12日|<死去>菱川師房(不明)浮世絵師
- 1717年8月22日-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア司令官「サウ・オウ=カリニャン公フランソワ=ウジエヌド・サウ・オウ=カリニャン」(~1718年)
- 1717年8月22日-01:00|ホースニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホースニア総督「テ・フェルダール・エミン・オスマン・パシヤ」(~17200310)
- 1717年8月22日-01:00|セルビア/ホースニア=ヘルツェゴビナ/オーストリア| |||オーストリアによりセルビア、ホースニア北東部占領(~17390904)
- 1717年8月22日-01:00|イタリア/スペイン| |||スペイン宰相アルベロニが、サルデーニャを占領し、ついでシチリア奪回を画策
- 1717年8月26日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ニヤンシュ・メフメト・パシヤ」(~17180509)
- 1717年8月26日-09:00|日本| |||享保2年7月20日|<死去>菅沼曲水。家老・曾我権太夫を殺害後に自害(59歳)膳所藩士、俳人
- 1717年8月28日-01:00|フランス| |||フランスの画家アントワーヌ=ヴァトーが「シテル島への船出」を発表
- 1717年9月5日-09:00|日本|京都府京都市|享保2年8月|井上通女「東海紀行」京都で刊行
- 1717年9月7日-09:00|日本|福島県福島市|享保2年8月3日|<交替>陸奥福島藩3万石「板倉重寛」隠居⇒長男「板倉重泰」が継ぐ(⇒翌年間10月24日(17181215)、死去)
- 1717年9月16日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ウルサル侯爵ルイス・カロス・イナオ・ザ・ビエラ・デ・メネズ」(~17200914)
- 1717年9月26日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セックス伯「ルボット・イェルク・アトン」(~17311027死去)
- 1717年9月28日-01:00|ドイツ| |||プロイセンで、5歳から12歳の子供に義務教育を与える勅令が発せられる
- 1717年9月30日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ベネット・ガイアレ」(~17190930)
- 1717年10月 00:00|サント=ペリンバ/ポルトガル| |||<就任>サント=ペリンバ植民地総督「Antonio Furtado de Mendonca」(~1720年)
- 1717年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・レオナルド・ツリ」「フランチェスコ・ジャンジ」
- 1717年10月4日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督代行「フランソワ=アンソニー=ド・レーネガール」(3度目~17180302)
- 1717年10月5日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Francois de Pas de Mazencourt」(~1720年)
- 1717年10月8日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|享保2年9月4日|<死去>山城淀藩6万石「松平光熙」(44歳)⇒11月1日、三男「松平光慈」が継ぎ志摩鳥羽藩に移封)
- 1717年10月13日 00:00|イギリス| |||<死去>13代エール伯「チャールズ・ヘイ」
- 1717年10月13日 00:00|イギリス| |||<就任>14代エール女伯「メアリー・ヘイ」(~17580819死去)
- 1717年10月14日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント=ユスティウス島暫定司令官「Johan Heyliger」(2期目~17191117)
- 1717年10月21日-01:00|イタリア/トルコ| |||ベネチア、プレヴェザの再征服
- 1717年10月23日-09:00|日本|島根県安来市|享保2年9月19日|<死去>松平近栄(86歳)前出雲広瀬藩主
- 1717年10月23日-09:00|日本|東京都千代田区|享保2年9月19日|<解任>老中「阿部正喬」
- 1717年10月28日 05:00|ハハマ/イギリス| |||ハハマ領主が文民・軍事政府をイギリス国王に明け渡す
- 1717年10月29日-09:00|日本|東京都江東区|享保2年9月25日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂百射」で、相楽吉之助(13歳)が99本(総矢数100中)を記録
- 1717年10月31日-09:00|日本|京都府京都市|享保2年9月27日|<就任>京都所司代「松平忠周」(⇒1724(享保9年12月15日))

1720迄 (1598件)

- 1717年10月31日-09:00|日本|東京都千代田区|享保2年9月27日|<就任>老中「水野忠之」(~享保15年6月12日)
- 1717年11月3日-01:00|アルバニア/イタリア| ||<就任>アルバニアのヴォイツツア攻略
- 1717年11月3日-08:00|中国| ||清・康熙56年10月|ジュンガル軍がチベットに侵入しチベットを占領、ラサールを襲い殺す
- 1717年11月9日-09:00|日本|和歌山県田辺市|享保2年10月7日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤陳武」(30歳)⇒11月19日、長男「安藤陳定」が継ぐ(⇒享保9(1724)年11月29日、死去)
- 1717年11月21日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|享保2年10月19日|大飯郡高浜浦高浜町で出火、116軒焼失
- 1717年11月24日-09:00|日本|京都府綾部市|享保2年10月22日|<交替>丹波山家藩1万石「谷衛憑」隠居⇒長男「谷衛衝」が継ぐ(⇒宝暦12(1762)年4月8日、隠居)
- 1717年11月25日 00:00|カナダ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領グリーンランド=コスタ長官「グヌド・ロスト」(~17200806没)
- 1717年11月29日-09:00|日本|新潟県上越市|享保2年10月27日|<死去>松平定重(74歳)前越後高田藩主
- 1717年12月2日-08:00|中国| ||<死去>(チベット)ゲシハン王「ラサン」
- 1717年12月2日-08:00|中国| ||チベットはドルポーン・オイラト(モンゴル・ハン国)の宗主権下(~17200924)
- 1717年12月3日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|享保2年11月1日|<移封>伊勢国亀山藩6万石「松平乗邑」⇒山城国淀藩6万石(⇒享保8(1723)年5月1日、下総国佐倉藩6万石に移封)
- 1717年12月3日-09:00|日本|三重県亀山市|享保2年11月1日|<再移封>志摩鳥羽藩5万石「板倉重治」⇒伊勢亀山藩5万石(⇒享保9(1724)年3月25日、死去)
- 1717年12月3日-09:00|日本|三重県鳥羽市|享保2年11月1日|<移封>山城淀藩6万石「松平光慈」⇒志摩鳥羽藩6万石(⇒享保10(1725)年10月18日、信濃松本藩へ移封)
- 1717年12月4日-04:00|ロシア| ||ロシア暦1月28日|カムイ地域はロシアのアストラハン県に含まれる
- 1717年12月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|享保2年11月14日|<伊勢山田享保2年の大火>夜半、一志町の正住采女家から出火/一志久保町から宮後西河原町、田中中世古町、下馬所町へと延焼、さらに吹上町、岩淵町を灰にして鎮火/伊勢神宮の大宮司家、神宮家16家、三方年寄家(山田町の自治組織をになう家)4家などが焼するなど、6町1582軒を焼失
- 1717年12月17日 04:00|オランダ/スペイン| ||<就任>オランダ総督「ガブリエル・カノ・イ・アホンテ」(~17331111没)
- 1717年12月18日 00:00|カナダ/オランダ/ドイツ| ||プロシエンはグリーンランド=コスタ領土をオランダに売却(17180114に批准)、オランダ領と改名
- 1717年12月18日 00:00|カナダ/ドイツ/オランダ| ||プロシエン=グリーンランド=コスタ入植地がオランダに売却され(17180114に批准)、オランダ領と改名(オランダ領グリーンランド=コスタ)
- 1717年12月22日 00:00|イギリス| ||(英)金銀比価を改訂*実質的に金本位制移行1ギニー=21シリング
- 1717年12月25日 00:00|イギリス| ||<死去>初代フェラーズ 伯「ロバート・シャーリー」
- 1717年12月25日 00:00|イギリス| ||<就任>2代フェラーズ 伯「ウィントン・シャーリー」(~17290414死去)
- 1717年12月28日 01:00|日本|京都府京都市|享保2年11月26日|<上賀茂の大火>昼四ツ時、上賀茂の大火/上加茂百姓家より出火、117軒焼亡。飛び火し菩薩村68軒焼失
- 1718年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事「フランスコ・テ・モ・エ・カストロ」(~1719年)
- 1718年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>バングラ副総督(マドラス総督に従属)「トマス・Cooke -Supervisor」(~1719年)
- 1718年-08:00|マレーシア| ||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アブドゥル・ジャリル・ラマト・シャー」(~1722年)
- 1718年-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「Badarud-Din1世」(~1734年)
- 1718年-08:00|インドネシア| ||<即位>パンカラン君主「Cakraningrat4世」(~1745年)
- 1718年-08:00|インドネシア| ||<即位>パレンバン・スルタン「Sultan Agung Komaruddin Sri Teruno」(~1724年)
- 1718年-05:30|インド| ||<就任>アウンド 国統治者(パンツ・プラティニティ)「ジュリニガ・アスラオ・ハ・ラシュラム・ジュリハット・ラオ」(~17461125没)
- 1718年-05:30|インド| ||<就任>キルチール国統治者(デューン)「ファテ・シン」(~1738年)
- 1718年-05:30|インド| ||<就任>ドゥランガド 国統治者(ラージ・サーヒブ)「プラブ・シムジ・ジャスワンシムジ」(~1729年没)
- 1718年-05:30|インド| ||<就任>ハルタガ 国統治者(マハラット)「ウメイト・シン」(~1723年没)
- 1718年-05:30|インド| ||<就任>ポル国統治者(ワ)「チャンドランジ・カランジ」(元ジャール統治者)建国(~1720年没)
- 1718年-05:30|インド/デンマーク| ||デンマークがタンネマルクスコールを短期間再占領(~9月)
- 1718年-05:00|オーストリア| ||<死去>中ジューズ・ハン「カイフ・カーン」
- 1718年-05:00|オーストリア| ||<就任>小ジューズ・ハン「アヒルカイル・ハン」(~1748年8月没)
- 1718年-05:00|オーストリア| ||<就任>中ジューズ・ハン「ボラット・カーン」(~1729年没)
- 1718年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>バクタフジャン・ハン「ディヤッティーン」(~1736年)
- 1718年-04:00|オスマン| ||<死去>ヤアリア 王朝イマム「スルタン・イブン・サイフ2世」
- 1718年-04:00|オスマン| ||<即位>ヤアリア 王朝イマム「サイフ・イブン・スルタン2世」(第1治世~1719年)
- 1718年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Receb Pasha」(~1719年)
- 1718年-01:00|セルビア/オーストリア| ||<就任>オーストリア軍セルビア総督「J・オットー・ヨーゼフ・アントン・グラーフ・ホトワヤー」(~17200907)
- 1718年-01:00|セルビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国セルビア・ワリス「メフメト・ハ・シヤ」(~1719年2月)
- 1718年-01:00|フランス| ||<即位>エタプ 公「Louise Elisabeth de Bourbon」(~1752年)
- 1718年-01:00|ベナン| ||<即位>ダホメ王国国王「アガジャ・トルド・トス」(~1740年没)
- 1718年-01:00|フランス| ||インド 洋上ル・ロワイヤル島(モーリシャス)がフランス領となった
- 1718年-01:00|スペイン/アメリカ| ||スペイン、テキサスへの入植を強化。サクトッシュから数マイルのダニス(現ルイジアナ州ウバリン)に首都を置く
- 1718年-01:00|フランス/アメリカ| ||ルイジアナに、フランス人の移民都市ニューオーリンズが建設

1720迄 (1598件)

- 1718年-01:00|オーストリア/イタリア| |||<ロンドン条約により、オーストリアはサルデーニャをサウジアラビアと交換
1718年 00:00|イギリス| |||<死去>5代キッカーデイン伯「ロバート・ブルース」
1718年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>ラ・コメロ伯「Juan Bautista de Herrera」
1718年 00:00|イギリス| |||<就任>6代キッカーデイン伯「アレクサンダー・ブルース」(~1721年死去)
1718年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Edward Johnson」(~1722年)
1718年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Chamber Senate + Jose de Castro」(~同年)
1718年 00:00|セカール| |||<就任>フクトーロ統治者(デナケ・サティギ)「フバカール・シレ」(2回目~1721年頃)
1718年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Juan Bautista2世 de Herrera」(~1737年)
1718年 03:00|ブラジル| |||サルイス大聖堂が再建
1718年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「パナマ司教ファン・ホセ・リヤマス・イリバス」(代行)⇒「ジエロニモ・バティエジョ」(~1723年)
1718年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル、サン・ビセンテ州市長兼副司令官「ホセ・リヤネス・ロブレス」(~1721年)
1718年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ暫定総督「Antonio Valverde y Cosio」(~1721年)
1718年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「アントニオ・デ・ベネディクス」(~1734年)
1718年 06:00|アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ルイジアナ植民地総督「ジャン=バティスト・ル・モワヌ・ド・ビエンガイユ」(~1724年)
1718年1月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「ダブリン大主教ウィリアム・キング」(17191120まで)/ウィリアム・コリミット子爵アラン・ブロードリック(5.22から)「(~17210828)
1718年1月22日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保2年12月21日|<死去>淀屋廣當(34歳)大坂の豪商.5代淀屋辰五郎
1718年1月29日-09:00|日本|東京都新宿区|享保2年12月28日|<江戸牛込享保2年払方町の大火>牛込から芝海岸まで約61平方km焼く
1718年1月29日-09:00|日本|東京都千代田区|享保2年12月28日|幕府が小普請奉行を再置
1718年1月31日-09:00|日本| ||享保3年|<刊行>上島鬼貫の俳諧随筆「独言」
1718年1月31日-09:00|日本|茨城県笠間市|享保3年|<加増>常陸笠間藩5万石「井上正岑」+1万石⇒6万石(⇒享保7(1722)年5月17日、70歳で死去)
1718年1月31日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|享保3年|高平山遍照寺大日如来坐像が造立(惣大工森町住山田七郎左衛門藤原種満)
1718年1月31日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|享保3年|<加増>下野宇都宮藩67850石「戸田忠真」+1万石⇒77850石(⇒享保14年10月29日(17291219)、死去)
1718年1月31日 11:00|日本|香川県高松市|享保3年1月1日|<高松享保3年の大火>5つ時(20時ごろ)、城下西の外れ木蔵町の丹羽孫惣という惣領組の杉山又七という道具蔵手代の家の塙掛塙から出火、西通町から内町、築地まで延焼したが、その間、東木蔵町を全焼、王子権現から北も全焼、西通町北側の三町を焼失、比丘尼町は東へ二町焼失、紺屋町の三町の内、北側西の方が4.5軒、南側を4.5軒残しただけで全焼/丸亀町二、三丁目から百間町は西より両側の二町を焼き、元百間町一丁目の内側は4.5軒残しただけで全焼/大工町一町、桶屋町、今新町二町が全焼/同心町も東へ一町の両側を焼失/ついで野方町、御坊町、御坊町裏町、霧屋町一町、本町二町、新材木町と次々と灰にし、町家のほか、御使者宿、大小の船20艘が焼失/材木や萱を売買している者の家が焼け川端の萱や木が残らず焼けた/侍屋敷の外町22軒、内町55軒を焼いて翌日の九つ時(午前12時ごろ)鎮火/被害合計では、町家は棟数で1402軒、世帯数にして2392か所、侍屋敷83軒、寺社4カ所、船31艘が焼失
1718年2月1日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリー公・ウォーターウオード伯「チャールズ・タルボット」
1718年2月1日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー公・ウォーターウオード伯「ギルバート・タルボット」先代の従弟(~17430722死去)
1718年2月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保3年1月2日|<初演>人形浄瑠璃「山崎與次兵衛寿門松」<浄閑住居>作・近松門左衛門、竹本座
1718年2月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ベルンブルク侯「Victor Amadeus」
1718年2月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ=ウジゲン侯「William Henry」
1718年2月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト=ベルンブルク侯「Karl Frederick」(~17210422死去)
1718年2月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ=ウジゲン侯「Charles」(~17750621死去)
1718年2月21日-01:00|アングラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「ピョートル4世サム・ムハンバ」
1718年2月21日-01:00|アングラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「マヌエル2世」(~17430421)
1718年2月22日-09:00|日本|京都府京都市|享保3年1月23日|直仁親王を初代とする新宮家「閑院宮」創設
1718年3月2日 03:00|スリナム/オランダ| |||<就任>オランダ領スリナム(オランダ西インド会社)総督「ヨハン・ケーティエ」(~17210904)
1718年3月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙57年2月|朝鮮全国に伝染病が流行し死者多数、大凶作で国家財政危機
1718年3月8日 11:00|日本| ||享保3年2月7日|<死去>高山繁文(70歳)谷村藩・川越藩家老、俳人
1718年3月12日-01:00|リテンシュタイン| |||<就任>リテンシュタイン公「アントン・フロリアン」先々代の又従兄、先代の伯父(~17211011没)
1718年3月12日-01:00|リテンシュタイン| |||<退任>リテンシュタイン公「ヨゼフ・ヴァンツェル」
1718年3月12日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト=コースト総裁「ウィレム・ハトラー(大統領兼局長)」(~17220925)

1720迄 (1598件)

- 1718年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カーン伯「ウィリアム・カーン」(~17231010死去)
1718年3月20日 11:00|日本|京都府京都市上京区|享保3年2月19日|一条浄福寺火災
1718年4月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アリー・ブン・サイド」(~11月)
1718年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」 「マリノ・ベニ」
1718年4月3日-09:00|日本|茨城県土浦市|享保3年3月3日|<加増>常陸土浦藩85000石「土屋政直」+1万石⇒95000石
(⇒享保4(1719)年5月28日、隠居)
1718年4月3日-09:00|日本|滋賀県|享保3年3月3日|<加増>近江国内1万石「大久保常春」⇒15000石(⇒享保10(1725)
)年10月18日、下野烏山藩に移封)
1718年4月3日-09:00|日本|静岡県沼津市|享保3年3月3日|<加増>駿河松永11000石「大久保教寛」+5000石⇒16000
石(⇒享保15(1730)年11月27日、隠居)
1718年4月3日-09:00|日本|千葉県野田市|享保3年3月3日|<加増>下総関宿藩5万石「久世重之」+1万石⇒6万石(⇒
享保5年6月27日(17200801)、死去)
1718年4月3日-09:00|日本|東京都千代田区|享保3年3月3日|<解任>老中「土屋政直」
1718年4月4日-01:00|アルジェリア| |||<就任>アルジェのデイ「ムハンマド 3世」(~17240518没)
1718年4月13日-09:00|日本|福井県福井市|享保3年3月13日|足羽郡勝見村から出火、111軒焼失
1718年4月14日 00:00|イギリス| |||<就任>初代スタンホッフ伯「ジェームズ・スタンホッフ」(~17210205死去)
1718年4月20日-09:00|日本|山口県下関市|享保3年3月20日|<死去廃藩>長門長府藩4万7802石「毛利元矩」(15歳)
無嗣、宗家長州藩に吸収/直後に分家の清末藩主に再興された
1718年4月26日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテニアコ 総督「サー ニコラス ローズ」(~17221222)
1718年5月8日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カトガン伯「ウィリアム・カトガン」(~17260717死去)
1718年5月9日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ネッセルリ・ダマト・イブラヒム・パシャ」(~17301001、殺害される)
1718年5月14日-09:00|日本|山口県下関市|享保3年4月15日|<廃藩>長門清末藩1万石「毛利元平」⇒<再興>長門長
府藩38000石「毛利匡広」と改名(⇒享保5(1720)年5月、5万石に加増)
1718年5月15日 00:00|イギリス| |||ロンドンで機関銃の特許を取得ロンドンの弁護士ジェームズ・ハックルが取得
1718年5月30日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アルバ マール伯「アルルト・ジョースト・ヴァン・ケッセル」
1718年5月30日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アルバ マール伯「ウィリアム・ヴァン・ケッセル」先代の息子(~17541222死去)
1718年6月6日-09:00|日本| |||享保3年5月8日|幕府が庶民の華美な衣服を禁じる
1718年6月10日-09:00|日本| |||享保3年5月12日|<死去>立花北枝(不明)俳人
1718年6月13日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバグラナダ 暫定副王「アントニオ・イグナシオ・デ・ラ・ペドロナ・イ・ケレロ」(~17
191217)
1718年6月19日-08:00|中国| |||甘肅、通渭・甘谷地震/M7.5、死者7万5,000人
1718年6月23日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ケレゴリオ・グアッ・イ・カレロン・フェル
ナンデス・デ・ラ・ベガ」(~17240929)
1718年6月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット侯「ルートヴィヒ・フリドリヒ1世」
1718年6月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット侯「フリドリヒ・アントン」(~17440901死去)
1718年6月27日-09:00|日本|福島県いわき市|享保3年5月29日|<死去>陸奥磐城平藩6万石「内藤義稠」(22歳)⇒従
弟「内藤政樹」が継ぐ(⇒延享4(1747)年3月19日、日向延岡7万石へ移封)
1718年7月 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Jose Antonio de Chaves y Osorio
」(~1719年)
1718年7月 00:00|イギリス| |||マラーター宰相ハラージ・ウイシュヴァナートとデカン地方の総督サイン・アリー・ハーンは、ムガル・マラーター間
で協定を結んだ。マラーターの側にデカン6州のチャウタとカルデーシュムキの徴収権を与え、その代わりにデカンにおける反乱に歯
止めをかけることが条件とされた
1718年7月6日-09:00|日本| |||享保3年6月9日|幕府密貿易を厳禁
1718年7月9日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Alexander Horne」(~1723年)
1718年7月18日-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペンデットモルト伯「ジーン・ハインリヒ・アドルフ」(~17341012死去)
1718年7月20日-01:00|イタリア/トルコ| |||パガニア湾で3日間の海戦。ヴェネツィアの勝利
1718年7月21日-02:00|ギリシャ/トルコ/イタリア| |||ギリシャ本土のブトリント、パルカ、プレヴェザ、ヴォニツアの港がハッサウイツ条約
によりオスマン帝国からヴェネツィアに正式に割譲される/ヴェネツィアはモリアを放棄
1718年7月21日-01:00|オーストリア/イタリア/セルビア/トルコ| |||ヴェネツィア・オーストリアとオスマン帝国が、ペオグラド 近くのパッサウイ
ツで講和条約を締結/オスマン帝国がバルカン半島一部をオーストリアに割譲
1718年7月21日-01:00|アルバニア/トルコ/イタリア| |||ブトリントをハッサウイツ条約でオスマン帝国からヴェネツィアに正式に割譲(8.
12批准)
1718年7月21日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|享保3年6月24日|<死去>播磨山崎藩1万石「本多忠英」(72歳)⇒次男「本
多忠方」が継ぐ(⇒享保16(1731)年5月16日、24歳で死去)
1718年7月27日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>イギリス王室植民地バハマ総督「ウッズ・ロジャース」(1回目~1721年2月)
1718年7月27日-09:00|日本| |||享保3年6月30日|幕府が鷹匠目付けを創置
1718年7月30日 00:00|イギリス/アメリカ| |||ユリウス暦:1718/7/19|ケッカー教徒でペンシルヴァニア開拓者ペン没/73歳(誕生:1644
1014)
1718年8月2日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマーム「アルマフディ・ムハンマド」
1718年8月2日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「ルマンスール・アルセイーン1世」アルマフディ・ムハンマド 2世の孫(~1720年死去)、
「アルムタキル・アルカシム」アルマフディ・アフマド の孫(~17270423死去)
1718年8月2日-01:00|オーストリア/フランス/オランダ/イギリス| |||イギリス・フランス・オランダ 三国同盟にオーストリアが加盟

1720迄 (1598件)

- 1718年8月11日-09:00|日本|東京都港区|享保3年7月15日|<死去>浄土宗大本山増上寺36世法主, 呪術師・祐天上人 (82)
- 1718年8月19日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド 総督「ピエール・アントワープ・レヴ・オスト・ド・ラ・プレヴ・オステイール」(~17211011)
- 1718年8月19日-09:00|日本| ||享保3年7月23日|幕府が新狩り場での殺生禁断, 鶴・白鳥・雁・鴨などの贈答・食用を3年間禁じる
- 1718年8月21日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ウイメロ伯爵サンジョ・デ・ファロ・イ・ヌサ」(~17191013)
- 1718年8月22日-09:00|日本| ||享保3年7月26日|三河、伊那遠山谷で地震/M7.0、遠山川の河道閉塞が後日決壊し、死者50人
- 1718年8月24日-09:00|日本|長崎県長崎市|享保3年7月28日|長崎で大雨洪水のため溺死者46人
- 1718年8月27日-09:00|日本|愛媛県大洲市|享保3年8月2日|大洲城下中町より出火、452軒焼失
- 1718年8月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保3年8月4日|<就任>大坂城代「安藤信友」(~享保7(1722)年5月21日)
- 1718年8月29日-09:00|日本|広島県三次市|享保3年8月4日|<死去>備後三次藩5万石「浅野長澄」(48歳)⇒三男「浅野長経」が継ぐ(⇒享保4(1719)年4月23日、死去無嗣断絶、本家の安芸広島藩に還付)
- 1718年9月6日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島「Joseph Beauvillier」(~17230822)
- 1718年9月6日-04:00|モリシャス/フランス| ||シユヴァリエ・ジャン・パティスト・ガルニエ・ド・ジユレイがモリシャス島のフランス領有宣言(17210923、正式領有宣言/17670714まではインド 会社支配下)
- 1718年9月19日 00:00|イギリス| ||<死去>サーク伯・ビントン伯「ヘンリー・ハワード」
- 1718年9月19日 00:00|イギリス| ||<就任>サーク伯・ビントン伯「チャールズ・ウィリアム・ハワード」(~17220208死去)
- 1718年9月22日 00:00|カナリヤ諸島| ||<死去>ランサローテ島領主「Leonor de Estrada」
- 1718年9月28日-09:00|日本|長崎県対馬市|享保3年9月5日|<死去>対馬国府中藩22800石「宗義方」(35歳)⇒11月22日、弟「宗義誠」が継ぐ(⇒享保15(1730)年11月6日、死去)
- 1718年9月29日-09:00|日本|秋田県秋田市|享保3年9月6日|<交替>出羽久保田新田藩(2)2万石「佐竹義長」隠居⇒婿養子「佐竹義道」が継ぐ(⇒宝暦13(1763)年5月14日、隠居)
- 1718年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「静かなマネティア・ヘルツツィ」 「トマツ・チェコリ」
- 1718年10月2日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|享保3年9月9日|<死去>鳥取西館新田藩(因幡若桜藩)15000石「池田清定」(36歳)⇒甥「池田定賢」が継ぐ(⇒享保5(1720)年、5000石加増され2万石)
- 1718年10月3日-09:00|日本|新潟県上越市|享保3年9月10日|<死去>越後高田藩113000石「松平定達」(42歳)⇒次男「松平定輝」が継ぐ(⇒享保10(1725)年10月1日、死去)
- 1718年10月4日-09:00|日本|茨城県水戸市|享保3年9月11日|<死去>常陸水戸藩35万石「徳川綱條」(63歳)⇒養子「徳川宗堯」が継ぐ(⇒享保15(1730)年4月7日、死去)
- 1718年10月5日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス総督「Jorge Martins de Sousa e Meneses」(~17240727)
- 1718年10月5日-09:00|日本|長野県|享保3年9月12日|信濃で大地震。飯山城大破。民家多く倒壊
- 1718年10月24日-09:00|日本|岐阜県高山市|享保3年10月|高山祭りで屋台を引く(岐阜県)
- 1718年10月29日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|享保3年10月6日|<死去>越後糸魚川藩1万石「松平直之」(37歳)⇒養子「松平直好」が継ぐ(⇒元文4(1739)年2月16日、死去)
- 1718年11月-04:00|ロシア| ||ロシアが人頭税のため人口調査を開始
- 1718年11月-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「ヤヒヤ1世・イブン・ハカト」(~1719年)
- 1718年11月-01:00|フランス/スペイン/アメリカ| ||「デ・イルグ・イル卿ピエール・ル・モアンとピアンベル」がフランス人の都市、ニューオリンズを建設/東はフロリダのスペイン軍の前進基地ペンサコーラを占拠
- 1718年11月2日-09:00|日本| ||享保3年10月10日|<死去>初代市村竹之丞(65歳)歌舞伎役者、座元
- 1718年11月3日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト・ツェルプスト侯「Karl William」
- 1718年11月3日-01:00|ドイツ| ||<就任>アンハルト・ツェルプスト侯「Johann August」(~17421107死去)
- 1718年11月10日-09:00|日本|東京都|享保3年10月18日|江戸町奉行が7か条の規定を申し渡した/町方で出火した場合、風上2町、風脇左右2町ずつ合計6町、各30人ずつ合計180人が火元に駆け付け消火に当たること(小さな家の場合は引き壊して延焼を食い止めて良い)/消火活動の際、定火消が駆けつけてきても、そのまま活動を続け、両者ともども協力して大火にならないようにすると規定/出動した町の目印として昼は小さなのぼり、夜は提灯を用意/消火活動の監督のため、月行事(当番)の名主が出動するなどとした(2か月後には、2~30町単位に“火消組合”を編成し担当地域を決め、組の目印(火消まとい)も決めることを命じた)
- 1718年11月12日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<死去>オランダ 領東インド 総督「Christoffel van Swoll」
- 1718年11月13日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ 領東インド 総督「Hendrick Zwaardecroon」(~17250708)
- 1718年11月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン・ツァイツ公「Moritz Wilhelm」
- 1718年11月17日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|享保3年10月25日|<死去>出羽亀田藩2万石「岩城秀隆」(46歳)⇒12月7日、養子「岩城隆韶」が継ぐ(⇒延享2(1745)年8月29日、死去)
- 1718年11月20日-09:00|日本|長野県松本市|享保3年10月28日|<死去>信濃松本藩7万石「水野忠周」(46歳)⇒長男「水野忠幹」が継ぐ(⇒享保8年5月10日(17230612)死去)
- 1718年11月21日-01:00|イタリア| ||落雷による火事のためコルナの旧要塞で、海軍司令官、多数の貴族と共に死す
- 1718年11月26日 06:00|コスタリカ/スペイン| ||<就任>コスタリカ総督「デ・イゴ・デ・ラ・ハヤ・フェルナンデス」(~1727年)
- 1718年11月30日-01:00|ドイツ| ||<即位>ツァイクン公「グスタフ・ザムエル・レホルト」(~17310917死去)
- 1718年12月-01:00|フランス| ||フランス銀行家ジョン・ローの「総合銀行」が「王立銀行」に昇格(いわばフランスの中央銀行)
- 1718年12月11日-01:00|スウェーデン/ドイツ/フィンランド| ||ユリウス暦:1718/11/30|<死去>スウェーデン王・フィンランド公「カール12世」

1720迄 (1598件)

- 1719年1月29日-09:00|日本|東京都|享保3年12月10日|幕府が火付・盗賊・賭博改めの職を統合
- 1719年1月31日-09:00|日本| ||享保3年12月12日|幕府:1704年より鑄造・通用してきた劣悪な宝永金銀の通用を停止/新旧通貨の交換規則を定める
- 1719年2月-01:00|セルビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国セルビア・ウリス「アブドラーハ・シャ」(1回目~1721年)
- 1719年2月2日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Francisco Ibanez y Rubalcava」(~8.1死去)
- 1719年2月19日-09:00|日本| ||享保4年|<刊行>各務支考「俳諧十論」
- 1719年2月19日-09:00|日本| ||享保4年|新井白石が地誌「南島志」を著す
- 1719年2月19日-09:00|日本|長野県須坂市|享保4年|<交替>信濃須坂藩10053石「堀直佑」隠居⇒養子「堀直英」が継ぐ(⇒享保20(1735)年、隠居)
- 1719年2月19日-09:00|日本|東京都中央区|享保4年1月|<初演>歌舞伎「曾根崎心中」中村座、二代目市川團十郎
- 1719年2月19日-09:00|日本|東京都中央区|享保4年1月|<初演>「傾城紫手綱」<鎌髭>, 荒岡源太・松本七蔵、森田座
- 1719年2月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルグ侯「John Ernst」
- 1719年2月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルグ侯「Charles August」(~17531109死去)
- 1719年2月28日-05:30|イギリス| |||<即位>ポルトガル帝国皇帝「ラフィウ・ウツダラジヤート」(~6.6、廃位~6.13、死去)
- 1719年2月28日-05:30|イギリス| |||<廃位>ポルトガル帝国皇帝「ファルプシヤル」(~17190429死去)
- 1719年3月2日-09:00|日本|山口県萩市|享保4年1月12日|長州藩が藩校明倫館を萩に創設
- 1719年3月5日-09:00|日本|北海道|享保4年1月15日|<昇格>蝦夷松前藩(無高)「松前矩広」正式な大名1万石格が成立(⇒享保5年12月21日(17210118)、死去)
- 1719年3月6日-03:00|エチオピア| |||<就任>シエラ支配君主「ケダミ・カセハステヤリス」(~17440223没)
- 1719年3月19日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カナリア諸島総司令官「Juan de Mur y Aguirre」(~1720315死去)
- 1719年3月21日-08:00|中国| ||清・康熙58年2月|清で「皇輿全覧図」が完成/康熙帝が洋式手法による実測図を作成させたもの
- 1719年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・パオロ・ヴァロニ」「バルダッサーレ・ティニ」(在職中死去)⇒フランチェスコ・モッチに交代
- 1719年4月9日-09:00|日本| ||享保4年2月20日|新井白石の語源研究書「東雅」がなる
- 1719年4月14日-09:00|日本|山形県米沢市|享保4年2月25日|<立藩>米沢新田藩1万石「上杉勝周」米沢藩から新田分与(⇒延享4(1747)年7月2日、死去)
- 1719年4月17日-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルグ総督「マクシミリアン・フォン・ハスケアリニ」(~1720年7月)
- 1719年4月25日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1719/4/14|タニエル・デ・フォーの「ロビンソン・クルソー」の初版が刊行
- 1719年4月26日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ニコラエ・アレクサンドル・マウロルダット」(2回目~17300823)
- 1719年4月27日 00:00|イギリス| |||<昇格>ケリニッツ伯「ジヨン・キャンベル」第2代アガイル公⇒初代ケリニッツ公(~17431004死去、ケリニッツ公廃絶)
- 1719年4月28日 00:00|イギリス| |||<昇格>4代マンチェスター伯「チャールズ・モンタギュー」⇒初代マンチェスター公(~17220120死去)
- 1719年4月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代シャントス公・初代カーナヴァン侯「ジェームズ・ブリッジス」(~17440809死去)
- 1719年5月-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア・エストニア総督「フォートル・マトゥエウ・イェウ・イェー・グラーフ・ヴァラクシン」(~17281121没)
- 1719年5月 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Alexandre Vaultier de Moyencourt」(~1727.10)
- 1719年5月19日-05:30|イギリス| |||<即位>ポルトガル帝国対立皇帝「ネコシヤル」(~8.13)
- 1719年5月19日-09:00|日本| ||享保4年4月|<刊行>西川如見の町人教訓書「町人囊」
- 1719年5月19日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙58年4月|朝鮮が日本に通信使を派遣
- 1719年5月25日 10:00|トルコ| |||正午すぎ、トルコ、イズミット・イスタンブールで地震(M7.4)死者1000人、多くの建物や城壁が倒壊
- 1719年5月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|享保4年4月8日|<越後新発田享保4年の大火「長行寺火事、第一興茂七火事」申下刻(17時ごろ)、託明寺の前寺・長行寺から出火、大町通りから小人町へと延焼、地蔵堂町、御免町、新道へと炎の勢いはますます激しく、竹町、両歩行町から再び小人町へ、そこから片田町へと町家を焼き払い、城内へと延びた/まず西川智光院様の御屋敷、会所、御馬屋、御作事小屋へと次々灰にし、三の丸御用屋敷、掛蔵、牢屋敷も焼き払った/ついで大手西の門、菅原門と焼き、二の丸から三の丸へ延焼、新井田の窪田平兵衛宅を最後に、中曽根裏町を全焼して新井田村で鎮火/被災したのは、家屋が町家203軒、百姓家7軒、侍屋敷161軒、無足人(所領のない給料取り武士)屋敷152軒、足軽屋敷184軒、仲間屋敷126軒などを含む1000余戸が焼失/城内の櫓3か所、御用屋敷1か所、同所屋敷1か所、先寺小屋1か所、馬屋1か所、城門2か所、牢屋1か所など焼失/寺1か所、同別当宅1か所、地蔵堂1かが焼失
- 1719年6月1日-09:00|日本|群馬県館林市|享保4年4月14日|恩田佐吉(78歳)上野中谷村の名主。館林騒動の首謀者として捕縛され、斬首された
- 1719年6月6日-05:30|イギリス| |||<即位>ポルトガル帝国皇帝「ラフィウ・ウツダラジヤート(シャール・ジョージ・ハーン2世)」(~9.19、殺害される)
- 1719年6月6日-05:30|イギリス| |||<廃位>ポルトガル帝国皇帝「ラフィウ・ウツダラジヤート」(~6.13、死去)
- 1719年6月10日-09:00|日本|広島県三次市|享保4年4月23日|<死去>備後国三次藩5万石「浅野長経」(11歳)無嗣絶家(5月11日、所領5万石を広島藩へ還付)
- 1719年6月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「エドワード・ジョーンソン」(~17230216死去)
- 1719年6月19日 00:00|サントメ・プリンセペ/イギリス| |||ハ・ソロムニエ・ロバート「ブラックハート」配下のイギリス海賊がサントアントニオを破壊
- 1719年6月20日-09:00|日本|愛知県田原市|享保4年5月3日|<死去>大垣新田藩1万石「戸田氏成」(61歳)⇒養子「戸

1720迄 (1598件)

- 田氏房」が継ぐ(⇒宝暦9(1759)年10月23日、死去)
1719年7月3日-09:00|日本|宮崎県延岡市|享保4年5月16日|<死去>日向延岡藩8万石「牧野成央」(21歳)⇒養子「牧野貞通」が継ぐ(⇒延享4(1747)年3月19日、常陸笠間藩に移封)
1719年7月10日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのサント・ミノ 総督「ルル侯爵」(~17231206)
1719年7月15日-09:00|日本|茨城県土浦市|享保4年5月28日|<交替>常陸土浦藩95000石「土屋政直」隠居⇒四男「土屋陳直」が継ぐ(⇒享保19(1734)年1月16日、死去)
1719年7月15日-09:00|日本|山口県周南市|享保4年5月28日|<再興>周防徳山藩3万石「毛利元堯」(⇒享保6(1721)年2月11日、死去)
1719年7月16日 00:00|イギリス| |||<死去>3代シオンバーグ公・初代リンスター公「メイト・シオンバーグ」
1719年7月24日 04:00|セントルシア/フランス| |||<就任>フランス領セントルシア総督「ヘンリー・サン＝マルタン司令官」(~1720年)
1719年8月-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「ウァタンク6世」(3回目~1723年5月)
1719年8月1日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メウラ総督「Francisco Ibanez y Rubalcava」(~1730年死去)
1719年8月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メウラ総督「Alonso de Guevara y Vasconcelos」(~1730年死去)
1719年8月5日-09:00|日本|宮城県仙台市|享保4年6月20日|<死去>伊達綱村(61歳)前陸奥仙台藩主
1719年8月16日-09:00|日本|福井県小浜市|享保4年7月1日|小浜富沢町から出火、255軒焼失
1719年8月16日-09:00|日本|三重県三重郡菟野町|享保4年7月1日|<死去>伊勢菟野藩11000石「土方豊義」(31歳)⇒長男「土方雄房」が継ぐ(⇒寛延3(1750)年1月25日、隠居)
1719年9月12日-09:00|日本| ||享保4年7月28日|幕府が市中での辻相撲・踊りを禁じる
1719年9月19日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国皇帝「ラフィー・ウダウラ(シャー・ジヤハン2世)」殺害される
1719年9月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保4年8月12日|<初演>近松門左衛門、人形浄瑠璃「平家女護島」<俊寛>竹本座
1719年9月27日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「ムハンマド・シャー」(~17480426、死去)
1719年9月28日-09:00|日本|東京都|享保4年8月15日|<死去>儒学者「佐藤直方」江戸で(70)/幕府を顧みない愚挙に踏み切った逆臣であると赤穂浪士を弾劾したことで知られる
1719年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジャン・ジャコモ・アンジェリ」「ロレンツォ・ジヤンギ」
1719年10月3日-09:00|日本|滋賀県長浜市|享保4年8月20日|<死去>近江宮川藩1万石「堀田正朝」(40歳)⇒長男「堀田正陳」が継ぐ(⇒寛延元(1748)年10月15日、3000石加増され13000石)
1719年10月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「アンブロージオ・インペリアレ」(~17211004)
1719年10月11日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「フェルナンド・マニエル・デ・バステリヨ・バスタマン」
1719年10月11日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督代理「Archbishop Francisco de la Cuesta」(~17210806)
1719年10月13日-09:00|日本| ||享保4年9月|<死去>塩見政誠(74歳)蒔絵師
1719年10月14日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「暫定政府(セバスチャン・モンテロ・ダ・ウイテ/カターノ・デ・ブリティ・イ・フィゲイロ/ジョアン・デ・アラウジョ・エ・アゼベド)」(~17201123)
1719年10月27日 00:00|イギリス| |||<死去>コウエントリー伯「ギルバート・コウエントリー」
1719年10月27日 00:00|イギリス| |||<就任>コウエントリー伯「ウィリアム・コウエントリー」(~17510318死去)
1719年11月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの数学者・哲学者・歴史学者・物理学者「ヨットフリート・ライフニッツ(164607.1~)」万能の天才といわれ、多くの名誉学位を得た/無限の積分に「j」の記号を用いた
1719年11月17日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスティウス島司令官代理「Jacob Stalpert」(~17201103、死去)
1719年11月20日-01:00|ドイツ/スウェーデン/イギリス| ||ユリウス暦:1719/11/9|ストックホルムで、イギリス王ジョージ1世がスウェーデンと和約を結ぶ/ハノーファー選帝侯は100万リクスターと引替えにブレメンとフェルデン(ブレメン=フェルデン)を獲得
1719年12月1日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ポネール暫定司令官「Pieter Scholten」(~17230730死去)
1719年12月6日-09:00|日本|広島県三次市|享保4年10月25日|<再興>備後国三次藩5万石「浅野長寔」(~享保5(1720)年5月21日、死去無嗣廃絶)
1719年12月12日-09:00|日本|福島県伊達郡桑折町|享保4年11月2日|<交替>陸奥桑折藩2万石「松平忠尚」隠居⇒甥「松平忠暁」が継ぐ(⇒享保21(1736)年2月14日、死去)
1719年12月15日-01:00|イタリア/スペイン| |||スペインがシチリア島奪回に失敗し、宰相アルバロニが失脚
1719年12月17日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ副王「ラウレバ 伯爵ルカ・デ・ビジャロンガ・イ・フォーチュニ」(~17240517)
1719年12月21日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サカラワ植民地総督「ジェームズ・ムア2世」(~17210530)
1719年12月23日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|享保4年11月13日|<死去>豊後森藩12500石「久留島通政」(59歳)⇒養子「久留島光通」が継ぐ(⇒明和元年9月18日(17641013)、死去)
1719年12月24日 00:00|イギリス| |||<死去>3代インチキン伯「ウィリアム・オブ・ライオン」
1719年12月24日 00:00|イギリス| |||<就任>4代インチキン伯「ウィリアム・オブ・ライオン」(~17770718死去)
1719年12月25日-09:00|日本| ||享保4年11月15日|幕府が金銀貸借・買掛等の訴訟は不受理とする(相対済し令)
1719年12月29日-09:00|日本|山口県周南市|享保4年11月19日|<死去>毛利元次(53歳)元周防徳山藩主
1719年12月30日-09:00|日本| ||享保4年11月20日|<死去>早川伝五郎(50歳)歌舞伎役者
1720年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>アンボン島オランダ総督「Simon van der Stel」
1720年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「マフムド・イスカンダール・シャー・アウリアウラー」
1720年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督代理「Rochus Hollaar」(~1721年)
1720年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Anthonie Heinsius」(~1723年死去)

1720迄 (1598件)

- 1720年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「ラジヤ・ラクサマナ・タジヤン」(~1721年)
- 1720年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「アラジーン・ムカヤット・リアヤット・シャー・イブニ・アル・マルフム・スルタン・マンスール・シャー」(~1728年没)
- 1720年-07:00|カンボジア/タイ| |||カンボジアはシャムの家臣(~1834年)
- 1720年-05:30|インド| |||<国名変更>カンチャハラ国⇒ナゴト国(新しい首都にちなんで)
- 1720年-05:30|インド| |||<死去>ハリア国ラジヤ「マンスムジ 1世ウイジャシムジ」
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジヤ「アリー・ラジヤ・ムハンマド・アリ4世」(~1728年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ウトカラ国ラジヤ「ハクルシュナテ・ウァ」(~1725年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>カンナール国統治者(アリ・ラジヤ)「モハメッド・アリ4世アティ」(~1728年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>シユバル国統治者(ラ)「ナハット・チャンド」(~1738年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>チャンパ 国摂政「ウケラ・シン」(~1735年没)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ナゴト 国ラジヤ「チェン・シン」(~1748年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ハリア国ラジヤ「フリトウ・イラジ 1世マンスムジ」(~1732年没)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ハンガール国ラジヤ「ラウナート・ハル」(~1735年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ホル国統治者(ラ)「ケサルシンジ・チャンドラシンジ」(~1728年)
- 1720年-05:30|インド| |||<就任>ラージコット国統治者(タクル・サーヒブ)「マム・カーン・シユカート=ムカール帝国総督」(~1732年没)
- 1720年-05:30|インド/フランス| |||マドリタムはフランスの領有地(~17590408/1750年5月~7月、イギリスが占領)
- 1720年-05:30|インド| |||ラージコット国をムカール帝国が占領(~1732年)
- 1720年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>タシュケント・ハン「Zholbars Khan」(~1740.4死去)
- 1720年-04:00|ホーン| |||<死去>ヤーリハ 王朝イマム「ムハンナ・イブン・スルタン」
- 1720年-04:00|ホーン| |||<即位>ヤーリハ 王朝イマム「サイフ・イブン・スルタン2世」(第2治世~17220614)
- 1720年-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「ルマンスール・アルフセイン1世」
- 1720年-03:00|ウガンダ| |||<設立>ブザヤ国家
- 1720年-03:00|イェメン| |||<即位>下ヤファ・サルタン「Sayf ibn Qahtan al-Afifi」(~1740年)
- 1720年-03:00|ヨット| |||<即位>マオレ・スルタン国スルタン「アブ・ハクル・ビーン・ウマル」(~1727年)
- 1720年-03:00|サウジアラビア| |||<即位>メッカ・アミール「Mubarak bin Ahmad」(~1723年)
- 1720年-02:00|エジプト/トルコ| |||<再任>オスマン帝国領エジプト・ベイレルバエィ「Recep Pasha」(~1721年)
- 1720年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アルホフ・ワリス(総督)「Arifi Ahmed Pasha」(~同年)⇒「Hasanoglu Ahmed Pasha」(~1721年)
- 1720年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||<就任>ヨアニナ・ワリス(総督)「ハチ・アフメド・ハシヤ」(~1736年)
- 1720年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Juan Francisco Manrique de Arana e Iraola」(2期目~同年)⇒総督「Francisco Fernandez de Ribadeo」(2期目~1725年)
- 1720年-01:00|イタリア| |||<就任>パンツァッティ伯「Giuseppe Felipe Augusto di Panzutti, 1st Count Panzutti」(~1756年)
- 1720年-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン王室廷吏「ヨハン・クリストフ・フォン・ベント」(1回目~17270420)
- 1720年-01:00|スペイン| |||スペイン植民地でインコメンダ 制を廃してアシエンタ 制を導入
- 1720年 00:00|イギリス| |||<死去>7代ヒューム伯「アレクサンダー・ヒューム」
- 1720年 00:00|イギリス| |||<就任>8代ヒューム伯「ウィリアム・ヒューム」(~17610428死去)
- 1720年 00:00|キニアビ・サ/ポルトガル| |||<就任>カチー司令官「ジョン・ザ・バプティスト」(~1721年)
- 1720年 00:00|サントメ・プリンシパ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Chamber Senate」(~17220413)
- 1720年 00:00|トゴ| |||<就任>テグベ 統治者「アサ」
- 1720年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テムネ王国統治者(バィス)「ナイン・ナ2世」(ロハンナにて~17931111没)
- 1720年 00:00|ガーナ| |||<即位>アシアンティ王「ホル・クワレ・カクヱ」(~1750年死去)
- 1720年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「John Frere」(~1721年)
- 1720年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ 島副司令官「Charles Simmons」(~1743年)
- 1720年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス領サン・バルテルミー 島司令官「Jacques Greaux」(~1730年)
- 1720年 04:00|チリ| |||英国人シエルボック、コンセプションを攻撃するが敗退
- 1720年 06:00|ニカラグア| |||<死去>モスキート王「シエレミ1世」
- 1720年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューヨークおよびニュージャージー 総督「ウィリアム・ハートネット」(~1728年)
- 1720年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリラント 植民地総督「トマス・ブルック・ジュニア」(~同年)⇒「チャールズ・カルハート」(~1727年)
- 1720年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ファン・セバステアーン・デ・フランシス・デ・イサシ」(~17210821)
- 1720年 06:00|ニカラグア| |||<即位>モスキート王「シエレミ2世」(~1729年10月没)
- 1720年1月1日-09:00|日本|福岡県福岡市|享保4年11月22日|<交替>筑前福岡藩473100石「黒田宣政」隠居⇒従弟「黒田継高」が継ぐ(⇒明和6(1769)年12月10日、隠居)
- 1720年1月9日-09:00|日本|滋賀県大津市|享保4年11月30日|<死去>近江膳所藩6万石「本多康命」(48歳)⇒弟「本多康敏」が継ぐ(⇒延享4(1747)年8月24日、死去)
- 1720年1月10日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「ラモン・ペレス」
- 1720年1月11日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ラモン・デ・スプイグ・イ・マルティネス・デ・マルシージャ」(1回目~13日)
- 1720年1月13日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「マルカトニオ・ゾンタタリ」(~17220616没)
- 1720年1月15日-09:00|日本|愛媛県今治市|享保4年12月6日|今治藩領越智郡大島宮窪村で大火事があり70軒を焼失

1720迄 (1598件)

- 1720年1月16日-09:00|日本| ||享保4年12月7日|<死去>4世井上因碩(74歳)囲碁棋士. 五世名人碁所
- 1720年1月18日-09:00|日本| ||享保4年12月9日|<死去>天野桃隣(81歳)俳人
- 1720年1月19日-09:00|日本|大分県大分市|享保4年12月10日|<死去>松平近陳(82歳)前豊後府内藩主
- 1720年1月21日-01:00|トイツ/スウェーデン| |||スウェーデンとプロシヤの間にストックホルム条約締結/スウェーデンからプロシヤ王国は200万リクスタラーと引替えに前ポムメルン、シュテッティン、ウーゼドム島を獲得/ただし、シュタルブントやリュゲン島は返還
- 1720年1月23日-05:30|イント/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東イント諸島(トランケバル)司令官「クリスティアン・ウルリッヒ・フォン・ニッセン」(~17261012)
- 1720年1月26日 05:00|ヘル/スペイン| |||<就任>ヘル副王「マ大司教ティエゴ・モルシージョ・ルビオ・デ・アウニオン」(2回目~17240514)
- 1720年2月-01:00|オーストリア/イタリア| |||ウァイア公国がオーストリアからサルデーニャを獲得
- 1720年2月4日-09:00|日本|三井住友フィナンシャルグループ|享保4年12月26日|<死去>住友友芳(50歳)住友家4代当主
- 1720年2月8日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|享保5年|<加増>鳥取西館新田藩15000石「池田定賢」+5000石⇒2万石(⇒元文元(1736)年9月7日、死去)
- 1720年2月8日-09:00|日本|新潟県柏崎市|享保5年|<交替>越後椎谷藩1万石「堀直央」隠居⇒弟「堀直恒」が継ぐ(⇒享保15年12月10日(17310117)、死去)
- 1720年2月8日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・保泰1年|大越後黎朝12代・祐宗が保泰と改元(-1729)
- 1720年2月8日-09:00|日本| ||享保5年1月|<刊行>西川如見の地誌「長崎夜話草」
- 1720年2月8日-09:00|日本|東京都千代田区|享保5年1月|<初演>「樸根元曾我」<矢の根>森田座,「市川團十郎十八番」、二代目市川團十郎
- 1720年2月9日-09:00|日本|大阪府大阪市|享保5年1月2日|<初演>歌舞伎「平家女護島」<俊寛>大坂、中の芝居竹嶋座
- 1720年2月17日-01:00|イタリア| |||<即位>サルデーニャ国王「ヴァイトーリオ・アマテオ2世」ウァイア公、カルロ・エマヌエーレ2世とマリア・ジョヴァンナ・バチスタ・ディ・ウァイアの息子(~17300903退位~17321031死去66歳)ロンドン条約の結果シリア島とシリア王位を手放す代わりにサルデーニャ島を取得しサルデーニャ王国となった(首都トリノ)
- 1720年2月17日-01:00|オーストリア/フランス/オランダ/スペイン/イギリス| |||スペインが、イギリス・フランス・オランダ・オーストリアの四国同盟とハーグ条約を結び、ユトレヒト条約の体制を受入れる
- 1720年2月18日 05:00|イクトル/ヘル/スペイン| |||キトはヘルに再編入(~17390820)
- 1720年2月29日-01:00|スウェーデン| |||<退位>スウェーデン女王「ウルリカ・エリオノーラ」
- 1720年2月29日-01:00|イタリア| |||リドの港からマモッコ港にいたる運河を浚渫
- 1720年3月-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「ジョルジ8世」(~6月)
- 1720年3月1日-09:00|日本| ||享保5年1月23日|新井白石「蝦夷志」を著す(本道を対象とする最初の地誌とされる)
- 1720年3月6日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「ピーター・ラベーン」(~17270929没)
- 1720年3月6日 02:00|グリーンランド/フェロ諸島/アイスランド| |||グリーンランドはアイスランドに從属(~17750306)/フェロ諸島の島々はアイスランドに從属(~17750906)
- 1720年3月10日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任><就任>ボスニア総督「トバル・オスマン・パシャ」(1回目~同年)⇒「アブドゥッラー・パシャ・ムンサール」(1回目~1727年)
- 1720年3月15日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ウイムズ伯「テイク・ウィット・ウイムズ」
- 1720年3月15日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ウイムズ伯「ジェームズ・ウイムズ」(~17560321死去)
- 1720年3月18日-09:00|日本| ||享保5年2月10日|<死去>幸子女王(承秋門院)(41歳)東山天皇の中宮
- 1720年3月24日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「フレドリク1世」(~17510325死去74歳)
- 1720年3月26日-09:00|日本|大分県杵築市|享保5年2月18日|<死去>松平重栄(76歳)前豊後杵築藩主
- 1720年3月31日-09:00|日本|福岡県直方市|享保5年2月23日|<死去改易>筑前直方藩5万石「黒田長清」(54歳)無嗣/宗家福岡藩に吸収
- 1720年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ベネデット・ベルツツィ」(ジョヴァンニ・マルテッリ)
- 1720年4月2日-05:30|イント| |||<死去>マラーター王国宰相「バーラージー・ウーイシュヴァナート」
- 1720年4月3日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|享保5年2月26日|<死去>近江仁正寺藩17000石「市橋信直」(65歳)⇒4月26日、養子「市橋直方」が継ぐ(⇒元文元(1736)年5月25日、隠居)
- 1720年4月7日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Francisco Danio Granados」(2期目~1724年)
- 1720年4月11日-09:00|日本|滋賀県東近江市|享保5年3月4日|<死去>近江山上藩13000石「稲垣重房」(51歳)⇒4月26日、長男「稲垣定享」が継ぐ(⇒元文5(1740)年4月25日、死去)
- 1720年4月12日-09:00|日本|熊本県人吉市|享保5年3月5日|<死去>相良頼福(72歳)前肥後人吉藩主
- 1720年4月17日-05:30|イント| |||<就任>マラーター王国宰相「バーラージー・ウーイシュヴァナートの息子」(~17400428死去)
- 1720年4月17日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ハース公(ジャコブ・イト)「ジェームズ・トラモンド」
- 1720年4月17日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ハース公(ジャコブ・イト)「ジェームズ・トラモンド」先代の息子(~17460531死去)
- 1720年4月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アバティーン伯「ジョージ・ゴートン」
- 1720年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アバティーン伯「ウィリアム・ゴートン」(~17450330死去)
- 1720年5月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ムバラク・ブン・アフマド」(~1722年9月)
- 1720年5月 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>東イント会社セネガル局長「ニコラ・テスプレト・サン＝ロベール」(1回目~1723年4月)
- 1720年5月3日-01:00|ベルギー| |||<死去>レックハイム伯「ヨゼフ・ゴッペル」

1720迄 (1598件)

- 1720年5月3日-01:00|ベルギー| |||<就任>レックハイム伯「カール・ゴッペル」(~17491124没)
- 1720年5月7日 02:00|日本|鳥取県|享保5年4月1日|<鳥取享保5年の大火「石黒火事」>吉方の石黒三太兵衛の屋敷では、門人が裏庭へ出て麻殻の灰(かいろなどに使う可燃性の灰)を焚いていたところ、巳の下刻(午前11時ごろ)、南風が焚き火に強く吹き付けその火が母屋の屋根に移り、たちまちのうちに土手内の侍屋敷に延焼しみるみる数か所に広がった/御弓町から小姓町へと燃え移り、山手の炎は山根に沿って上町通りを縦なめにした/中筋の炎は吉方中の町から古御用場へと流れ、その内これら三筋の炎が一か所に集まり城下から城内をも指して燃え広がった/城内が全焼したほか、侍屋敷506軒、町家597軒、土蔵57棟、寺院23か所が全焼し19人が死亡
- 1720年5月18日-09:00|日本|東京都江東区|享保5年4月12日|江戸三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、川口源治(14歳)が11,608本(総矢数13,538中)を記録
- 1720年5月19日-09:00|日本|群馬県前橋市|享保5年4月13日|<交替>上野厩橋藩15万石「酒井親愛」隠居⇒養子「酒井親本」が継ぐ(⇒享保16(1731)年9月4日、死去)
- 1720年5月20日-09:00|日本|高知県高知市|享保5年4月14日|<死去>土佐藩20万2600石「山内豊隆」(48歳)⇒次男「山内豊常」が継ぐ(~享保10年9月2日(17251007)、死去)
- 1720年6月-05:30|インド| |||<就任>サハール国支配者(ナワブ)「アブドゥル・ファス・カーン」(~1720年9月没)
- 1720年6月-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリヤ王「アレクサンドル5世」(1回目~1741年)
- 1720年6月-03:00|イタリコ| |||<就任>ハスラ・クリス「ムスタファ・パシャ」(~1721年2月)
- 1720年6月2日 02:00|日本|愛媛県今治市|享保5年4月27日|今治城下町のうち室屋町3丁目より出火、100軒を焼く
- 1720年6月5日 00:00|イギリス| |||<死去>4代ダントナルト伯「ジョン・コラン」
- 1720年6月5日 00:00|イギリス| |||<就任>5代ダントナルト伯「ウィリアム・コラン」先代の息子(~17250127死去)
- 1720年6月6日-09:00|日本|山口県下関市|享保5年5月|<加増>長門長府藩38000石「毛利匡広」⇒5万石(⇒享保14(1729)年9月19日、死去)
- 1720年6月11日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|享保5年5月6日|<死去>上総大多喜藩2万石「松平正久」(62歳)⇒6月27日、長男「松平正貞」が継ぐ(⇒寛延2(1749)年1月29日、死去)
- 1720年6月17日 00:00|イギリス| |||<昇格>ドセット伯「ライオネル・クランフィールド・サックヴィル」⇒初代ドセット公(~17651010死去)
- 1720年6月18日 00:00|イギリス| |||<昇格>4代ブリッジウォーター伯「スコット・エジヤートン」⇒初代ブリッジウォーター公(~17450111死去)
- 1720年6月19日-05:30|インド| |||<就任>コタ国支配者(マハラオ)「アルジュン・シン」(~1723年10月没)
- 1720年6月20日-05:30|インド| |||<就任>ハイデラバード国統治者(ニザム・アル・モルク)「マルアト・デイン・チン・クリジ・カーン・アサフ・ジヤール1世」建国(~17480601没)
- 1720年6月23日-05:30|インド| |||<死去>サハール(ミヤ朝)ナワブ「Dalil Khan "Abdul Rauf"」
- 1720年6月23日-05:30|インド| |||<即位>サハール(ミヤ朝)ナワブ「Abdul Fath Khan」(~9月死去)
- 1720年6月27日-09:00|日本|広島県三次市|享保5年5月21日|<死去改易>備後三次藩5万石「浅野長寔」(8歳)無嗣(6月21日、所領を広島藩に還付)
- 1720年6月28日 03:00|ブラジル| |||ミナスのピラリカで金への重税に反対する反乱発生/総督軍は首謀者を即決裁判、さらし首とする
- 1720年7月-01:00|ルクセンブルグ/オーストリア| |||<就任>オーストリア領ルクセンブルグ総督「アドルフ・クリスティアン・フライヘル・フォン・ガレン」(~1722年死去)
- 1720年7月1日-09:00|日本|新潟県長岡市|享保5年5月26日|<死去>牧野康道(71歳)前越後与板藩主
- 1720年7月3日-01:00|デンマーク/ポーランド/スウェーデン/リトアニア| |||スウェーデンとデンマークの間にプロシヤの和議が結ばれる/ポーランド・リトアニア共和国はスウェーデンに占領された失地を回復/ザクセン選帝侯フリードリヒ・アウグスト1世のポーランド国王義務が確定
- 1720年7月8日-03:00|スーダン| |||<即位>フンジ・スルタン国スルタン「ヌル」(~17240708)
- 1720年7月13日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Frere」(~1721春死去)
- 1720年7月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙59年6月9日|<死去>李氏朝鮮国王「肅宗」
- 1720年7月17日-01:00|フランス| |||パリの「ヴァイグイェン通り」(2区)で、1万5千人が集まる暴動が起こり、前財務総監ジョン・ロアの屋敷も襲われる
- 1720年7月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・康熙59年6月17日|<即位>李氏朝鮮国王「景宗」(~17241011死去)
- 1720年7月30日-09:00|日本|大分県臼杵市|享保5年6月25日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉恒通」(31歳)⇒長男「稲葉董通」が継ぐ(⇒元文2(1737)年正月17日、29歳で死去)
- 1720年8月1日-09:00|日本|千葉県野田市|享保5年6月27日|<死去>下総関宿藩6万石(老中)「久世重之」(62歳)⇒8月12日、四男「久世暉之」が継ぐ(弟「久世広壽」に5000石分与し58000石⇒寛延元(1748)年8月22日、隠居)
- 1720年8月6日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト長官「ピーター・オストラップ」(~17220124)
- 1720年8月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サンタマリア島トナリ長官「Luis de Vasconcelos e Sousa」
- 1720年8月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンタマリア島トナリ長官「Afonso Caminha de Vasconcelos e Sousa Cunha Camara Faro e Veiga」(~17340202死去)
- 1720年8月19日-09:00|日本|新潟県村上市|享保5年7月16日|<死去>越後村上藩5万石「間部詮房」暑気あたりのため(55歳)⇒9月12日、弟「間部詮言」が継ぐ(越前鯖江藩5万石に移封⇒享保9(1724)年8月18日、死去)
- 1720年9月-05:30|インド| |||<死去>サハール(ミヤ朝)ナワブ「Abdul Fath Khan」
- 1720年9月-05:30|インド| |||<就任>サハール国支配者(ナワブ)「アブドゥル・マフマド・カーン」(~1721年2月没)
- 1720年9月-05:30|インド| |||<即位>サハール(ミヤ朝)ナワブ「Abdul Mahmad Khan」(~1721.2死去)
- 1720年9月2日-08:00|中国| ||清・康熙59年8月|清がタライマ7世を公認し、軍をラサに派遣しシベリア軍を放逐

1720迄 (1598件)

- 1720年9月7日-01:00|セルビア/オーストリア| |||<就任>オーストリア軍セルビア総督「カール・アレクサンダー・フォン・グェルテンベルク」(~1733年)
- 1720年9月9日-09:00|日本|東京都|享保5年8月7日|江戸町奉行、活動効率を上げるため、隅田川から西の地域の町火消組合を“いろは47組”に、江戸市街地となっていた東側の下総国本所・深川地区では1組から16組に再編成/火事場の混乱を避けるため各組に目印になる幟などの標識を作らせた
- 1720年9月10日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「レゾ・エッパ・ハシヤ」(~17210430、解雇)
- 1720年9月14日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「フランシスコ・ホセ・デ・サンパオ・エ・カストロ」(~17230713没)
- 1720年9月24日-08:00|中国| |||<就任>清帝国軍チベット司令官「ヤンシン」(~1721年)
- 1720年9月24日-08:00|中国| |||チベットは清(チ) (中国) 帝国の宗主権下
- 1720年9月28日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ総督「アントニオ・ウエイラ」(~17250104没)
- 1720年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・エネア・ホネリ」 「バルトロメオ・ベッティ」
- 1720年10月4日-04:30|アフガニスタン/イラン| |||<死去>ペルシャ・アフガニスタン総督「シャーザダ・アサド・ウッラー・ハーン・アブダリ」
- 1720年10月14日-09:00|日本|福井県鯖江市|享保5年9月12日|<移封>越後村上藩5万石「間部詮言」⇒越前鯖江藩5万石(⇒享保9(1724)年8月18日、死去)
- 1720年10月16日-08:00|中国| |||<即位>ダライ・ラマ7世ケルサン・ギャツォ(儀式的には1708年から統治したと推定~17570322死去)
- 1720年10月17日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国対立皇帝「イブラヒム」(~11. 15)
- 1720年10月19日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「リチャード・ケイン」(~17270202)
- 1720年10月20日-09:00|日本|新潟県村上市|享保5年9月19日|<移封>駿河田中藩5万石「内藤弑信」⇒越後村上藩5万石(⇒享保10(1725)年2月18日、隠居)
- 1720年10月20日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|享保5年9月19日|<死去>秋田輝季(72歳)前陸奥三春藩主
- 1720年11月1日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jacques Charles de Bochart」(~1727年)
- 1720年11月3日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>セント・ユースタティウス島司令官代理「Jacob Stalpert」
- 1720年11月3日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースタティウス島暫定司令官「Johan Heyliger」(3期目~17211108)
- 1720年11月7日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Antonio Blanco Infante(1期目) + Mateo Ignacio Gedler y Aguirre」(~17210101)
- 1720年11月13日 11:00|日本| ||享保5年10月14日|夜、大阪の天満で紙屋さんを営んでいた治兵衛と曾根崎の遊女小春が網島の大長寺で心中(心中天の網島のワル)
- 1720年11月21日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Luis Antonio Sanchez de Tagle」(~17250404)
- 1720年11月23日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「サゴザバウアスコ・フェルナント・スーザン・デ・メネズ」(~17350511)
- 1720年11月24日-09:00|日本|愛媛県松山市|享保5年10月25日|<死去>伊予松山藩15万「松平定直」(61歳)⇒12月11日、三男「松平定英」が継ぐ(弟「定章」に松山新田藩1万石分知⇒享保18年5月21日(17330702)、死去)
- 1720年11月26日-09:00|日本|福島県|享保5年10月27日|<会津御蔵入騒動>会津領南山の農民らによる減租要求の一揆
- 1720年11月30日-09:00|日本| ||享保5年11月|幕府が遠島者の子弟の縁座を廃止
- 1720年12月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Francois」(~1722年)
- 1720年12月12日-09:00|日本|群馬県前橋市|享保5年11月13日|<死去>酒井忠挙(73歳)元上野前橋藩主
- 1720年12月26日-09:00|日本|秋田県秋田市|享保5年11月27日|<交替>久保田新田藩(1)1万石「佐竹義都」隠居⇒長男「佐竹義堅」(⇒享保17(1732)年5月9日、本家出羽国久保田藩主「佐竹義峯」の養子となり1万石は久保田藩に還付)
- 1720年12月29日-09:00|日本| ||享保5年12月|幕府がキリスト教関係以外の漢訳洋書の輸入禁止を緩和